



# Fire Emblem

トラキア776

コミック 火の玉  
アンソロジー 聖戦の凱歌



©1996, 1999, 2000 Nintendo/INTELLIGENT SYSTEMS

SC-195  
火の玉  
ゲームコミック  
シリーズ  
ファイアーエムブレム  
トラキア776  
コミックアンソロジー  
聖戦の凱歌  
光文社



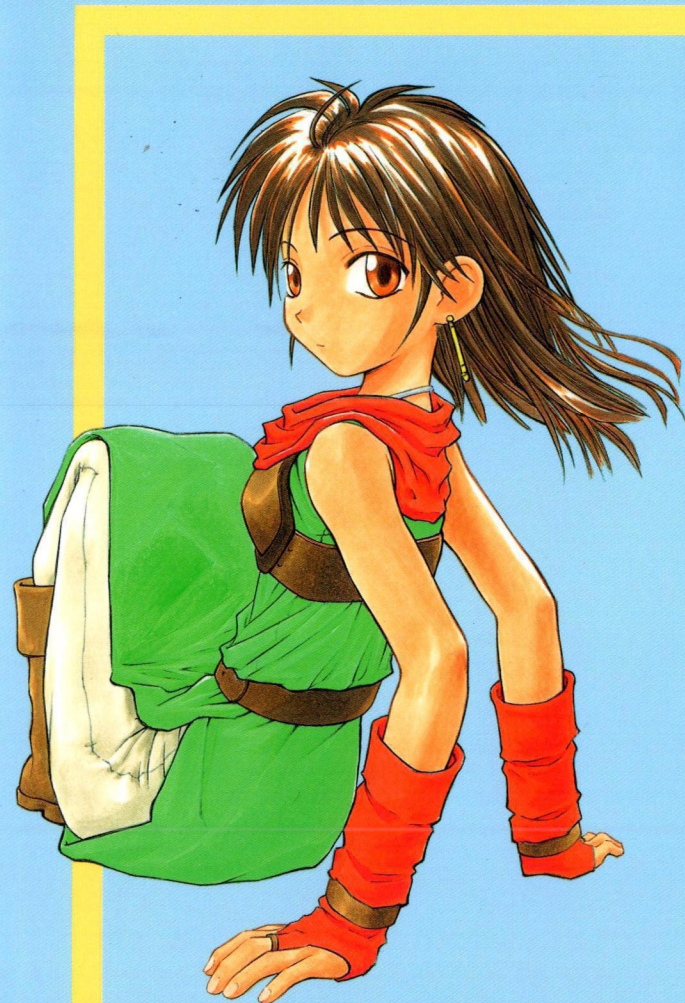
ISBN4-334-80494-2

C9979 ¥848E



雑誌 42852-46

定価890円 本体848円



## Illustration

忍 青龍  
那智上陽子  
冬凪れく  
山本まるみ  
よいいくざんす

## Comic

北野美帆  
京侍洋那  
湖西 晶  
佐倉 忍  
須田さざり  
千種裕子  
飛鷹ゆうき  
ひの鹿路  
福永朱示  
松本ゆうか  
みずなともみ  
むねきち

## ショートコミック天国

女神異聞録 ベルソナアガステシア編  
ベルソナ2 罪  
ファイアーエムブレム  
トラキア776

## 超企画本

ザ・キング  
ファイターズ'98・'99超<sup>3</sup>企画本  
コミック ベルソナ学園祭'99  
女神異聞録ベルソナ&ベルソナ2 罪 超企画本

## 火の玉ゲーム∞ナビゲーション

(攻略本シリーズ)

マクロスVF-X2  
完全公認攻略ファイル  
UNDERCOVER  
公式完全捜査ファイル

火の玉  
ゲーム  
コミック

大好評発売中

## 4コマギャグバトル

ポケットモンスター  
ゼルダの伝説 時のオカリナ探検編  
ファイアーエムブレム  
トラキア776  
スーパーロボット大戦F完結編  
エリーのアトリエ  
頂上決戦  
最強ファイターズ  
SNK VS. CAPCOM  
ザ・キング  
ファイターズ'99  
女神異聞録  
ソウルハッカーズ業魔殿編  
ベルソナ2 罪 花言葉編  
魔剣X

## コミックアンソロジー

スーパーロボット大戦F完結編アイアンブレイブス  
女神異聞録ベルソナ心の海より出でし者  
ベルソナ2 罪イノセント・メモリー  
魔剣X

エリーのアトリエはじめての冒険  
ファイアーエムブレム  
トラキア776もうひとつの聖戦  
ファイアーエムブレム  
トラキア776聖戦の凱歌  
ザ・キング  
ファイターズ'99炎の継承者

光文社





# Fire Emblem

## ファイアーエムブレム

トラキア776

コミック  
アンソロジー

火の玉  
ゲームコミック  
シリーズ

聖戦の凱歌

ファイアーエムブレム  
トラキア776

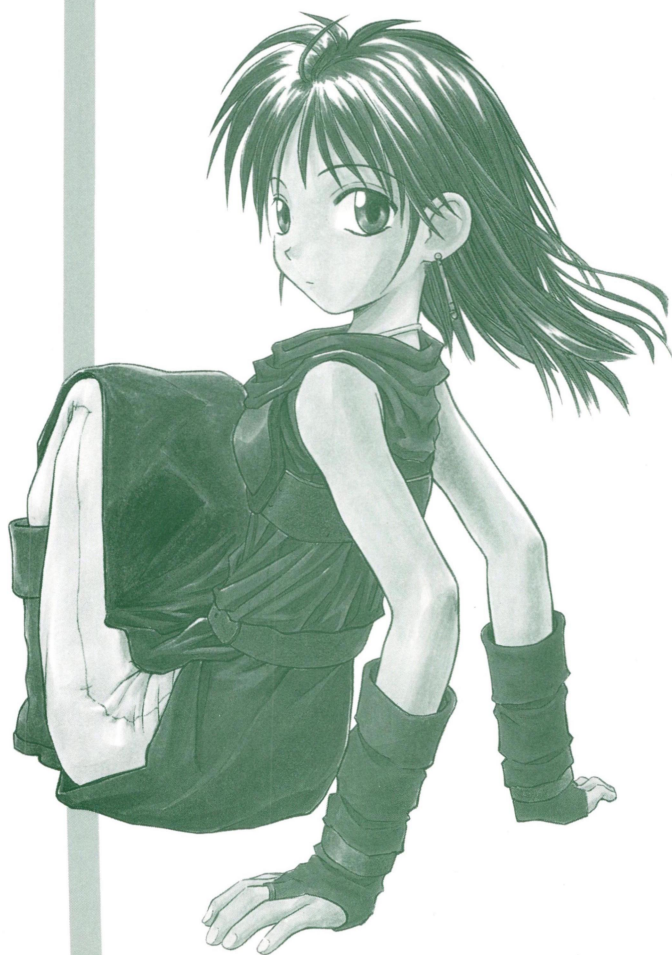
コミックアンソロジー  
聖戦の凱歌



光文社







Illustration

忍 青龍

那智上陽子

冬風れく

山本まるみ

よしいくざんす

Comic

北野美帆

京侍洋那

湖西 晶

佐倉 忍

須田さざり

千種裕子

飛鷹ゆうき

ひの鹿路

福永朱示

松本ゆうか

みずなともみ

むねきち





# Fire Emblem™

トラキア776  
ファイア・エムブレム



火の玉  
ゲームコミック  
241-35  
**コミック  
アンソロジー**

聖戦の凱歌





冬風れく

FE ILLUSTRATION CLUB





松本ゆうか

FE ILLUSTRATION CLUB

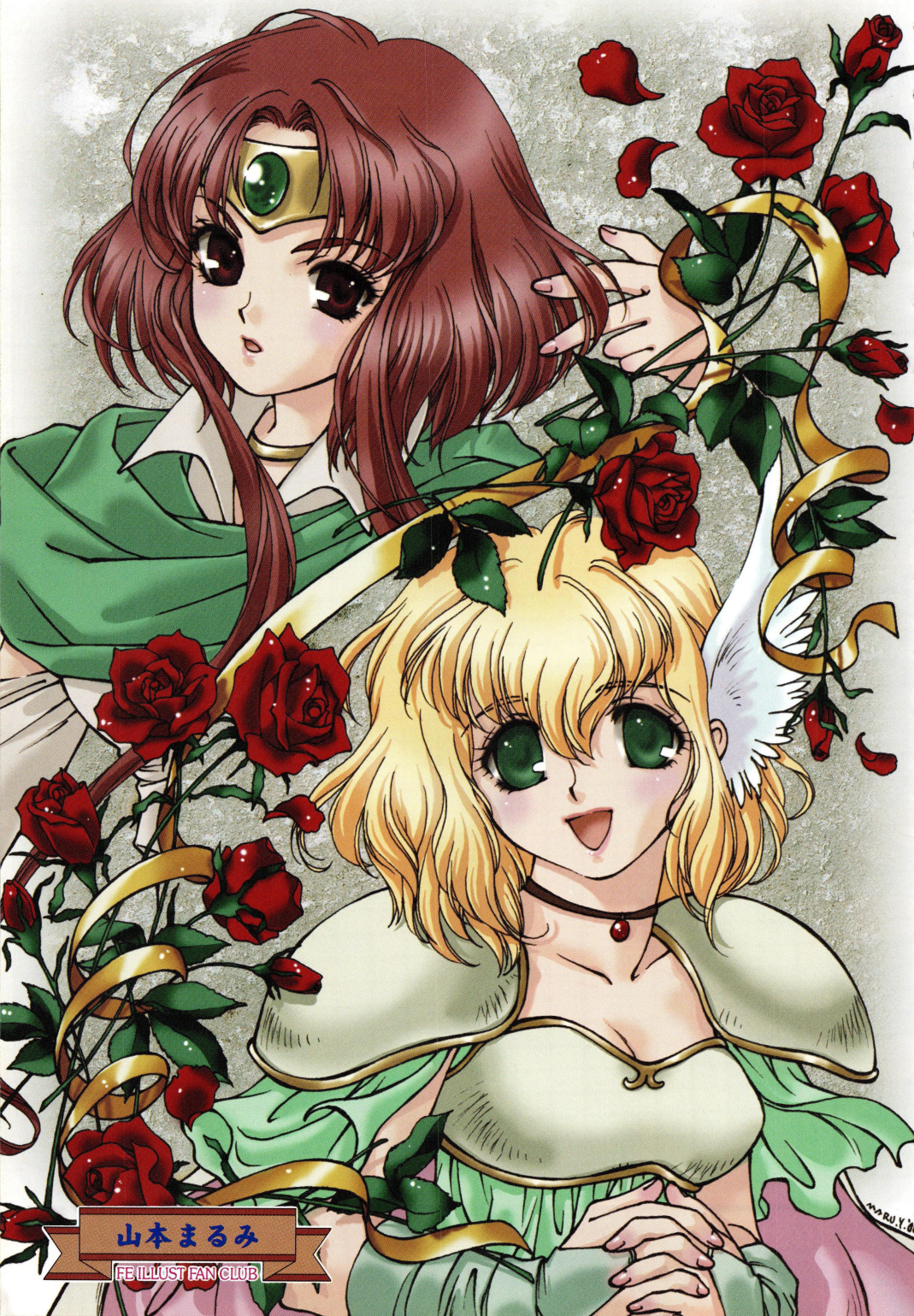




福永朱示

FE ILLUSTRATION FAN CLUB





山本まるみ

FE ILLUSTRATION CLUB









那智上陽子

FE ILLUSTRATION CLUB





## CONTENTS

### FE ILLUSTRATION FAN CLUB ..... 4

冬風れく†松本ゆうか

福永朱示†山本まるみ

よしいくさんす†那智上陽子

アスベルの旅立ち	◆飛鷹ゆうき	11
ミーズ城 通過のススメ	◆湖西 晶	35
Daybreak	◆福永朱示	45
I wish	◆松本ゆうか	61
シヴァくぞ コラ...	◆むねきち	73
HARD LUCK SOLDIER	◆北野美帆	85
森と少女	◆佐倉 忍	101
マイ ライバル	◆須田さぎり	113
風が止まるとき	◆京侍洋那	125
トライアングル	◆みずなともみ	141
明け待ちの鳥	◆千種裕子	153
PATIENCE OF A SAINT	◆ひの鹿路	165

●カバーイラスト:忍 青龍／むねきち／須田さぎり

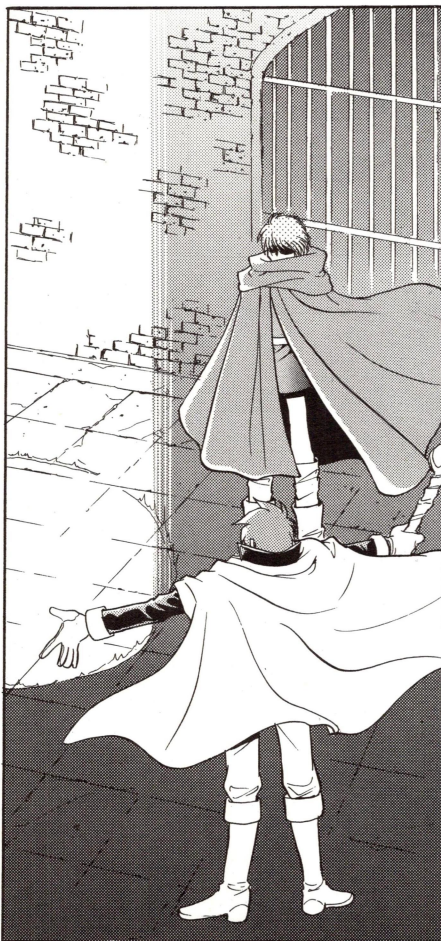
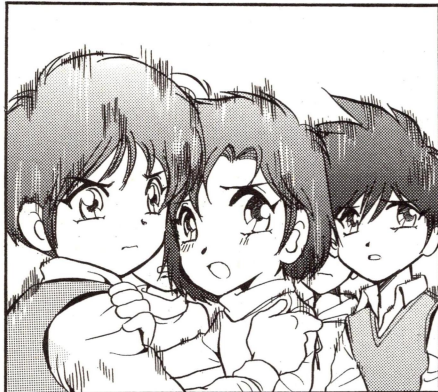
●総扉イラスト:ひの鹿路



聖戦の凱歌



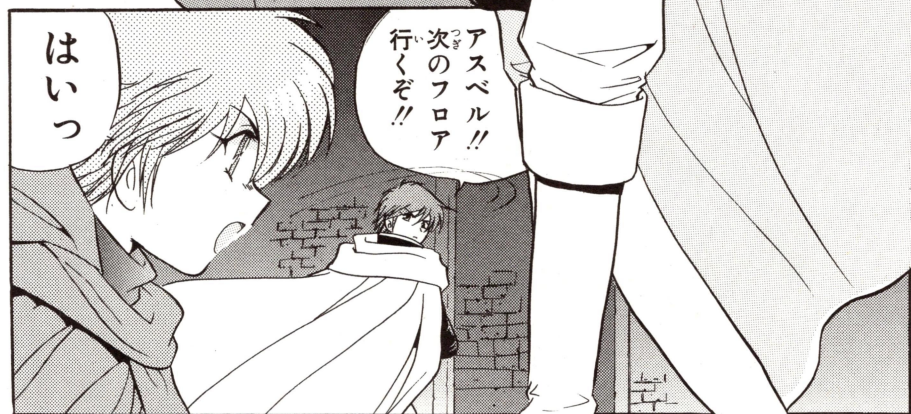
## アスベルの旅立ち





# アスベルの たびだ 旅立ち

ひだか  
飛鷹ゆうき





セテイ様!!

さま

ガク

そんなヒマなど  
ない!!  
よけいな心配は  
するな!!

私と  
したことが…

す…

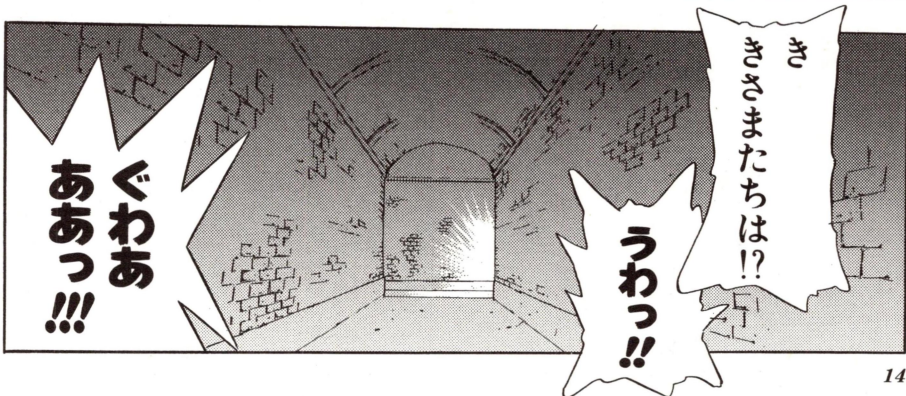
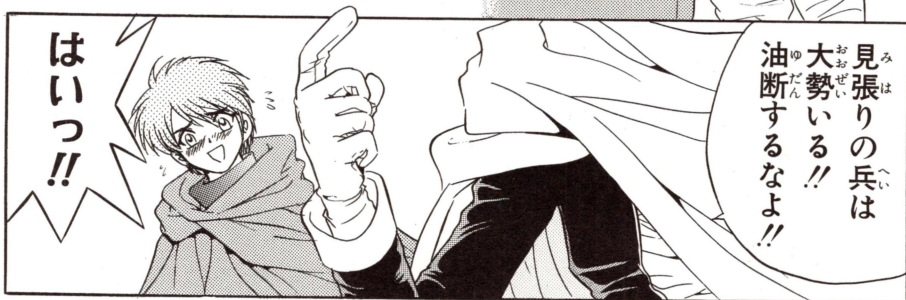
僕の…  
力不足のせいです…

すいません…

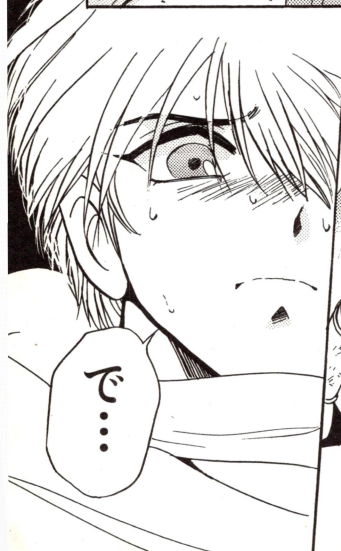
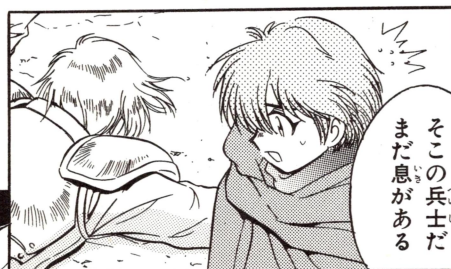
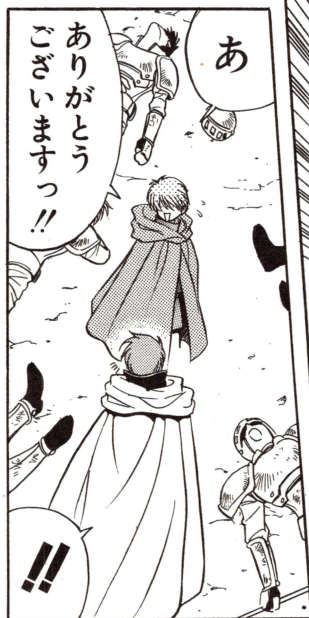
僕が杖を使えば  
セテイ様を助けて  
あげられるのに…

ワープを使い  
つづけたから疲労が  
溜まってるんですよ  
少し休まないと!!











できないと  
いうのか  
あま  
甘ったれるな!!!

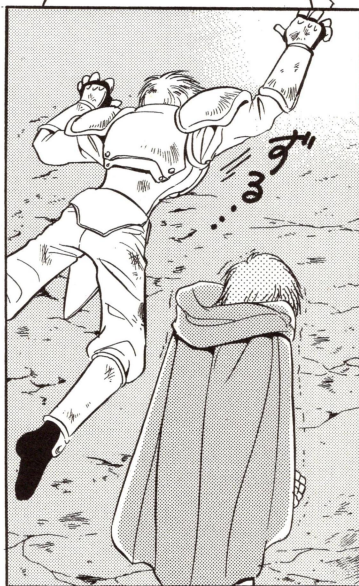
ここは戦場なんだ!!  
せんじょう  
情けは無用だ!!  
なさむよう

相手を殺らねば  
あいてをや  
自分が殺られる  
じぶんが  
そういう世界  
せかい  
なんだっ!!

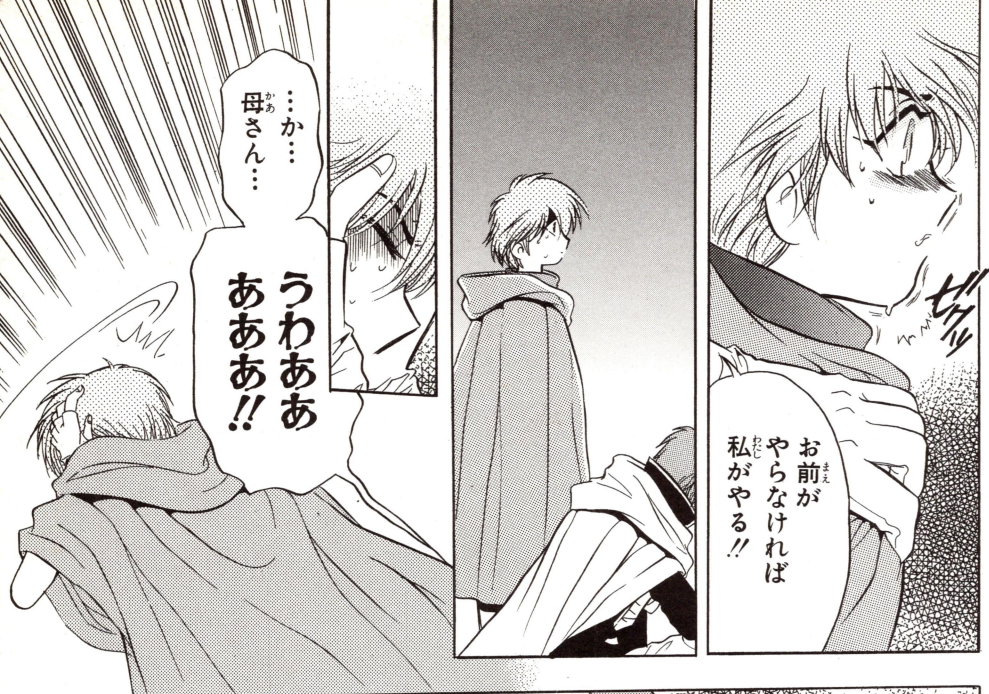
この兵士たちも  
へいし  
それは十分  
じゅうぶん  
わかってるはずだ!!  
それを承知で  
ここにいるんだ!!

殺れ…  
や

お前の役目だ  
まえやくめ









一流の魔導師  
なんかに  
なれなくてもいい…

その前に  
人でいたいです…

—それは  
お前の勝手だ  
…だが…

今はこの私に  
ついてくること  
だけを考えろ

子供たちを  
助けたらお前は  
ブライトンと共に  
リーフ王子を  
捜してくれ

リーフ様  
が!?

レイドリックの  
翼におち  
この城に送られて  
きたらしい…  
—どうした?  
アスベル…?

ずいぶん  
驚いている  
ようだが…



—そうか  
リーフ王子を捜して  
3年も旅をつづけて  
いたとはな

王子は僕にとって  
大切な方なんです  
こんな所で会える  
なんて…

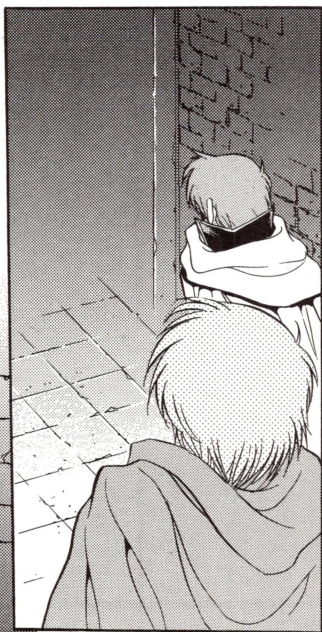


では王子を捜し出し  
彼と共に  
マンスタアを  
脱出しろ

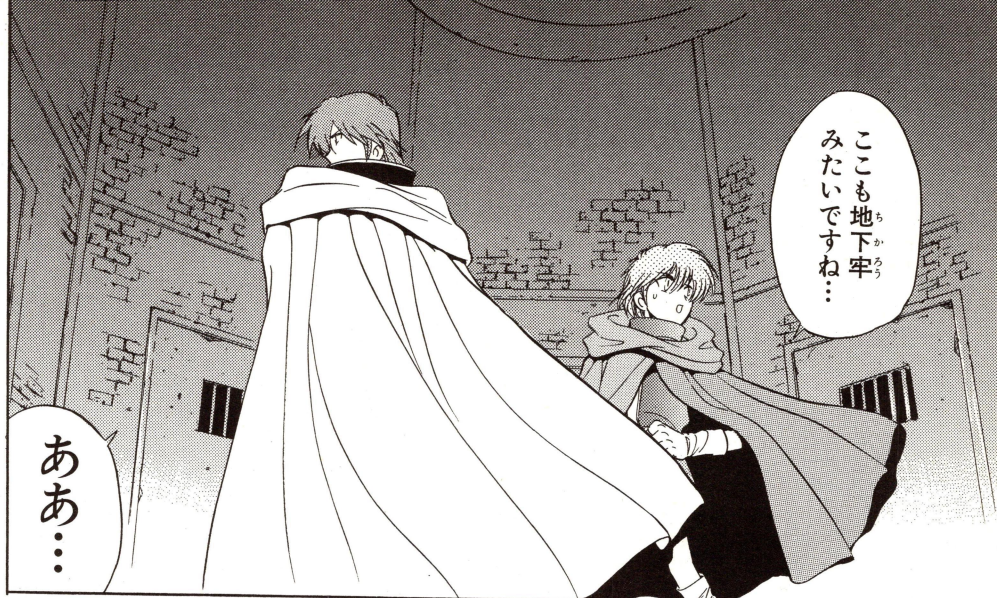
セティ様は  
どうされるの  
です!?

私は残された  
市民を守るため  
もうしばらく  
マンスタアに  
とどまるつもりだ

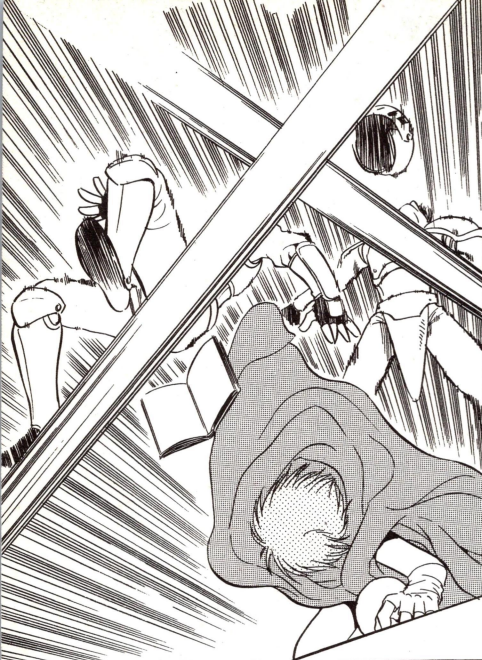
—やけに  
静かだ…  
見張りもいない  
………











アスベル!!



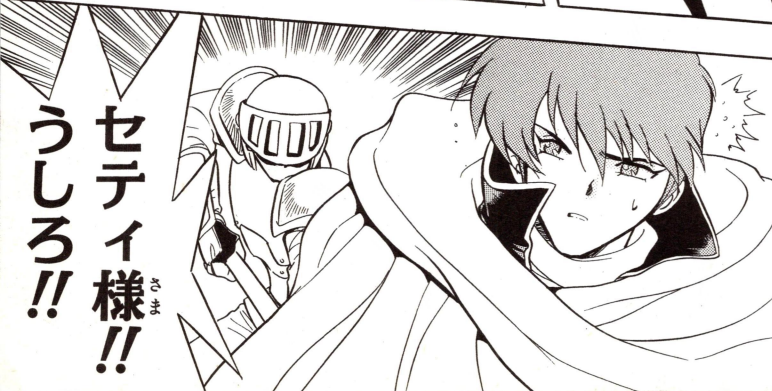
おっと!! これを  
使われちゃ  
かなわんからな



はいっ!!



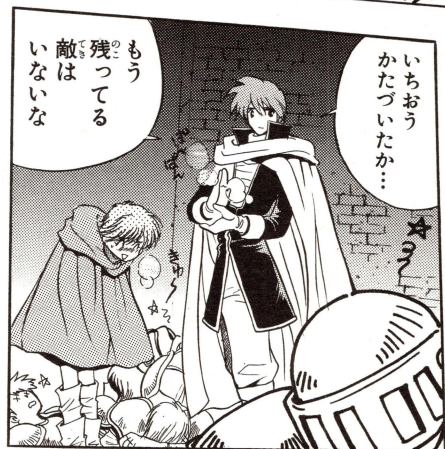
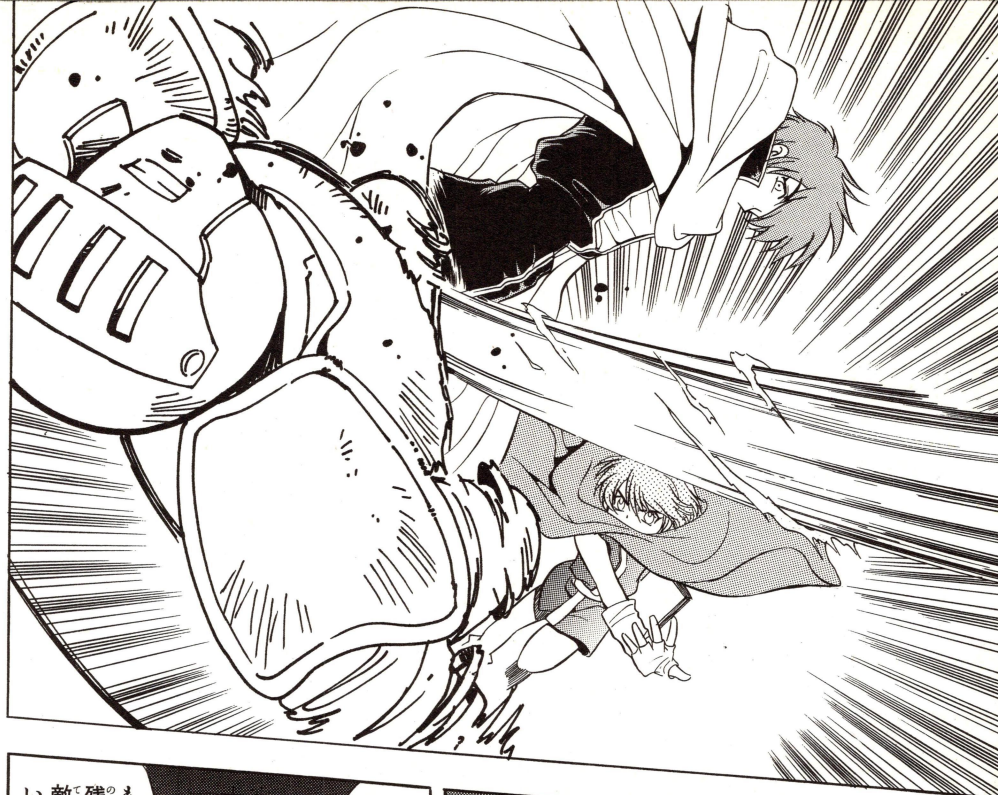
ケガは  
ないか!?



セティ様!!  
うしろ!!





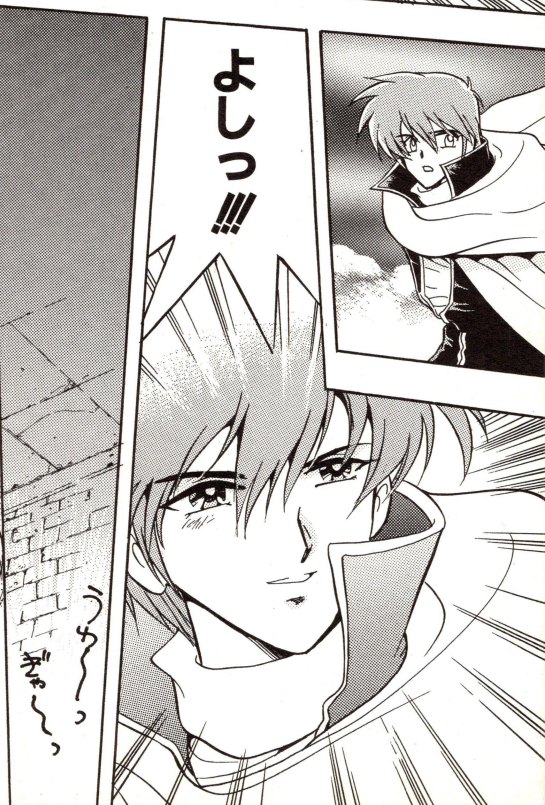


もう残ってる敵はいないな

いちおうかたづいたか…

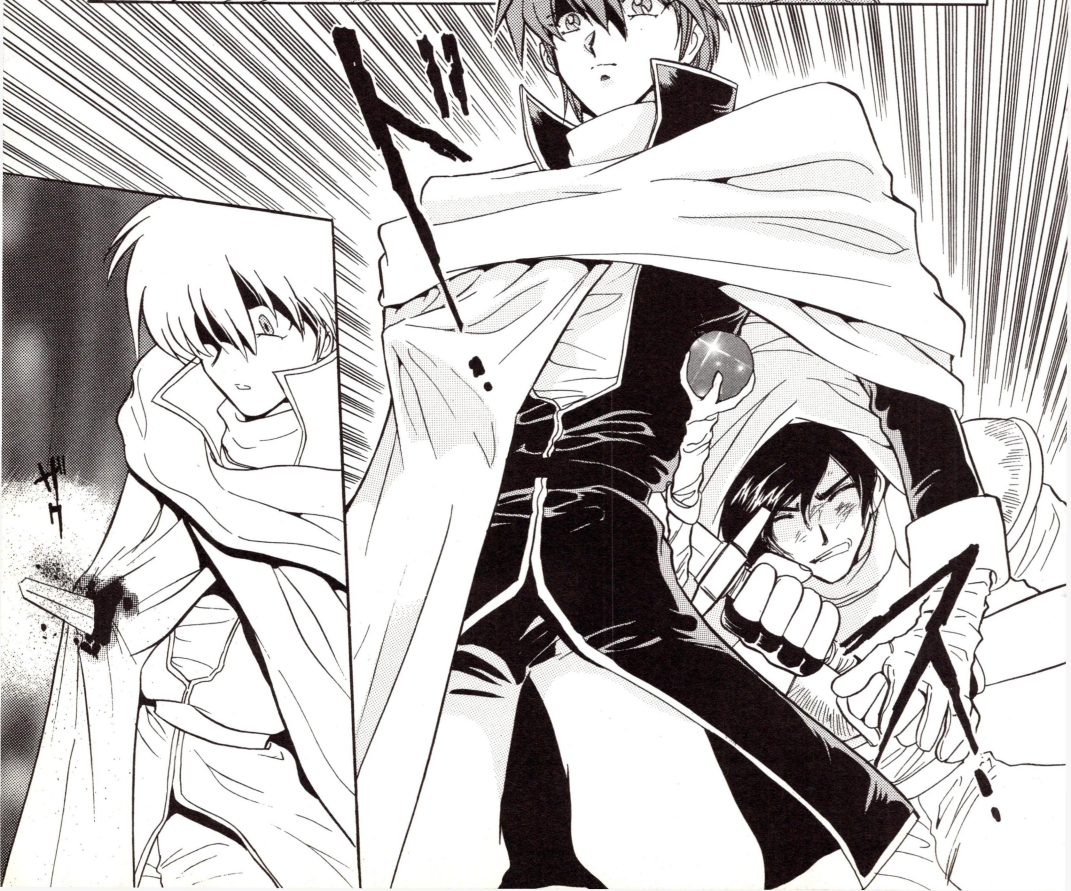
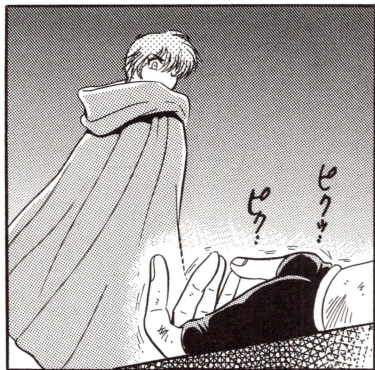


!?

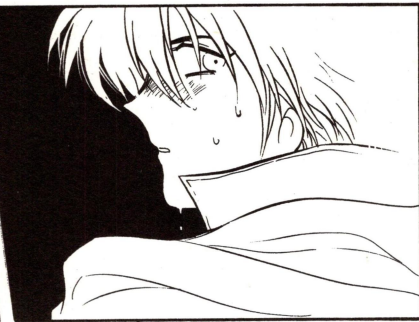
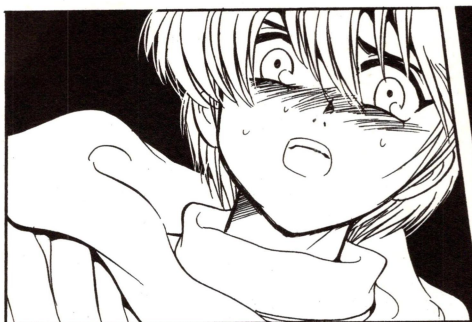


よしっ!!!

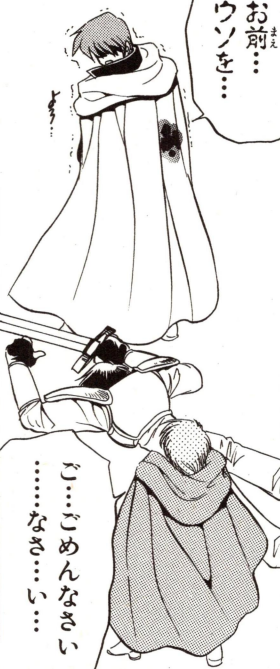






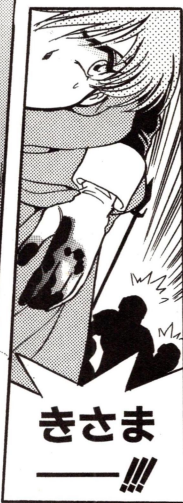
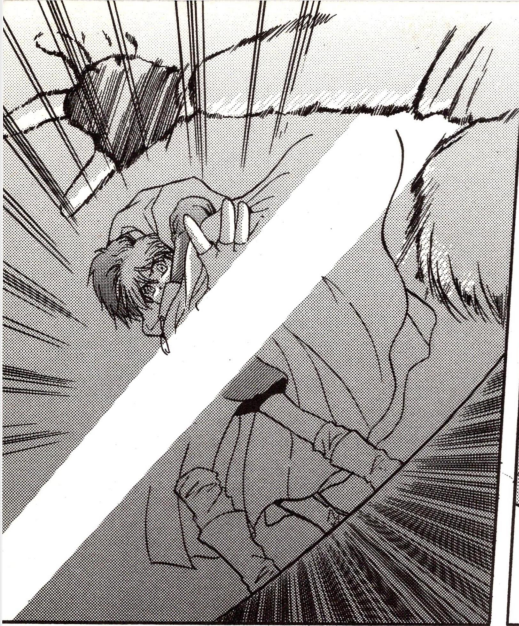


ハア  
ハア  
——これで  
わかったら…  
止めをささねば  
自分が…や…

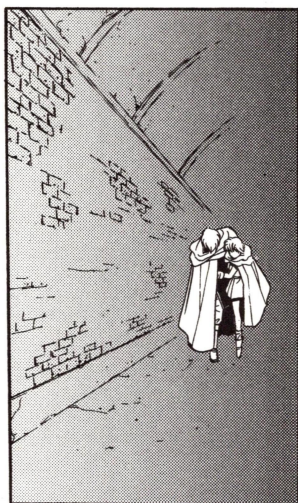


…れる…





きさま  
——!!!

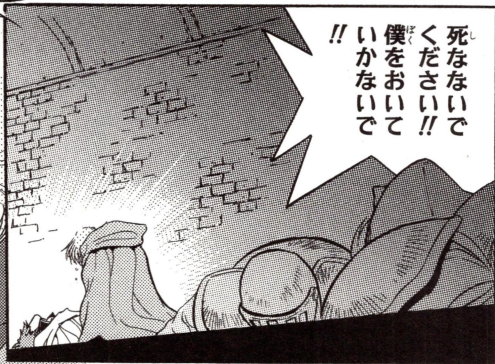


しっかり!!

セテイ様!!  
さま

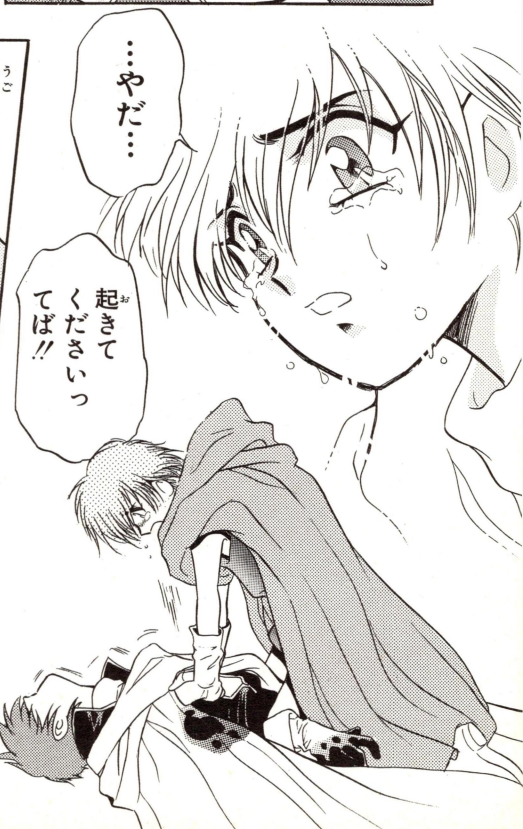
あなたが  
道を照らして  
くれないと  
僕は歩けない!!

僕一人じゃ  
ダメなんです  
!!

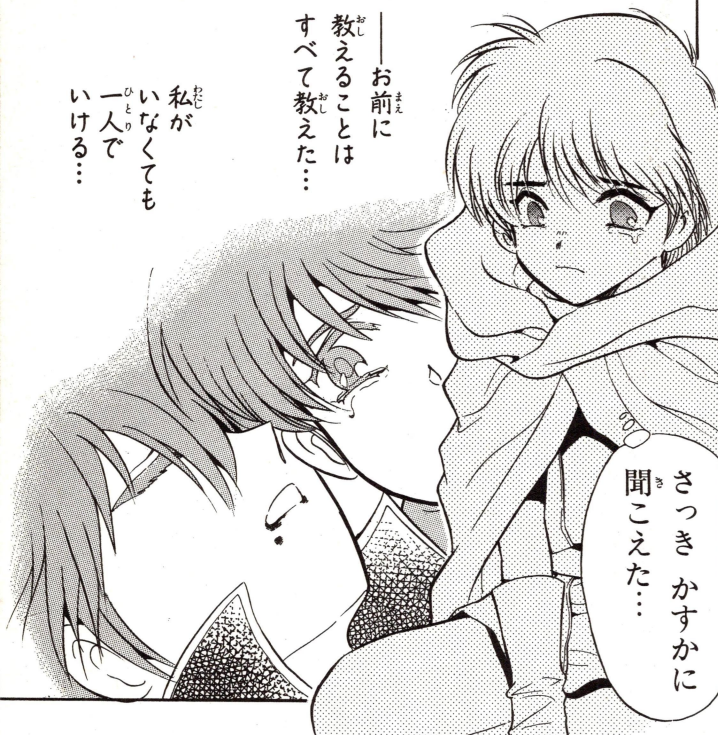


死なないで  
ください!!  
僕をおいて  
いかないで  
!!









お前に  
教えることは  
すべて教えた…

私が  
いなくても  
一人で  
いける…

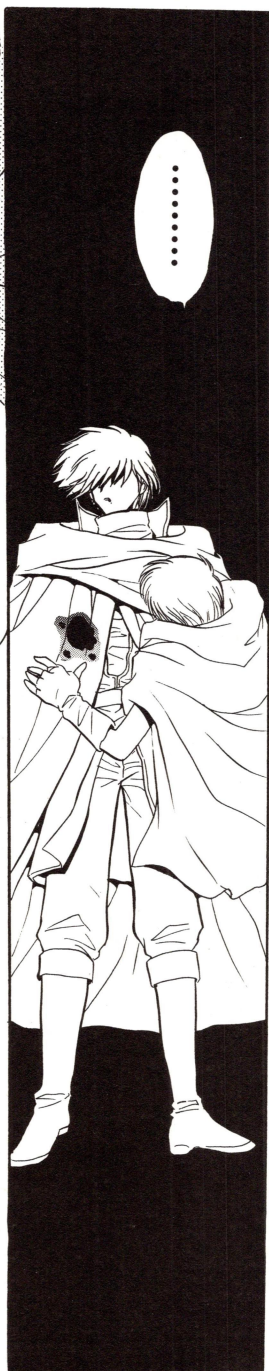
さつきかすかに  
聞こえた…



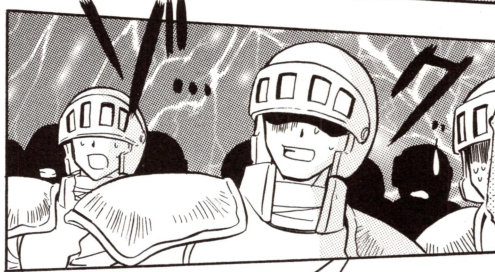
自信を持って/  
お前の力で  
リーフ王子を  
守れ…!!



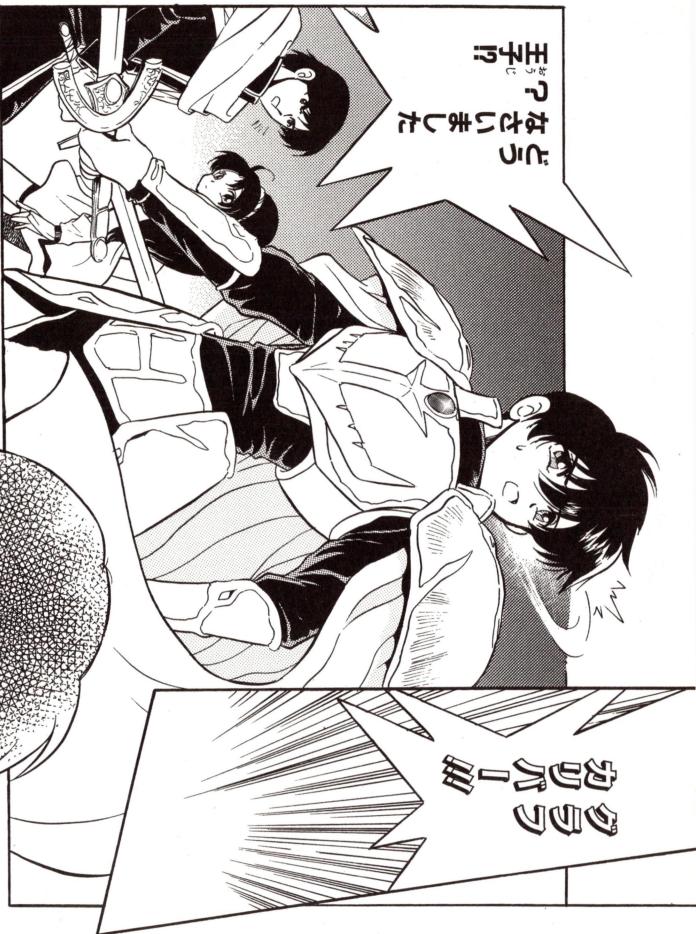
いたぞ  
こっちだ!!





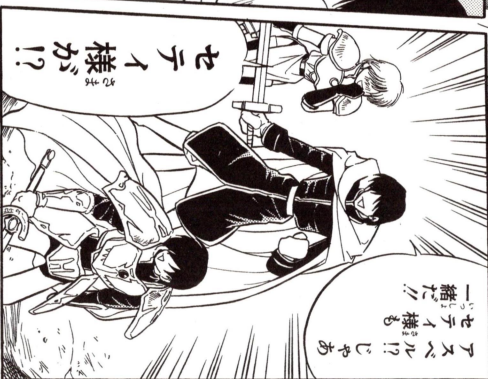




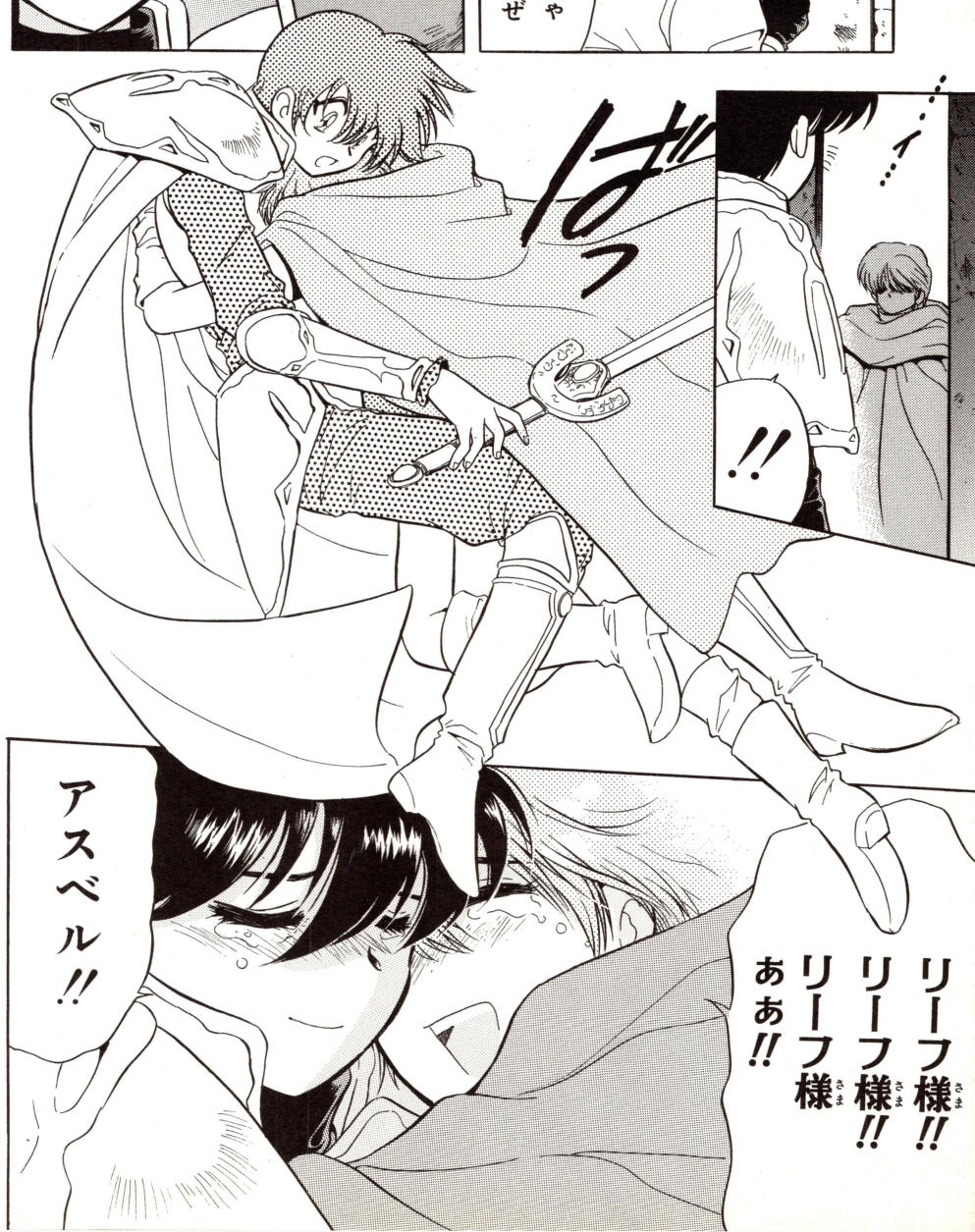


なつかしい声...!!

まちがいない  
アスベルの  
声だ!!



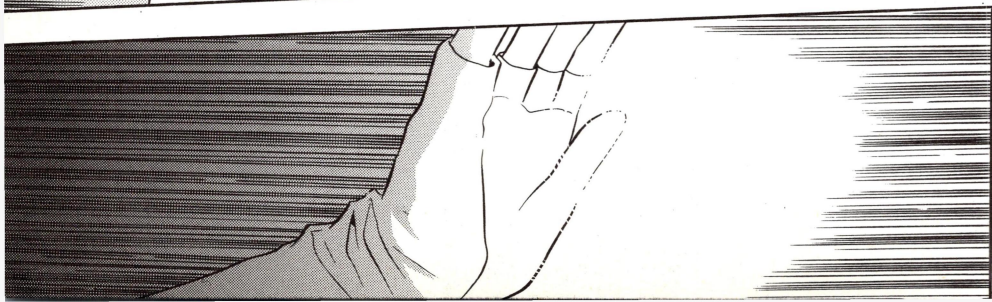
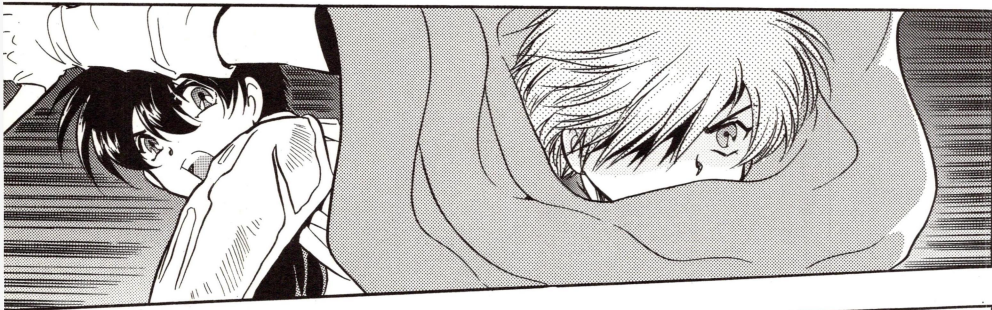




アスベル!!

リーフ様!!  
リーフ様!!  
リーフ様!!  
ああ!!









ハタ



!?

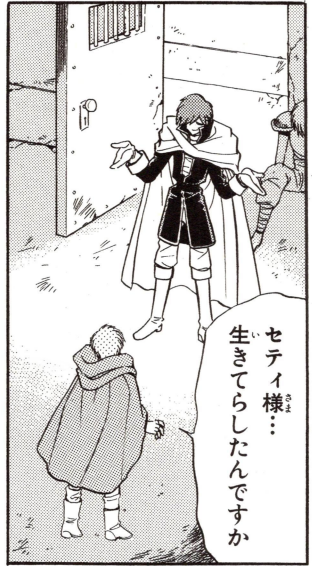
もうこれで  
安心して  
お前を  
送り出せるな…



悪いが  
お前の精神の強さ  
ためさせてもらったよ

テストは  
合格だ





セティ様…  
生きてらしたんですか



あの剣は  
脇をかすめた  
だけさ…

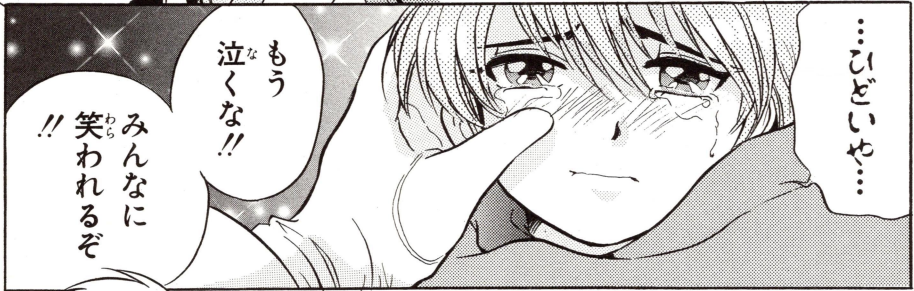
マントに穴は  
あいたがね



私は一流の  
魔導師だ  
お前の目をだます  
ことくらい  
カンタンさ

だつて血とか  
……!!

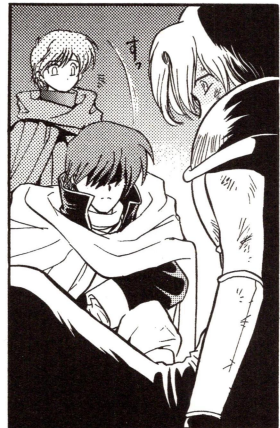
しかし  
あんときは  
アバラ折れるかと  
思つてヒヤヒヤ  
したけどな…



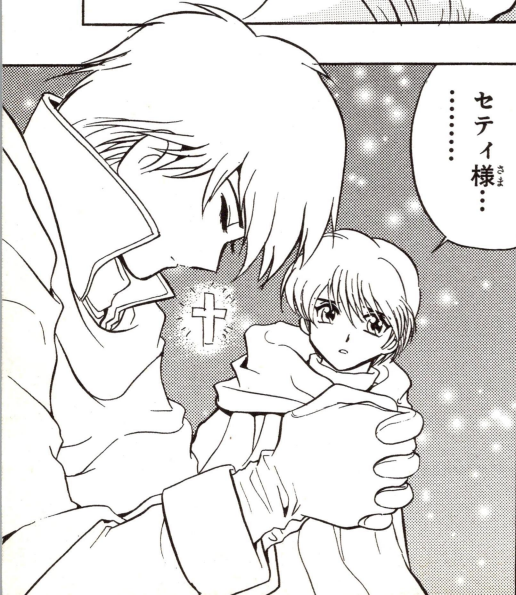
…ひどいや…

もう  
泣くな!!

みんなに  
笑われるぞ  
!!

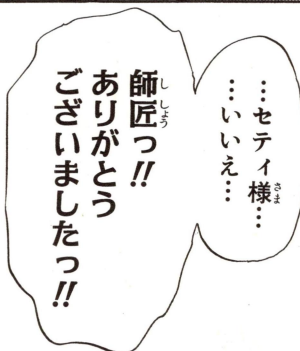


セティ様…  
……



+







ミーズ城  
地下牢

俺たちは  
山賊じゃねえって  
言ってるだろ!!

カ  
ニ  
ン  
カ  
ニ  
ン

——よせ  
オーシン…

だ  
出せよツ  
コ  
ラ  
ア!!

ミーズ城  
通過のススめ

湖西晶

正体を明かしても  
状況は変わらないさ

トラキアの將軍に  
レンスター解放軍を  
名乗るのか?



おとなしく釈放を  
待つほうが…

おつおつ  
えっえっえっ

だいたい  
元はと  
言えば…

とにかく  
ファイナに帰って  
態勢を整えよう

ああ…なんとか  
リーフ王子を  
助けなきゃな…

ザザッ

ミーズ城の兵に  
見つからない  
ように…

!!

さっそく  
見つかった!!

武器を捨てる!!  
抵抗すれば  
捕らえるぞ!!

先制攻撃 あ。

スキル：  
待ち伏せ

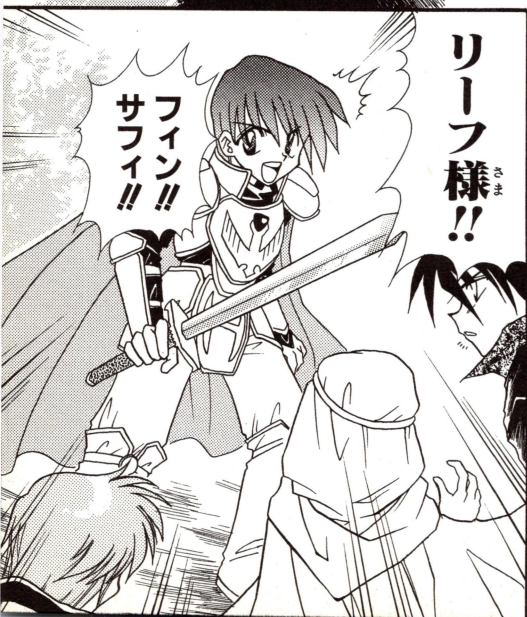
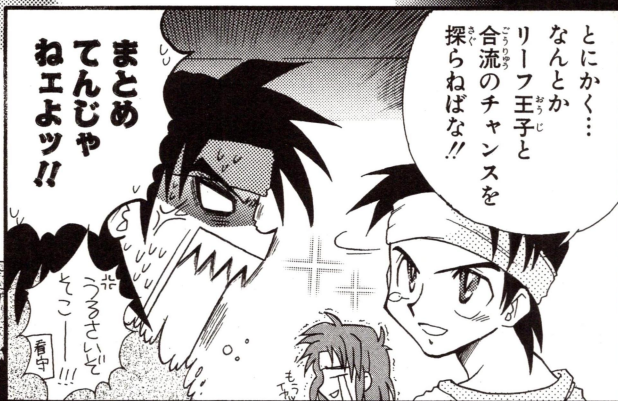
おつ俺たちは  
怪しい者じゃ…

ドカッ





そのころ  
城外









まったくもって  
ごもつとものです!!

い  
だめだ  
コッツら〜

ぶわ

おまけに全員  
武器持ちで  
馬もいる

市民を  
よそおうのは  
ムリだろう

だから…

まさか  
リーフ様…

!!

そう!!  
変装だ!!

ズギヤ

アアア

そ…その  
お姿は!?

フッ



見て  
わからないのか？

謎の  
サーカス団長  
ルーファリス  
だ!!

すみません!!  
わかりません  
でした!!



ナンナはその妻  
マリアンヌ役  
(仮名)



確かにサーカス団なら  
仮に国境を越えても  
不審では  
ありませんが…

妻妻妻  
(CHU)



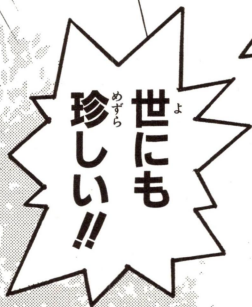
我が軍は  
サーカス団に  
偽装しやすい

見てろ

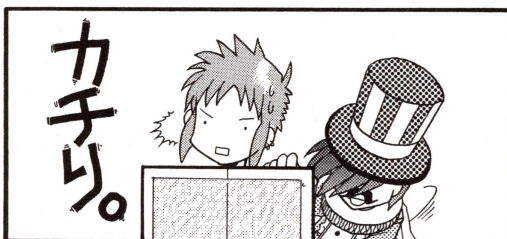
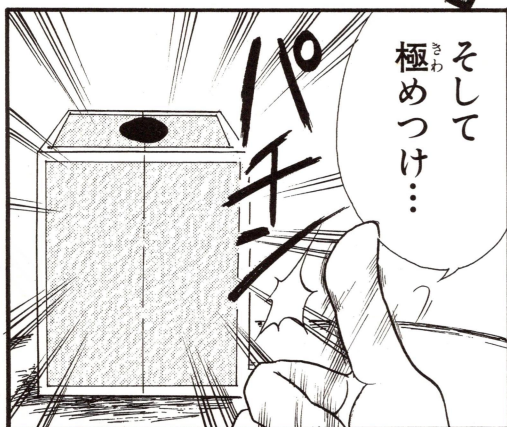
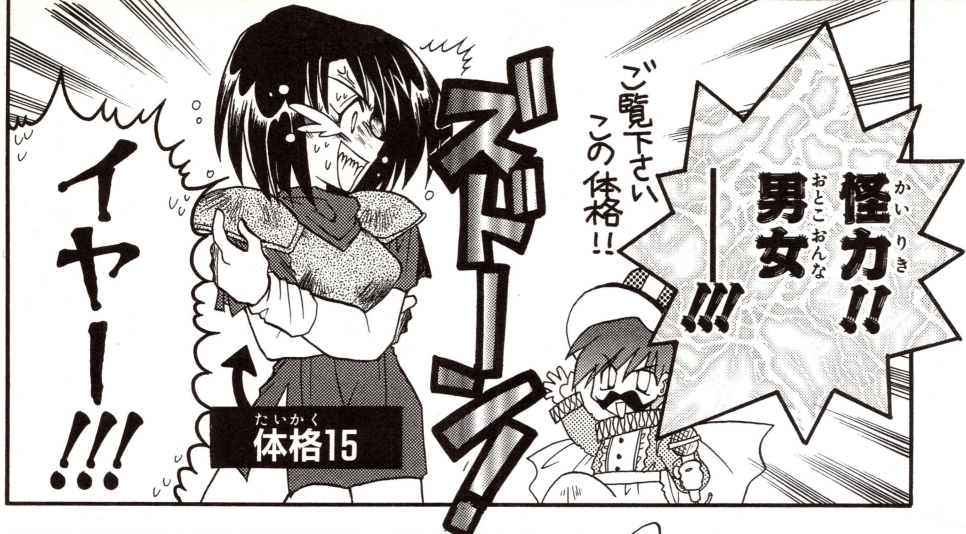


まず第一の  
見せ物!!

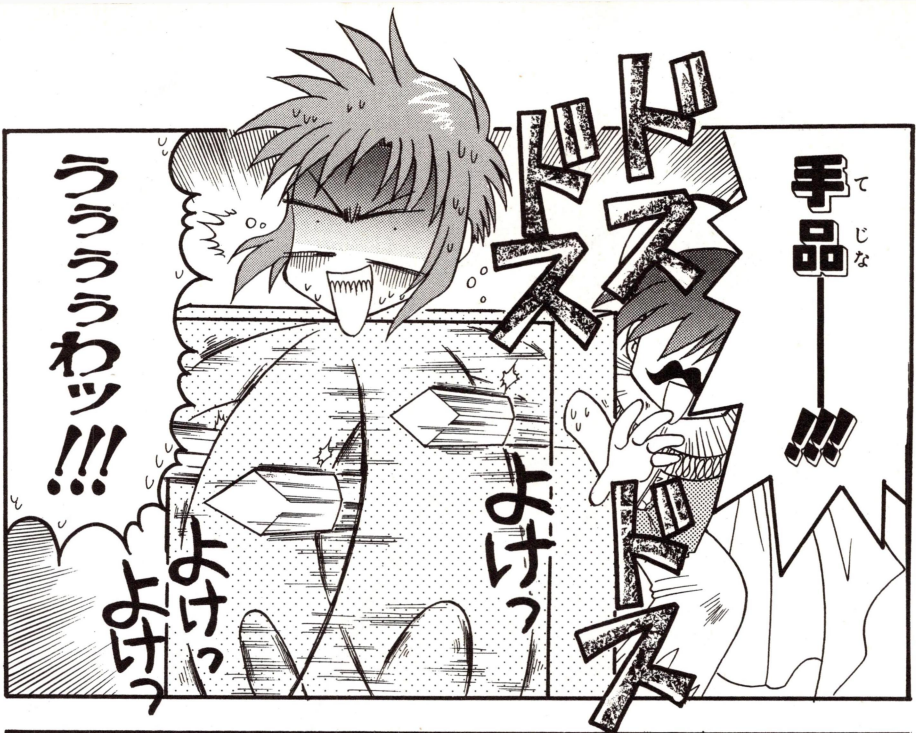
世にも  
珍しい!!







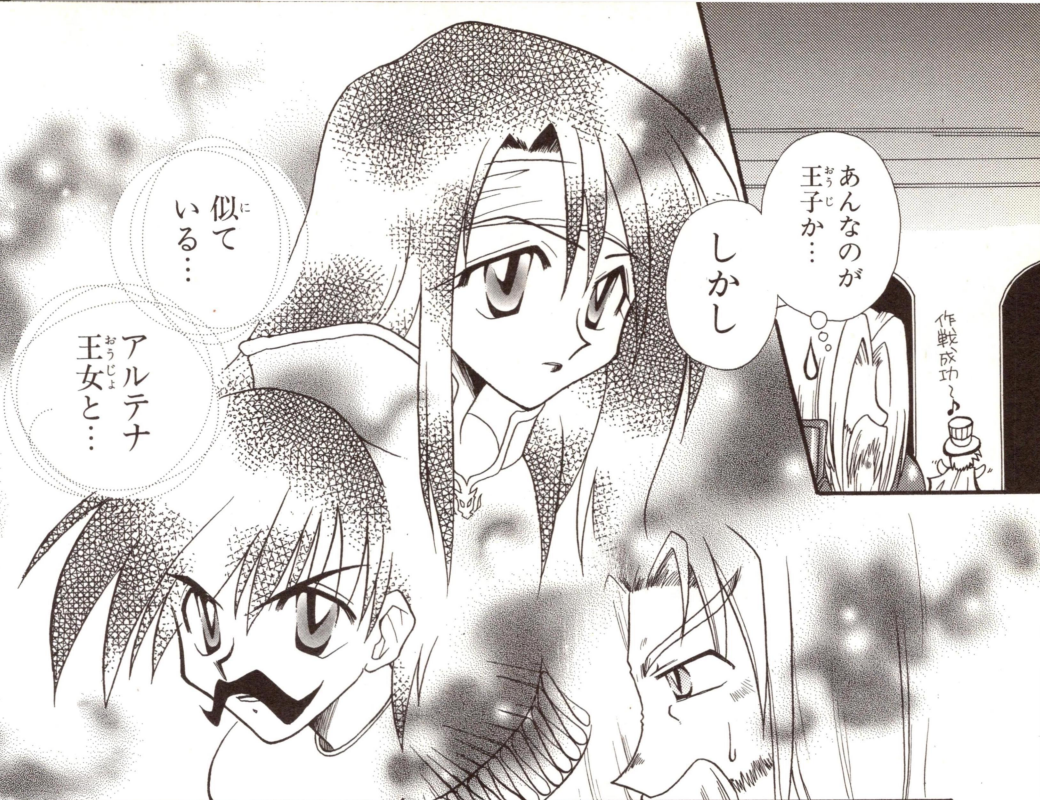












◀END▶





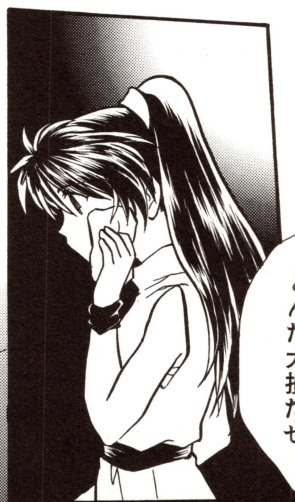
わかったな!?

いいカララ  
今度またミス  
やらかしたら  
ただじやおかんぞ



# Daybreak

ディフレイク

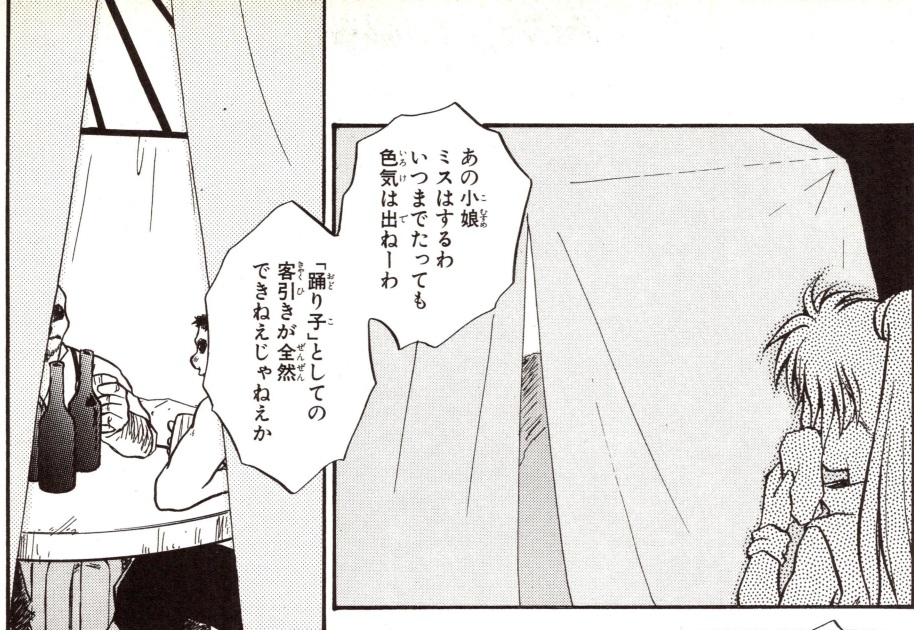


——つたく  
とんだ大損だぜ



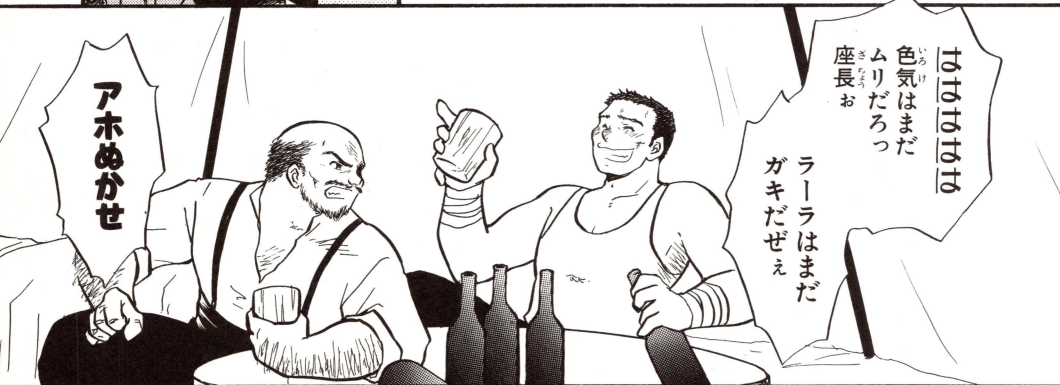
ふくながしゅうじ  
福永朱示





あの小娘  
ミスはするわ  
いつまでたつても  
色気は出ねーわ

「踊り子としての  
客引きが全然  
できねえじゃねえか



アホめかせ

「おはようおはよう」  
色気はまだ  
ムリだろうっ  
座長お

ラーラはまだ  
ガキだぜえ



ガキだろうが  
なんだろうが  
出してもらわにや  
困る

オレはあいつを  
買ったんだ  
稼いで  
もらわなきゃ  
意味がねえ

そうだな  
こうなったら…



今度からは  
あいつに客でも  
取らせるか

たわわわわ  
座長もよく  
考えるぜ

フフフ なあに  
ダーラ 領でも  
入っちゃえば

あーいうのが  
お好みだっていう  
お偉いさん方も  
すぐ見つかる  
だらうしな

そうだなよし  
それできつちり  
今までの分も  
稼がせてもらうと  
するか

ふわははは  
座長サイコー!!

たっ



もう嫌  
がまんできない

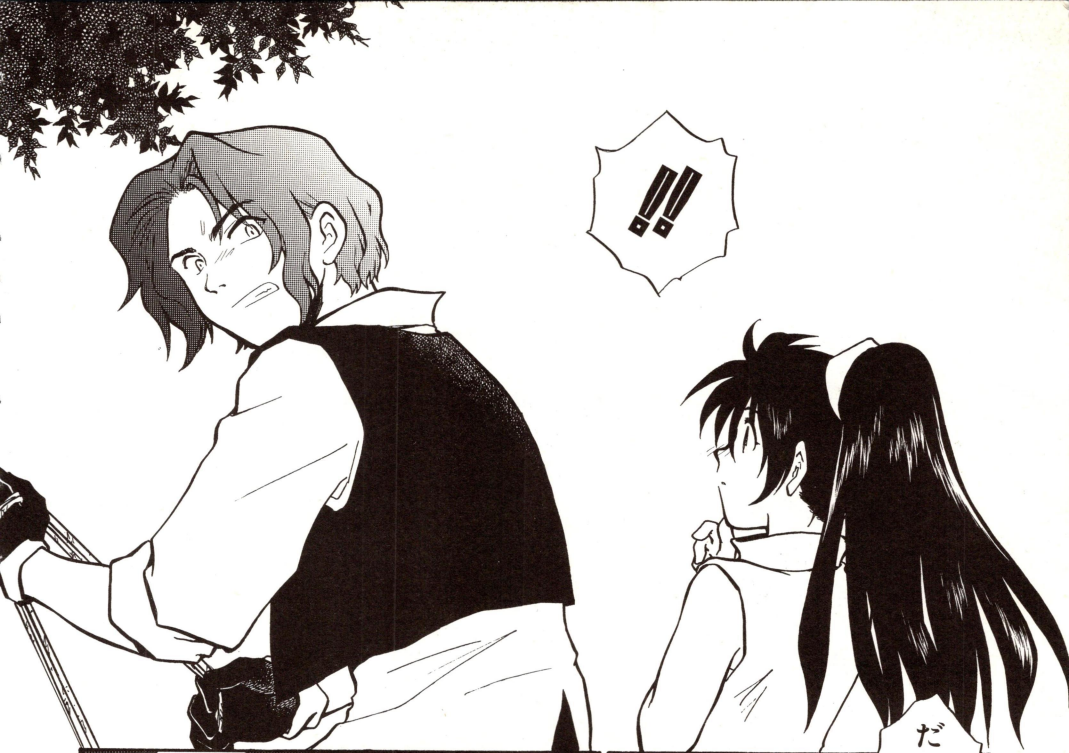
こんなところ  
早く  
逃げ出したい



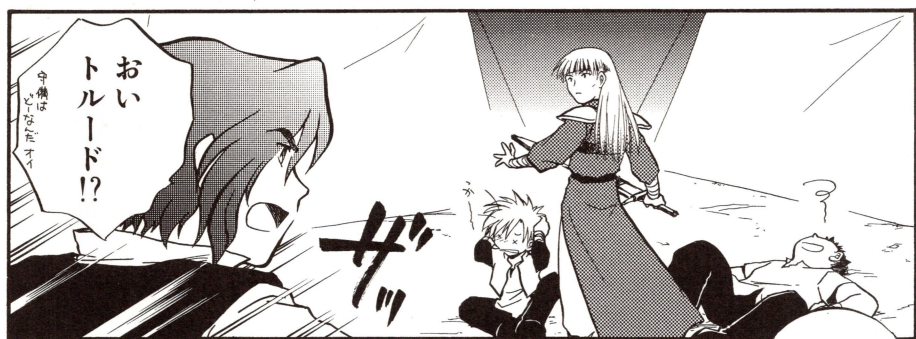
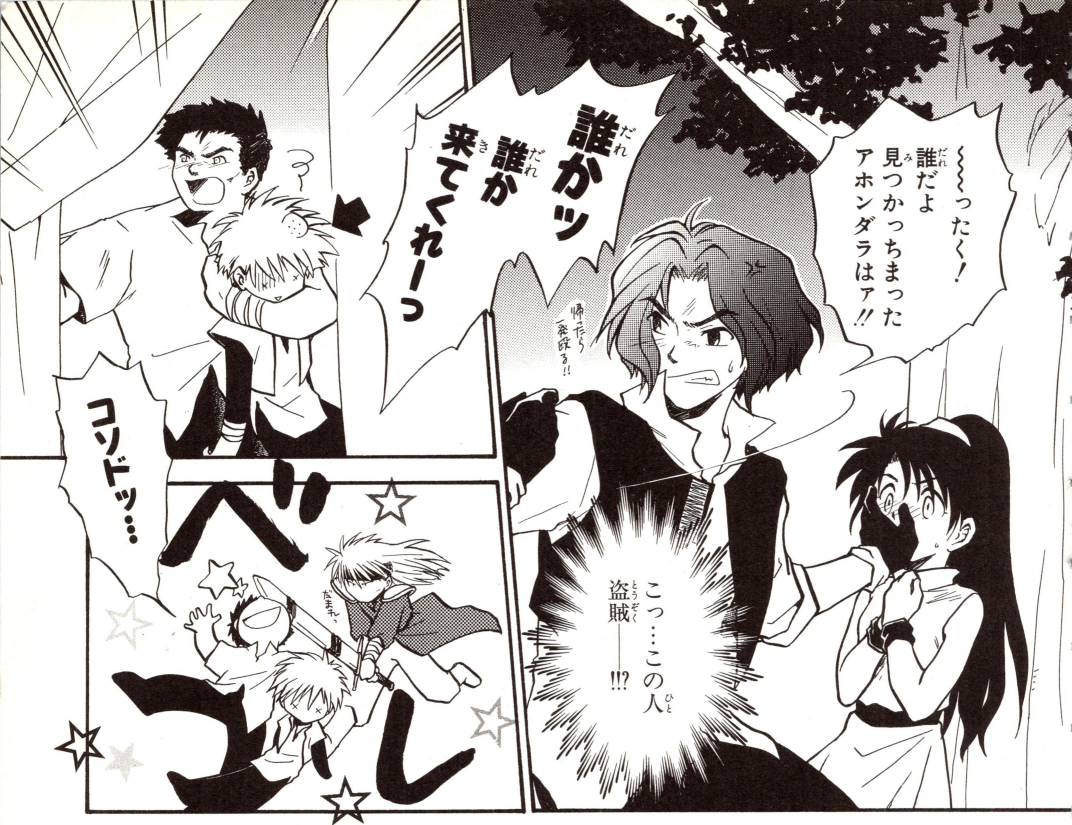
でもどうしたら  
いいの——!!



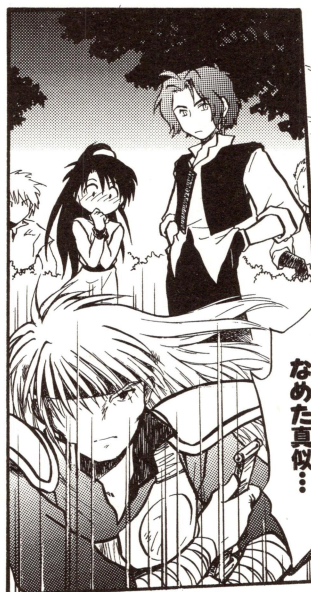








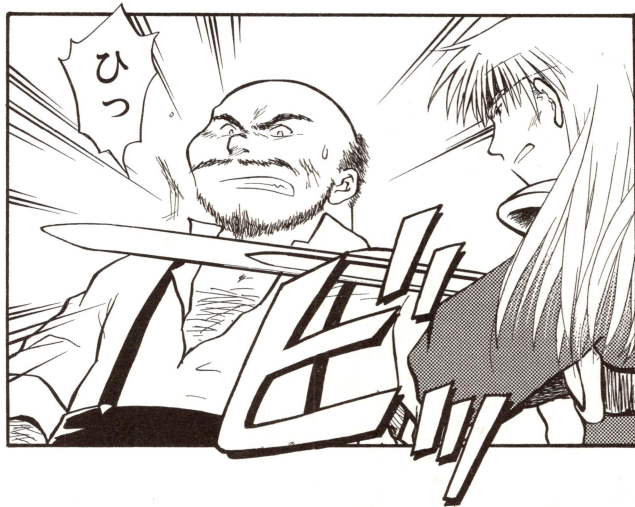
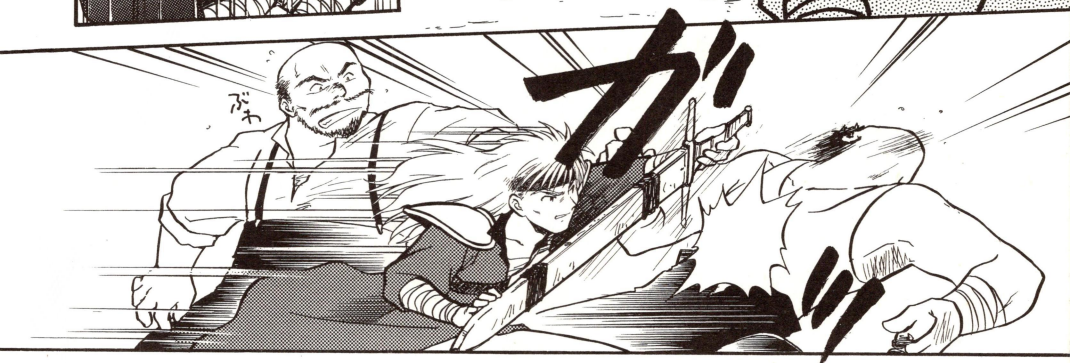




たかが  
コソドロが  
なめた真似...

なっ...  
なんだこの  
有り様は!!

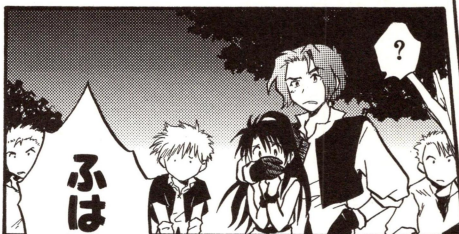
座長おっ















…ほーお

人の命より  
荷物を取るか

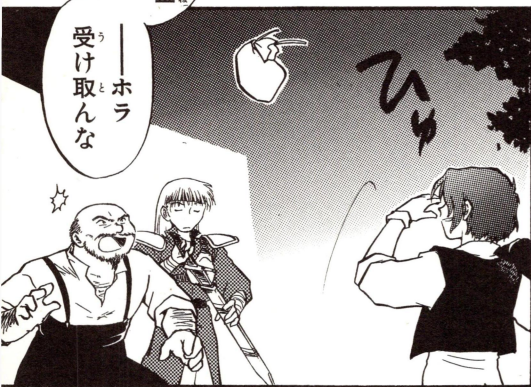


そりや  
ご立派なこった

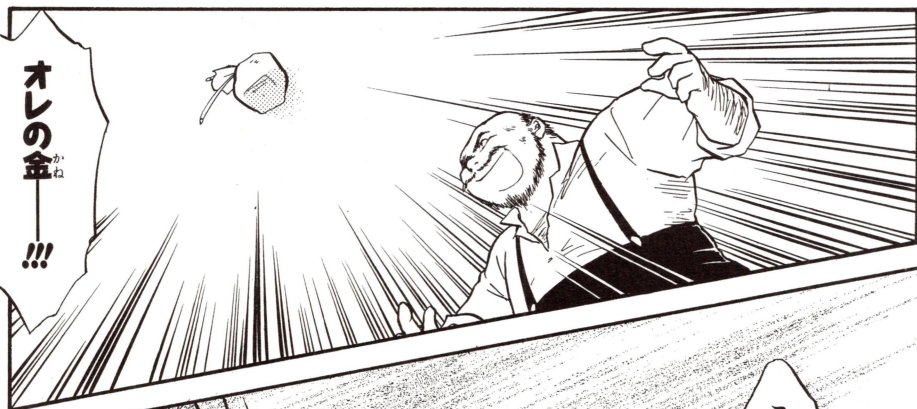


その心かげに  
敬意を表して

オッサンの金  
返したるわ



——ホラ  
受け取んな



オレの金  
!!!



この…



下乗が!!

大



大



# おまう

ムカムカするぜ  
こーいう輩!!

やじろい  
有の金  
ぶんこ  
やろーか

アハ  
おまう

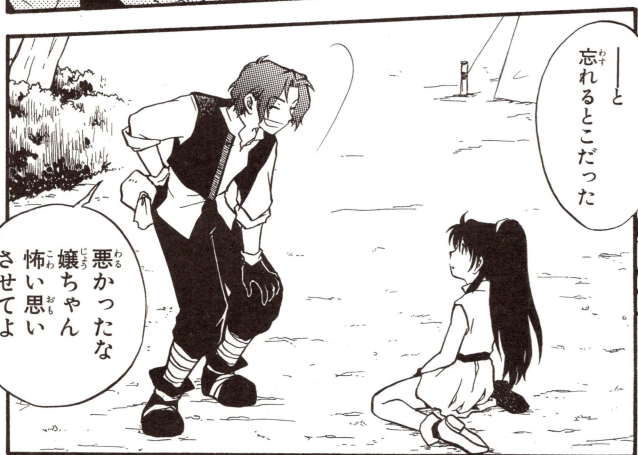
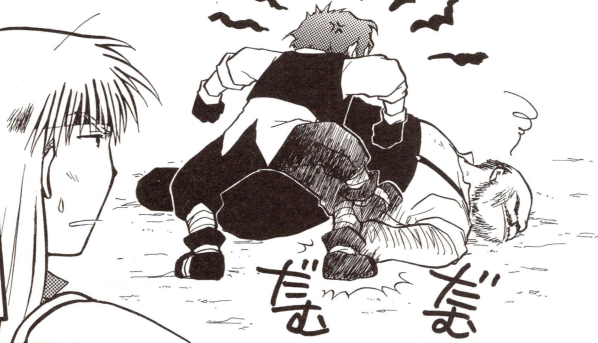
ウサ晴らし  
してないで  
さっさと  
済ませろよ

おまう

おう  
そーだそーだ

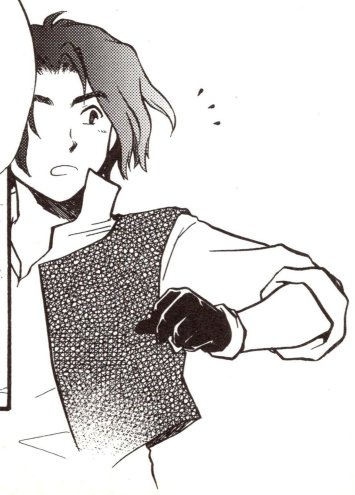
おい おまえら!  
適当に切り上げて  
とっとと帰るぞ!

おまう

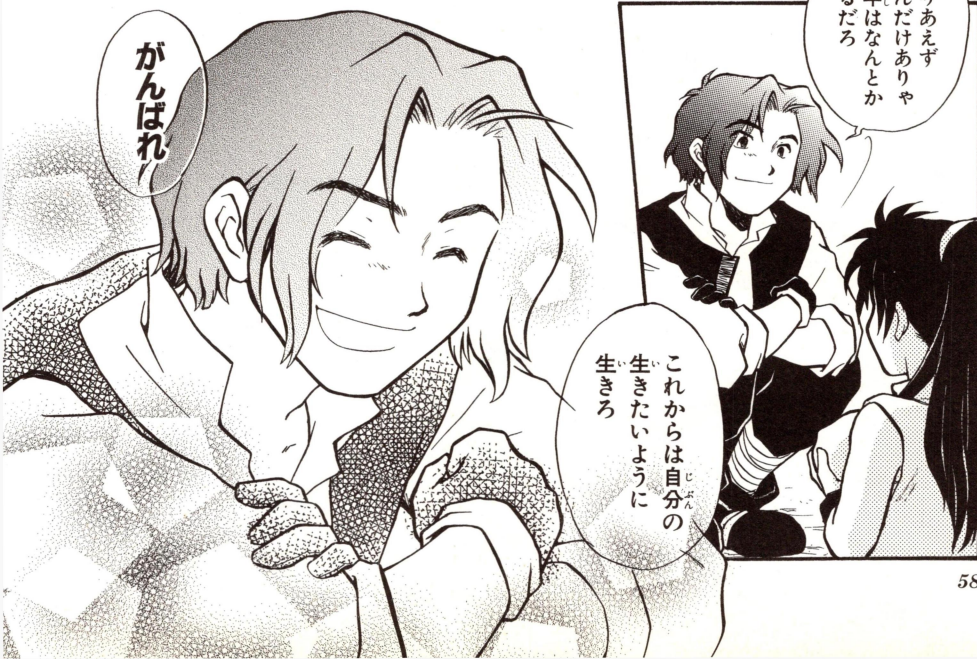
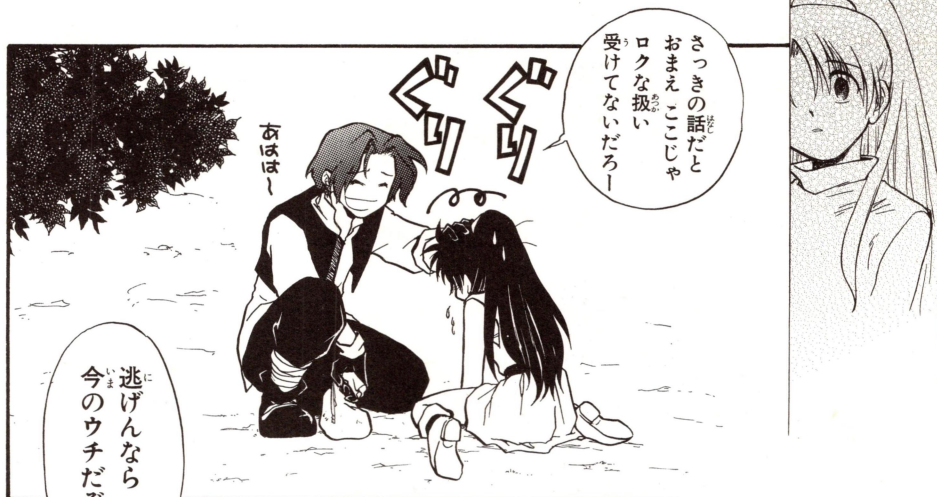


と  
忘れるとこだった

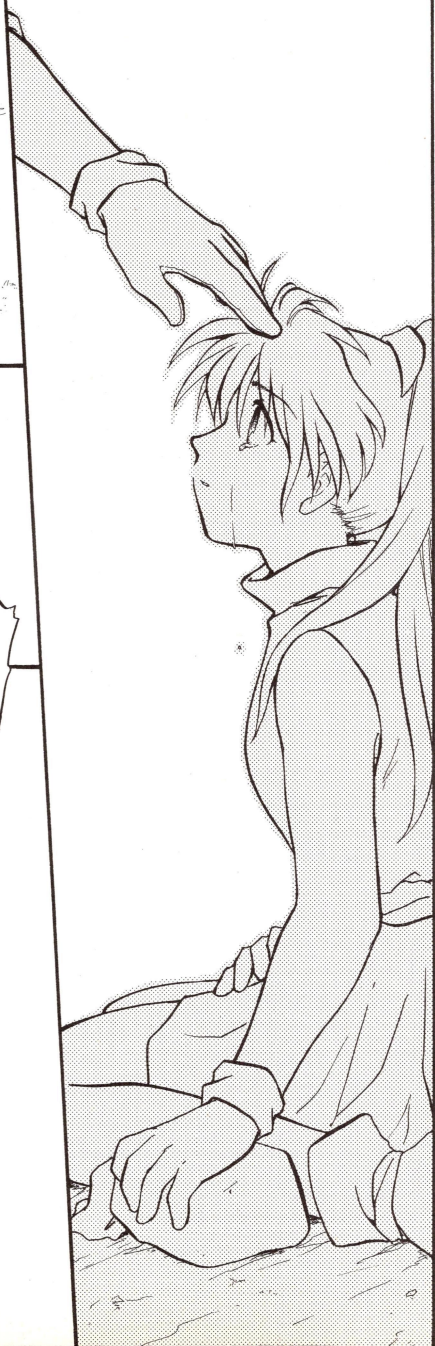
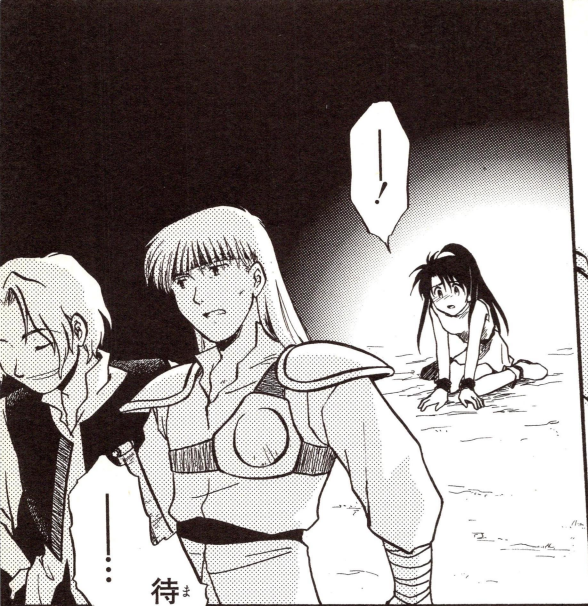
悪かったな  
嬢ちゃん  
怖い思い  
させてよ



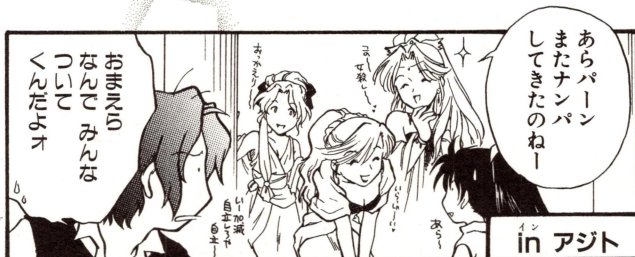
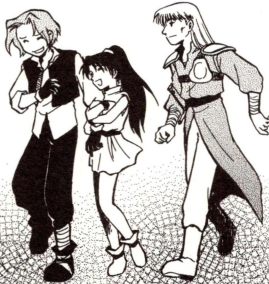
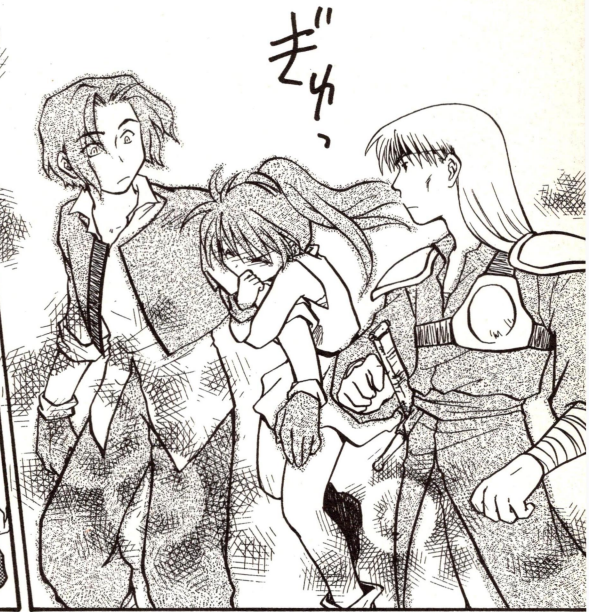
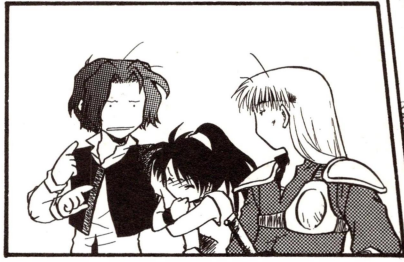












●THE END●



リーフ様

ドリアス卿は  
王子のために  
片腕をなくされ

そして今また  
王子のために  
その生涯を  
終えられた

どうか  
プリンスの名に  
恥じぬような  
立派な君主に  
おなりください…

あなたがなぜ  
そこまでして  
生かされるのか  
…

よくお考え  
ください

わ！  
すげーぞ  
マチュア!!

I wish





マリータも  
がんばれー!!

アイ ウイツ シュ  
**I wish**

まつもと  
松本ゆうか



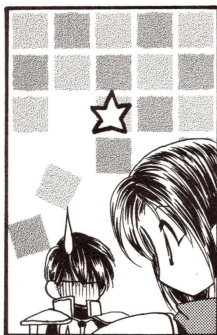
あつ!!





今日は  
ありがとう  
ございました！

とても勉強に  
なりました！！

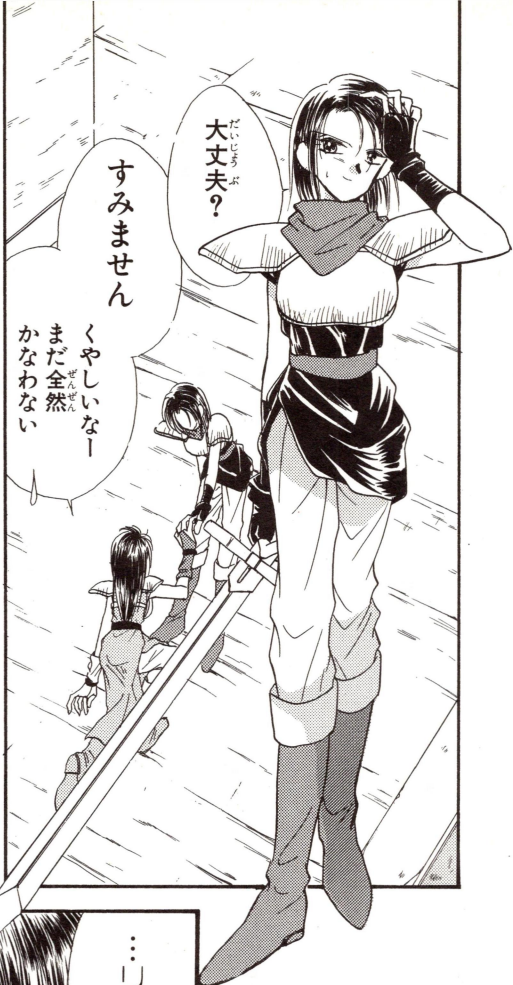


また手合わせ  
お願いします

きつと  
ですよ



…リーフ様ア

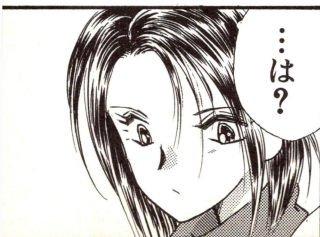


大丈夫？

すみません

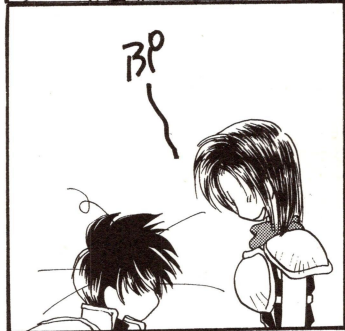
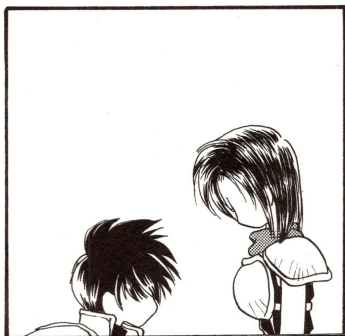
くやしいなー  
まだ全然  
かなわない

…きみの剣は  
嫌いだ



…は？





まるで死ぬために  
戦ってるみたいだ  
……



攻めるばかりで  
防御のことなんて  
全然考えてない

リーフ様？

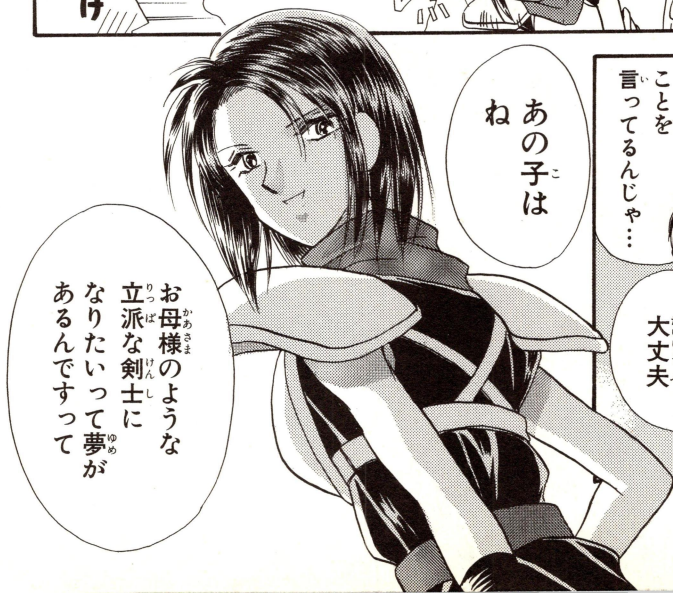
まるで  
……



なんなんて  
笑うんだ  
よっつ

だって  
似合わない  
そんな  
シリアスな  
セリフ

!! ほっとけ



あの子は  
ね

お母様のような  
立派な剣士に  
なりたいって夢が  
あるんですって



そうね  
マリータには  
私のような戦い方は  
合わないかも

そーいう  
ことを  
言ってるんじゃない……

でも  
大丈夫

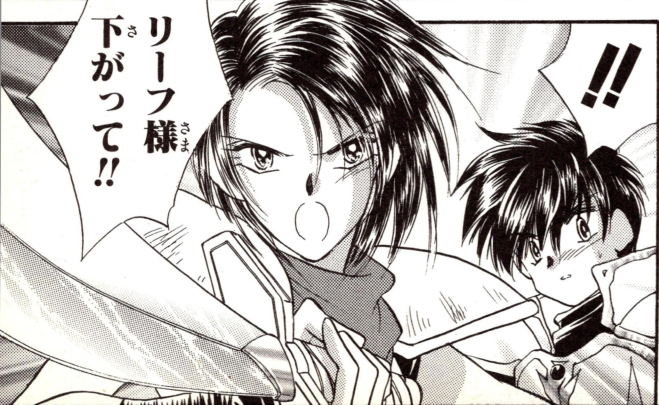
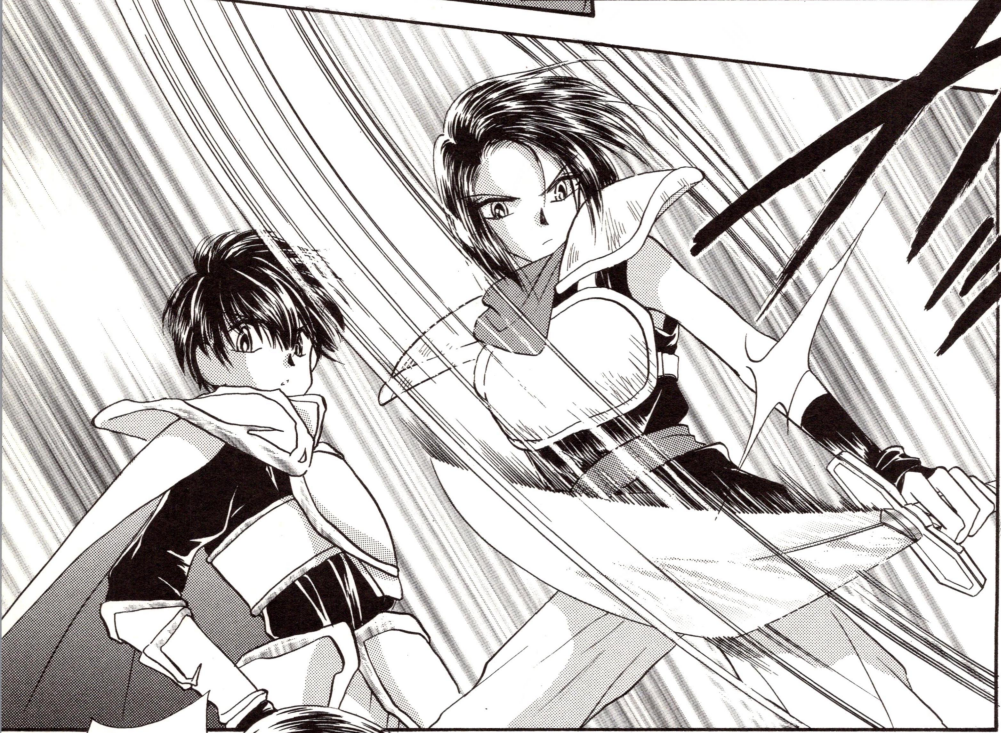




わたくし  
私の夢は…

そーいう  
マチユアは  
どーなんだ  
よう

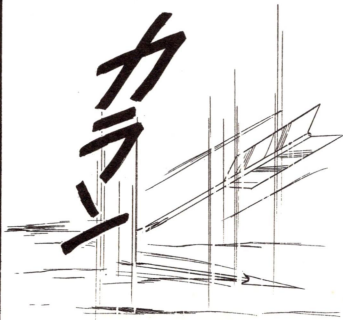
リーフ様の夢は  
王位を継いで  
レンスターを  
守ってくこと！  
当たり前!?  
わかんない



リーフ様  
下がって!!

!!

カラーン





こんなじこまで  
入りこまれる  
なんて！

見張りは  
何をして  
いるの！！

先に  
行ってくれ  
マチュア！！

もうイヤ  
なんだ！

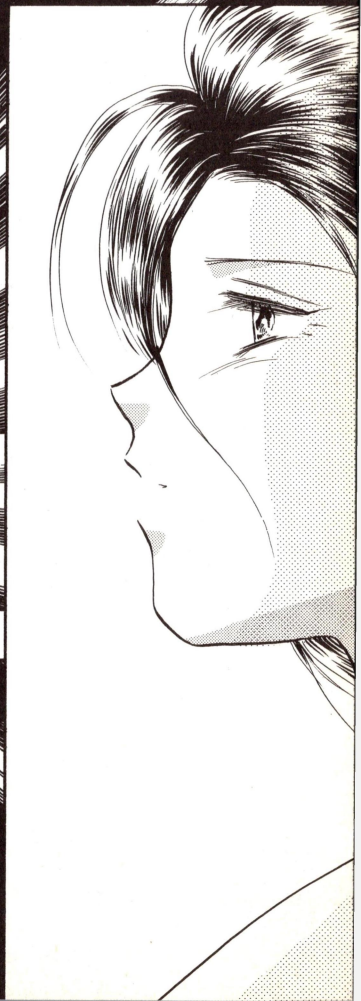
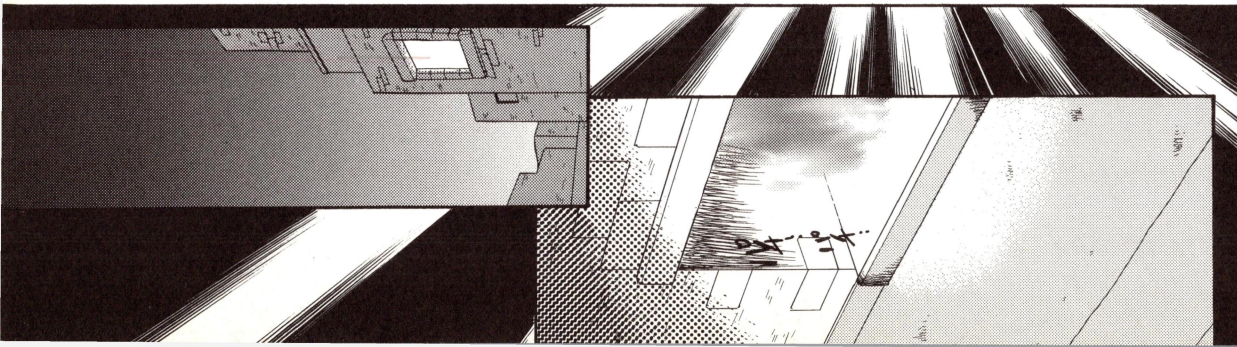
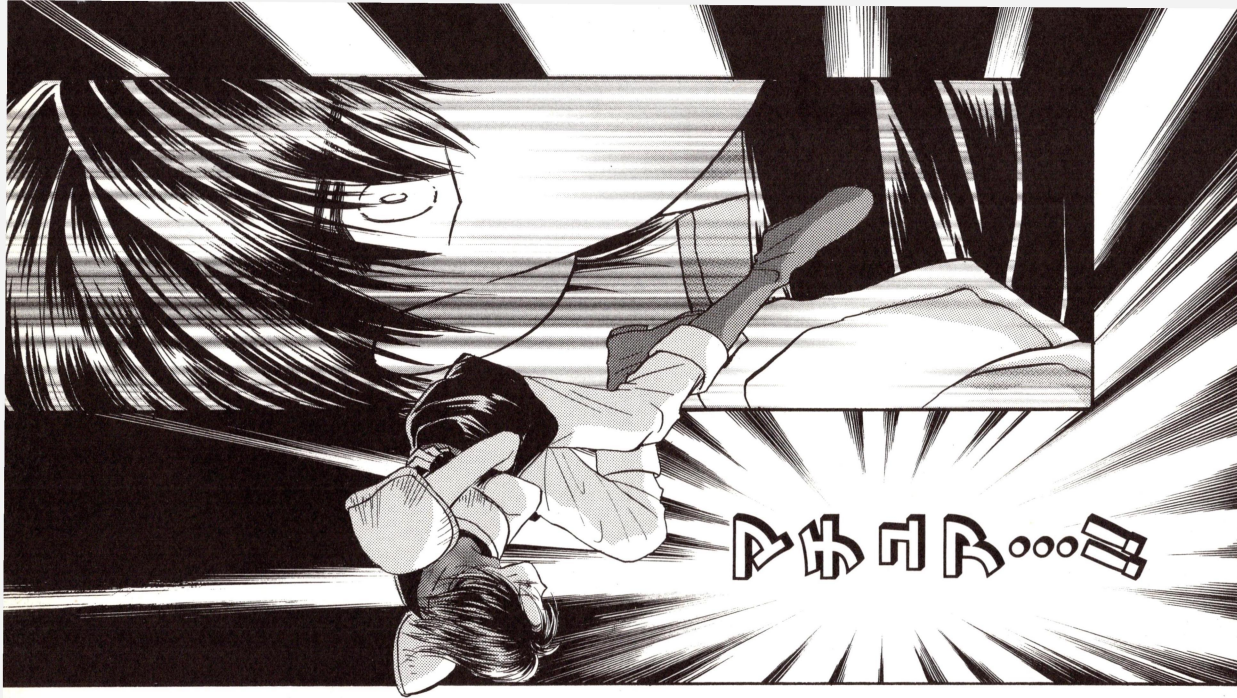
ぼくのために  
誰かが犠牲に  
なるなんて！

！？ リーフ様

！？

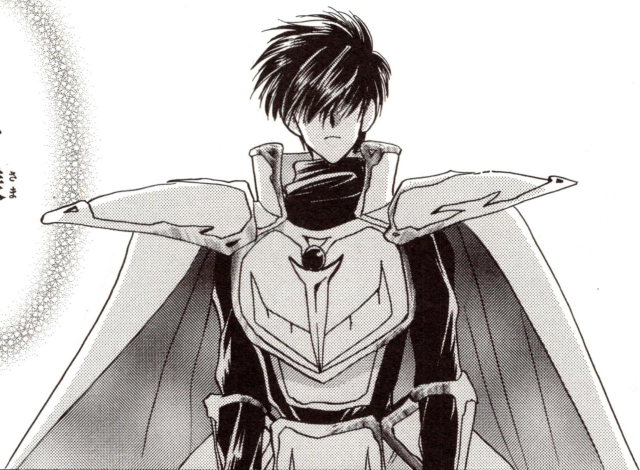
！お！







リーフ様……？



……  
マスターへ  
帰れ！



……  
マスターへ……  
帰ってくれ


頼む……

ぼくのために  
死んだりしないで  
くれ……


だから  
きみの剣は  
嫌いなんだ！  
あんな無茶を  
して……







…かわいいそうな  
王子様  
おうじさま



つらいよね

ひと  
の犠牲<sup>ぎせい</sup>の上<sup>うえ</sup>に  
い  
生かされてるなんて

みんな死んで  
あなたを  
しばらくつける


自分のかわりに  
夢<sup>ゆめ</sup>をかなえて  
ほしいと

…あなたがまた  
たった15の少年<sup>しょうねん</sup>  
だってこと  
わす  
忘れてる




でもわかって

それほどまでに  
あなたは私<sup>わたし</sup>たちの  
希望<sup>きぼう</sup>なの



ごめんなさい  
リーフ様<sup>さま</sup>

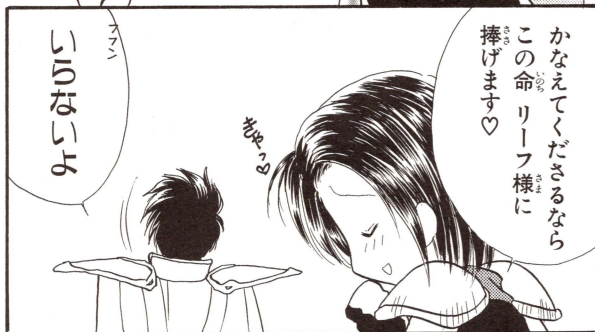
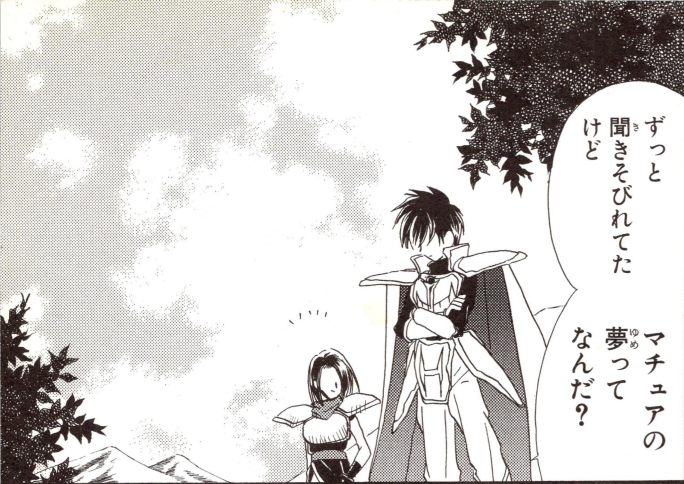


A black and white manga-style illustration of a person with long dark hair, wearing a light-colored robe, crouching on the floor in a room. They are looking down with a distressed expression. To their right is a simple rectangular table. In the background, a large mirror is mounted on the wall, reflecting part of the room. The scene is filled with a soft, grainy texture.

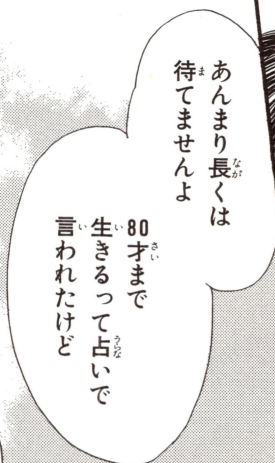
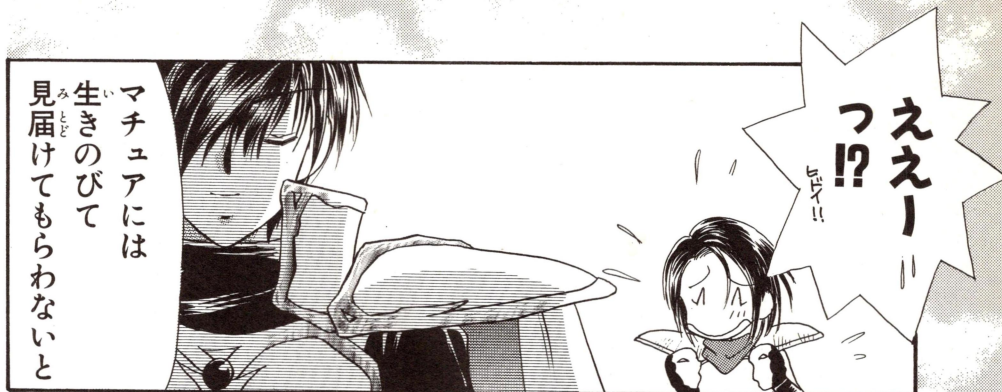
つらい役目（やくめ）を  
押しつけてしまつて

ごめんなさい…



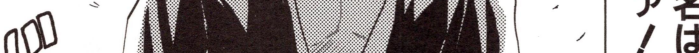








その名は  
「アノ」  
ナ



ナ

今最も寒い男!

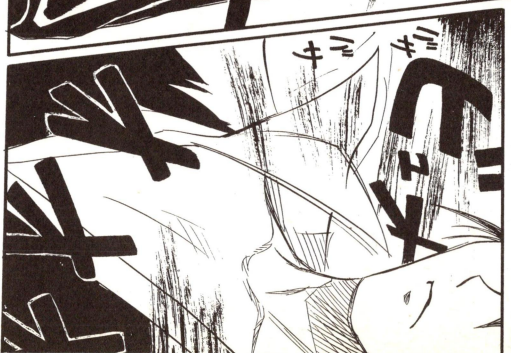
特にこの辺

# ヒルナンデス!





実際、彼は  
とても  
妻かった...



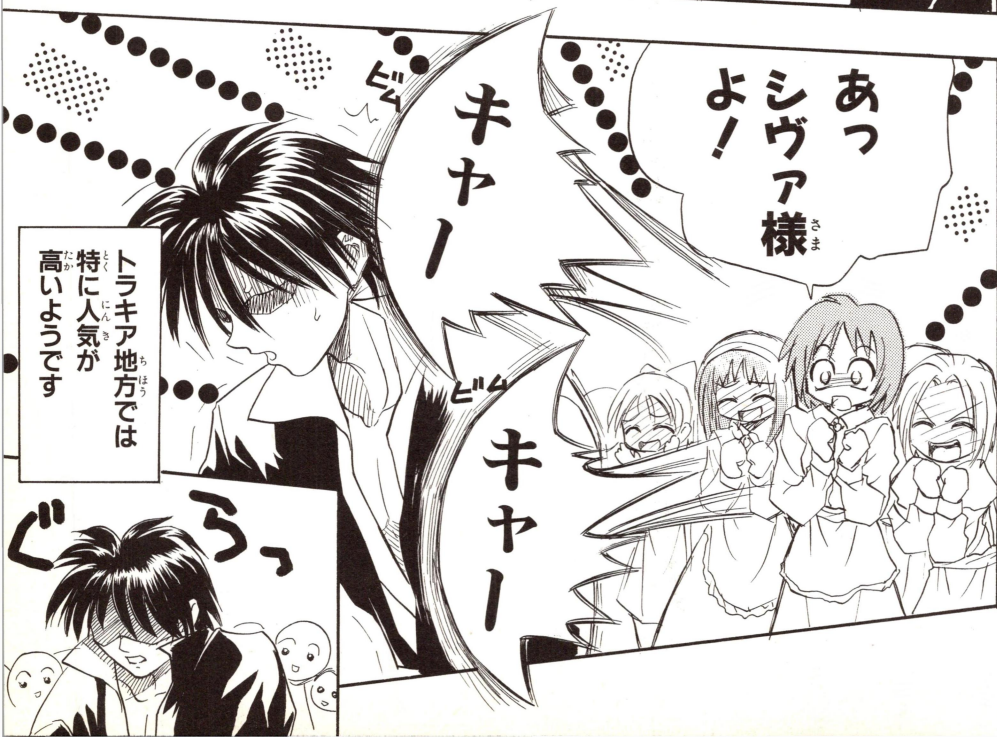




ビオオ

ビオオ

しかも今日は  
トラキアに  
寒波が到来  
しています



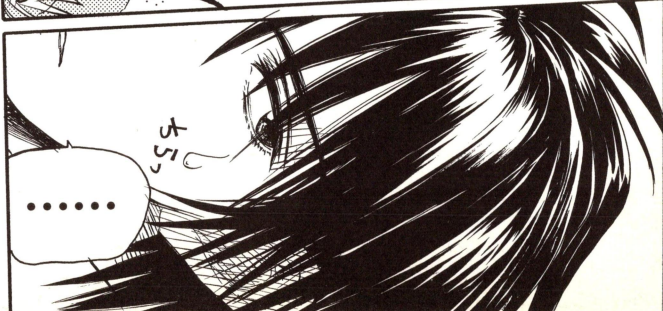
あつ  
シヴァ様  
よ!

キヤー  
キヤー

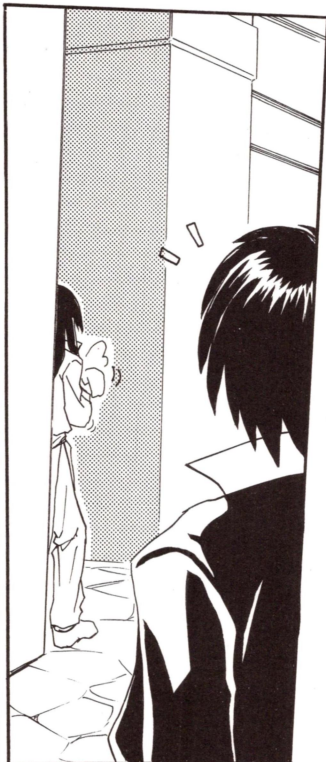
トラキア地方では  
特に人気が高  
いようです









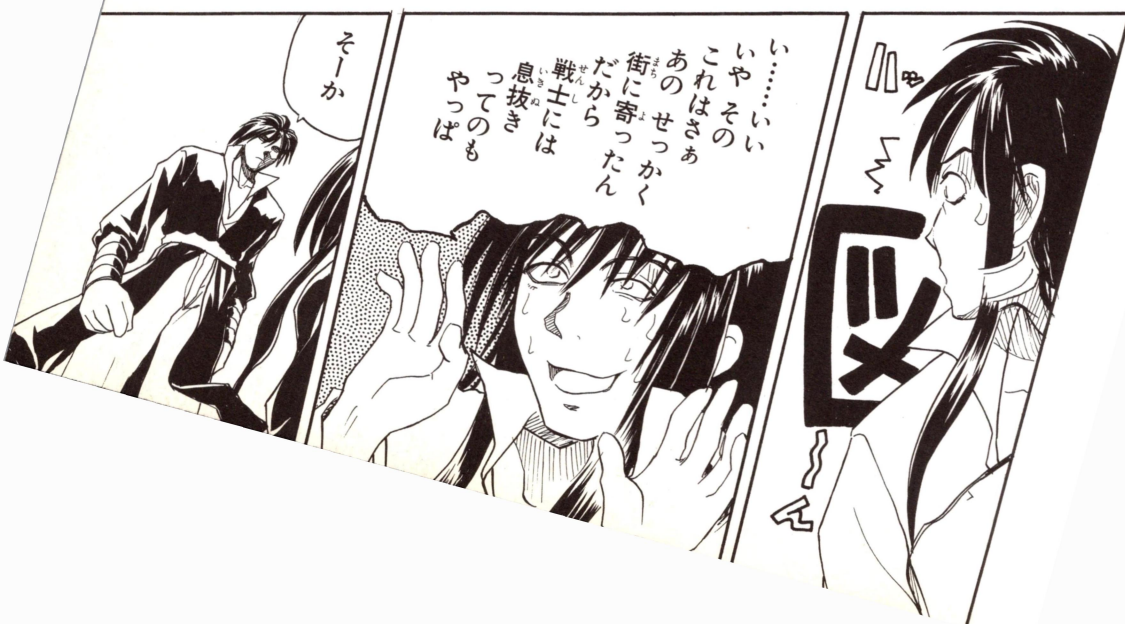


シヤナム  
だ











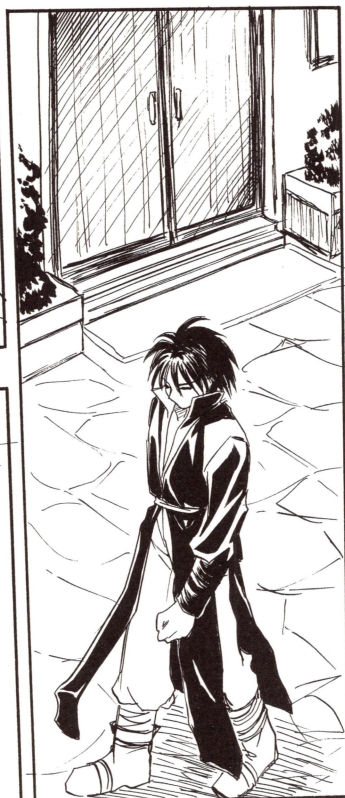






ひるっ

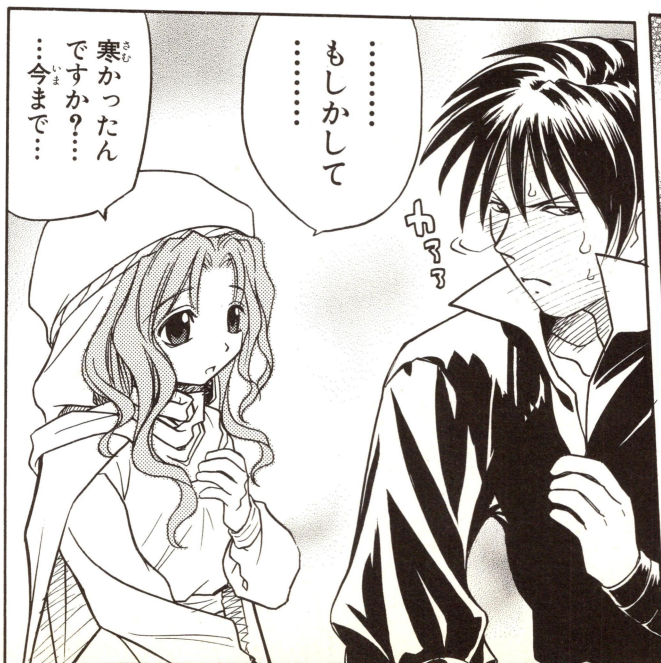
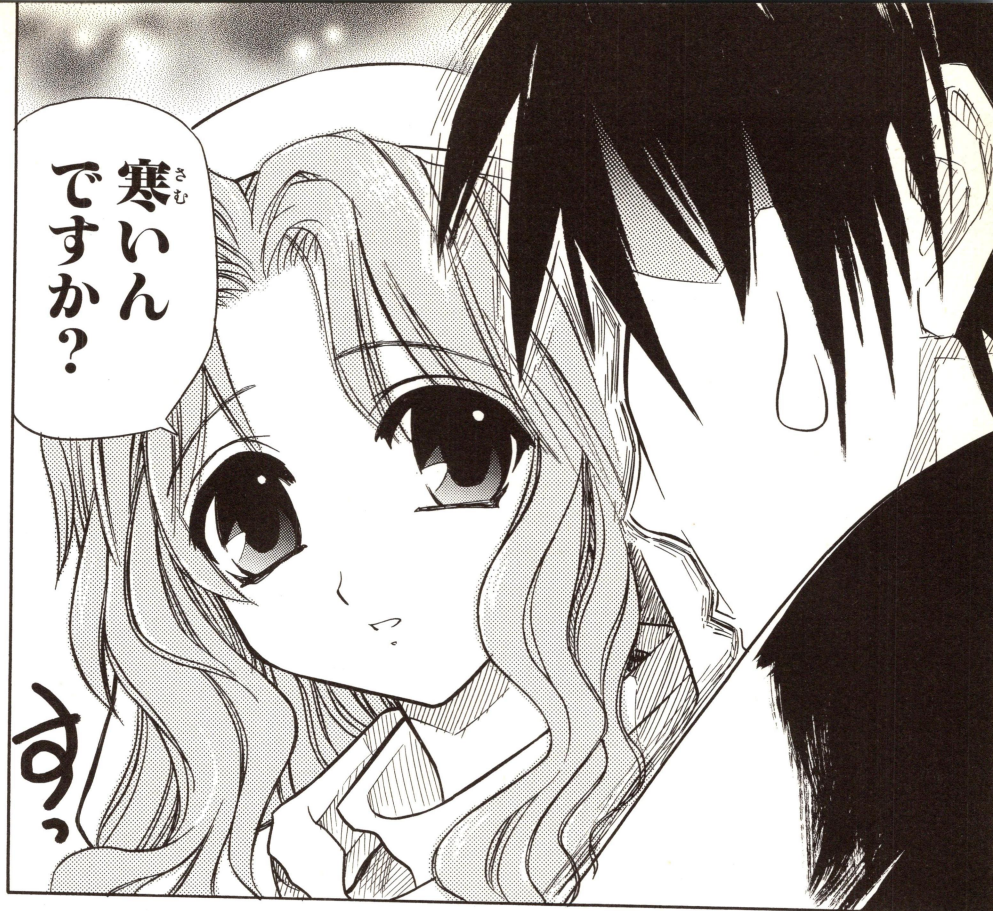
↑本格的にさむいときた



みじやく

まえと  
前を閉じる  
ことが  
できた

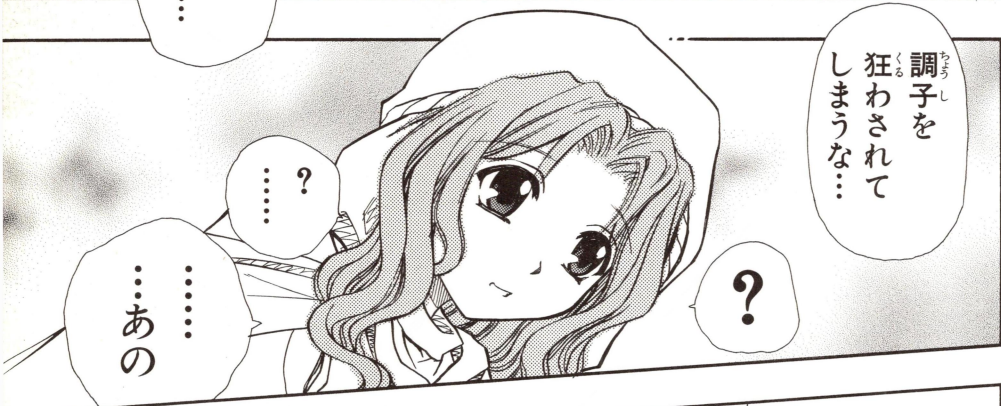








どうも  
まえ  
お前には…

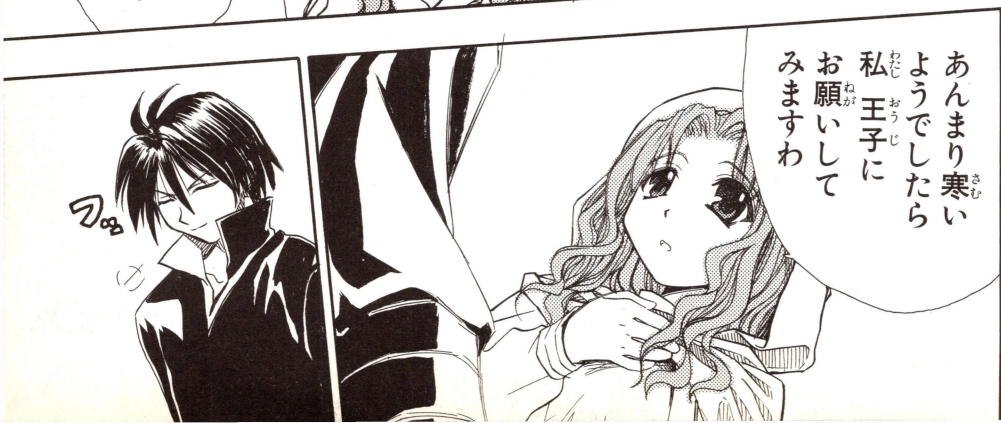


調子<sup>ちうし</sup>を  
狂<sup>くる</sup>わされて  
しま<sup>う</sup>な…

？  
…

…あ  
の

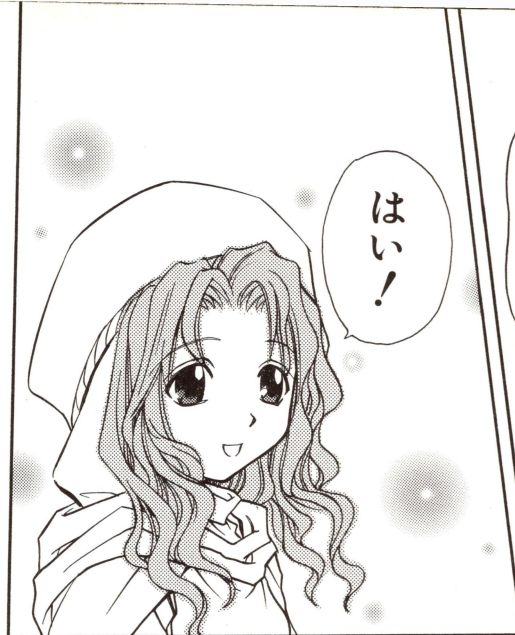
？



あんまり寒<sup>さむ</sup>い  
ようでしたら  
私<sup>わたくし</sup>王子<sup>おうじ</sup>に  
お願<sup>ねが</sup>いして  
み<sup>ま</sup>すわ

つゆ





サフィは王子にお願いしました



あわり





グラン歴<sup>れき</sup>775年 マンスター<sup>まんすたー</sup>城<sup>じょう</sup>下<sup>か</sup>

同軍<sup>どうぐん</sup>第<sup>だい</sup>2駐屯<sup>ちゅうとん</sup>地<sup>ち</sup> 兵舎<sup>へいしゃ</sup>内<sup>ない</sup>——

それでは表門<sup>おもてもん</sup>を  
私<sup>わたし</sup>とマクレイン

地<sup>ち</sup>下<sup>か</sup>一<sup>いっ</sup>帯<sup>たい</sup>を  
フランクと  
ディアス

きた の み ほ  
**北野美帆**

ランベール  
ロッソ

それと  
フライトンは  
武器庫<sup>ぶきこ</sup>及び  
裏門<sup>うらもん</sup>周辺<sup>しゅうへん</sup>

おの  
おの  
各々<sup>おのおの</sup>  
警備<sup>けいび</sup>に  
あたっくれ

い  
じょう  
以上<sup>じょう</sup>!

バード ラック ソルジャー  
**HARD LUCK SOLDIER**

国境<sup>こくきょう</sup>警備<sup>けいび</sup>から  
やつと城下<sup>じょうか</sup>に戻<sup>もど</sup>って  
最初<sup>さいしよ</sup>の仕事<sup>しごと</sup>が  
留守番<sup>くすばん</sup>たあねえ

こんなコロじゃ  
手柄<sup>てがら</sup>の立てようも  
なしってか……

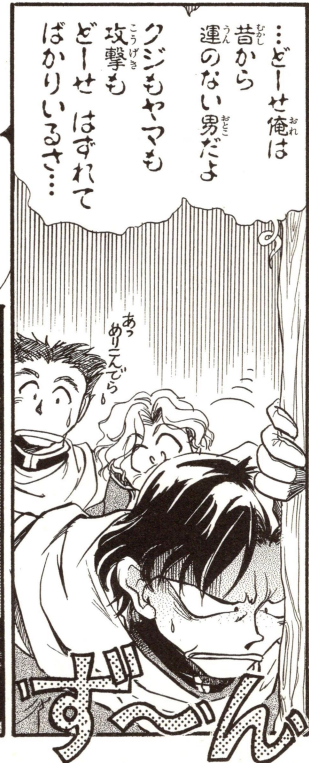
運<sup>うん</sup>がねーよな  
俺<sup>おれ</sup>らってば

いいかげんに  
しとけよ  
お前<sup>まえ</sup>ら

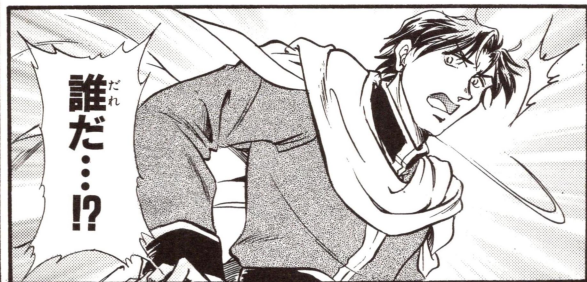
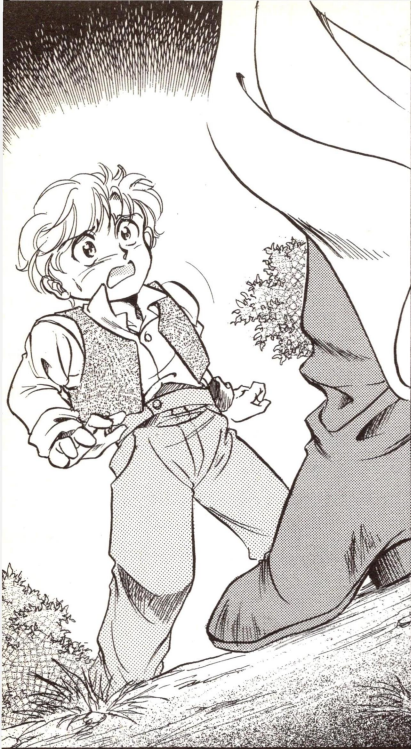
留守<sup>くす</sup>警備<sup>けいび</sup>だつて  
重要<sup>じゅうよう</sup>な任務<sup>にんむ</sup>  
だろーが

まあったくよお!

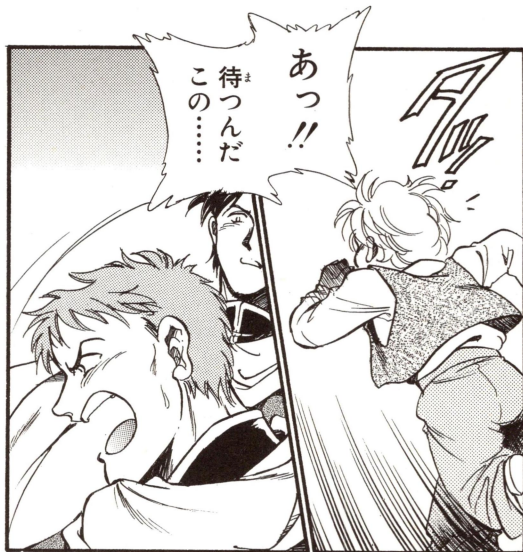












あつ!!  
待つんだ  
この……



地下牢から  
子供が  
一人逃げた!!

そっちで……  
——いた!!

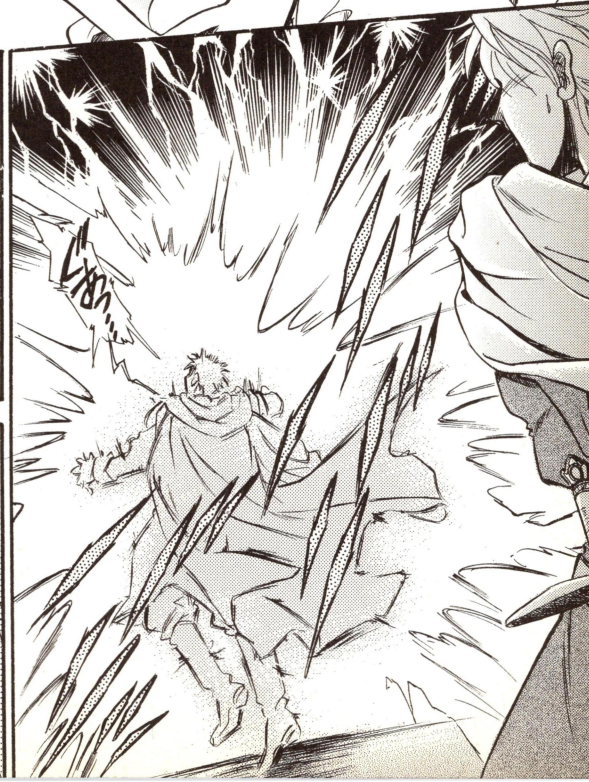


手荒な  
マネは——

おい!  
相手は  
子供だ!!

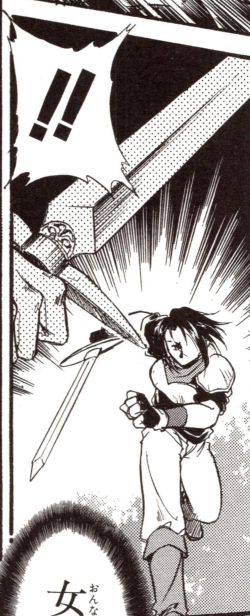
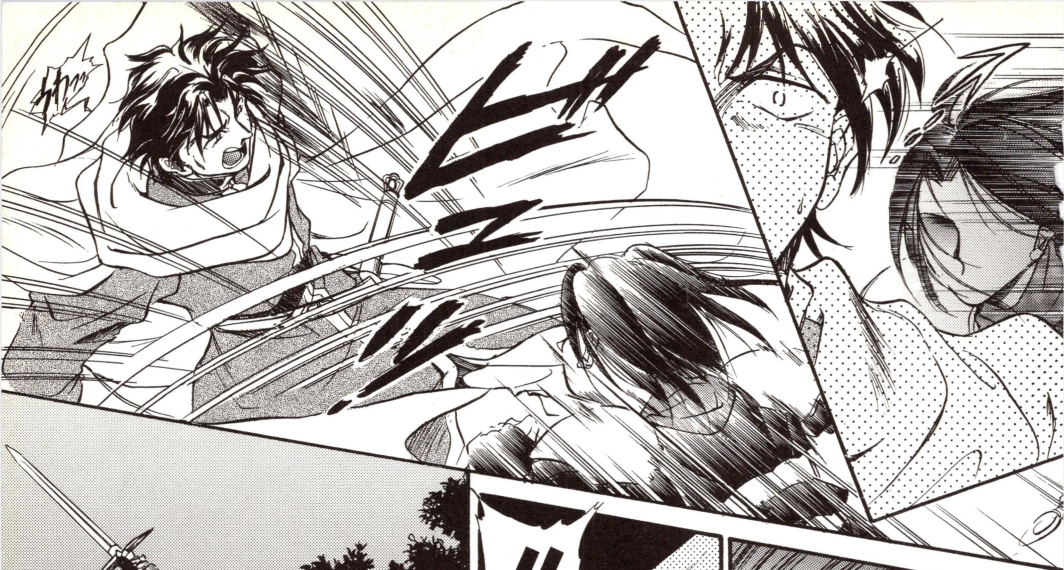


…いま  
今のは



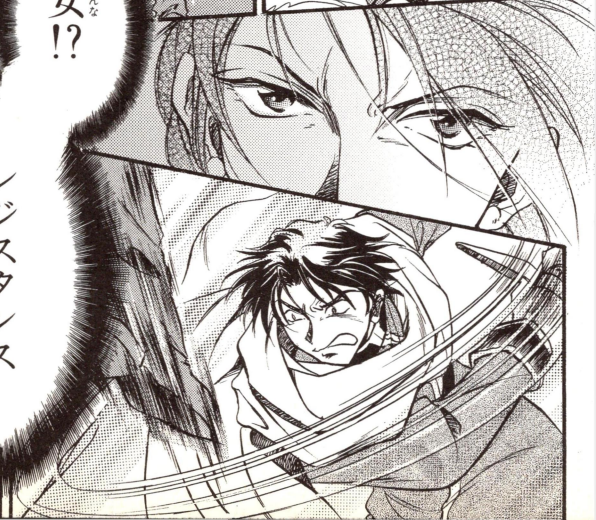
魔導の光ー!?



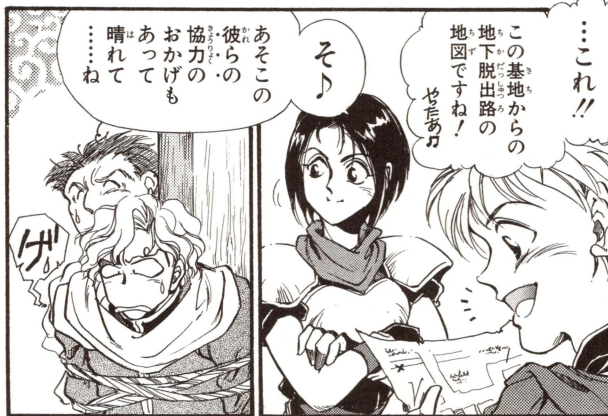
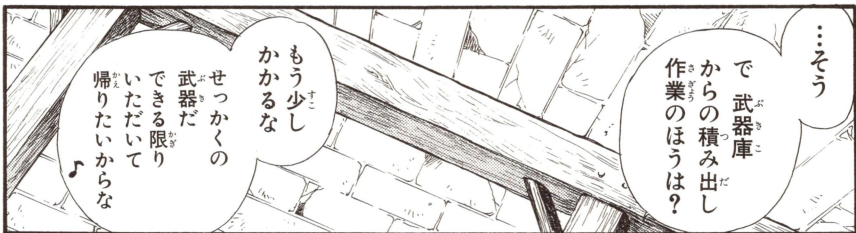


女!  
おんな

レジスタンス  
か!!











—だったらいつそ  
マジ団にでも  
来てみる？

その気が  
あるなら  
まとめて面倒  
見たげるわよ



はっ！  
これで連中に  
殺されずに  
すんだと  
しても  
処罰は絶対  
免れられ  
ねーな

…協力だとい  
う隊員の名  
前を盗る  
わけだ



また国境警備に  
逆戻りってか？

そんなヌルい  
処分ですんだら  
御の字だぜ  
下手すりや…



…冗談だろ？

そっか！  
んなこと言って  
俺たちから情報  
聞き出してその後  
ザクっ！！

あいにく私ら  
軍ほど極悪非道  
じゃないのよね

いわば純粹に  
情報も人材も  
欲してるっつー  
話なだけよ



…そんな簡単に  
すむわけ  
ないだろーが！

だったら  
うちに  
来なさい！

そのほうが  
精神的にも  
人道的にも  
絶対に—

だいたい  
あなたたち  
今の軍の行為を  
自信をもつてすべて  
肯定できる？

…できないでしょ？

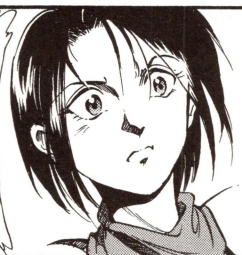




あんの言う  
道を選べば

俺たちは立派な  
反逆者だ

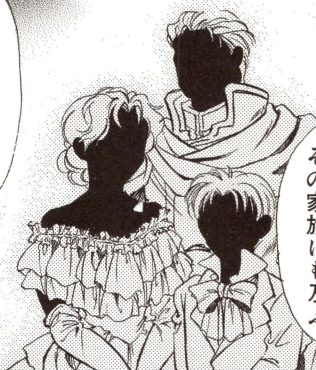
それがどういう  
意味をもつか  
あんに  
わかるか!?



昔から  
騎士の主君への  
造反は重罪――

その咎は  
本人のみならず  
その家族にも及ぶ

父や母や兄弟が  
自分の軽率な  
行動の巻きぞえを  
くらうんだ――



それでも  
あんたは  
その道を  
選べと  
言えるのか!?



己れの身勝手に  
身内をも  
巻き込めと!?

…わからなくはないわ

いろいろ  
大変ね  
騎士さんも

でも同情はしないわよ

だってそれは  
自分の身内さえ  
守れば

ほかはどうなっても  
かまわないと  
言っているのと  
同じなもの





—なにに…？

だって  
そうでしょう

あなたが  
やむを得ず  
行っている  
軍の仕事が

この国の人々を  
苦しめているのは  
まぎれもない事実よ

：マチュアさんっ  
馬車もとうに  
先行してます

ボクたちも  
もう  
行かないと…

そんな明白な  
事実は  
目をつぶって  
家族愛か？

笑わせ  
ないでよね

おかしいと  
思わないの  
そんな自分を？

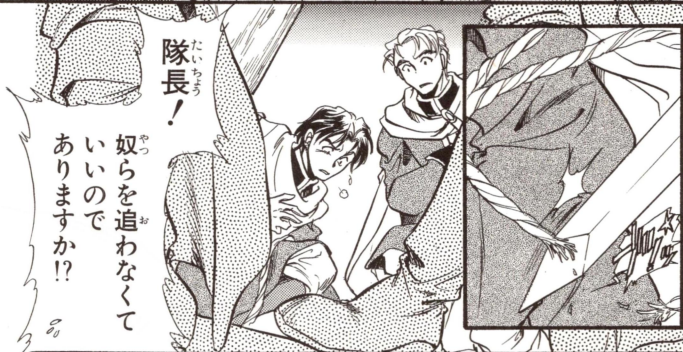
こんな  
世の中を！！

そこまでだ  
反逆者ども！！

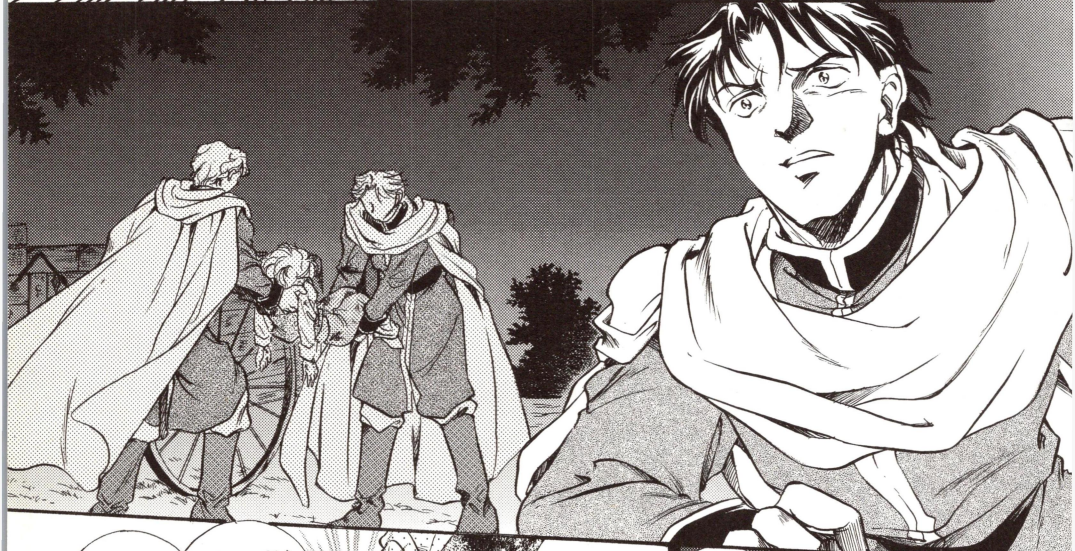
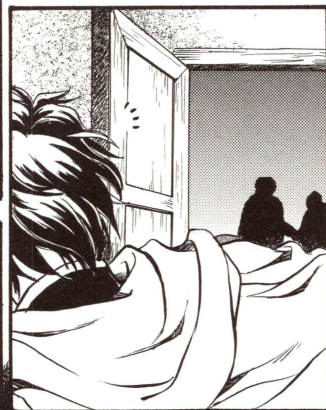
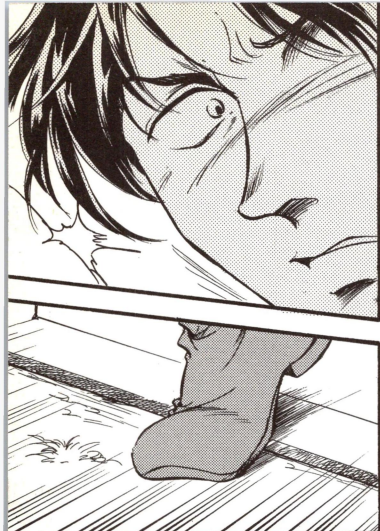
キレイごとを並べる  
ヒマがあったら  
その頭冷やして  
よっく考えなさいよ

そしたら—





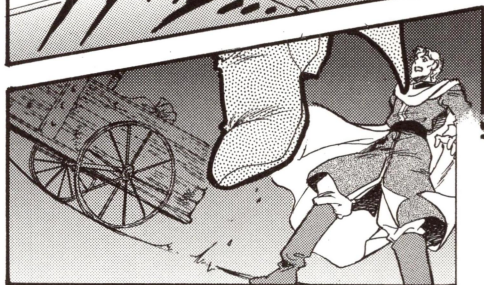
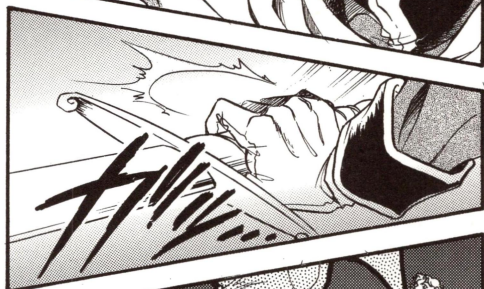




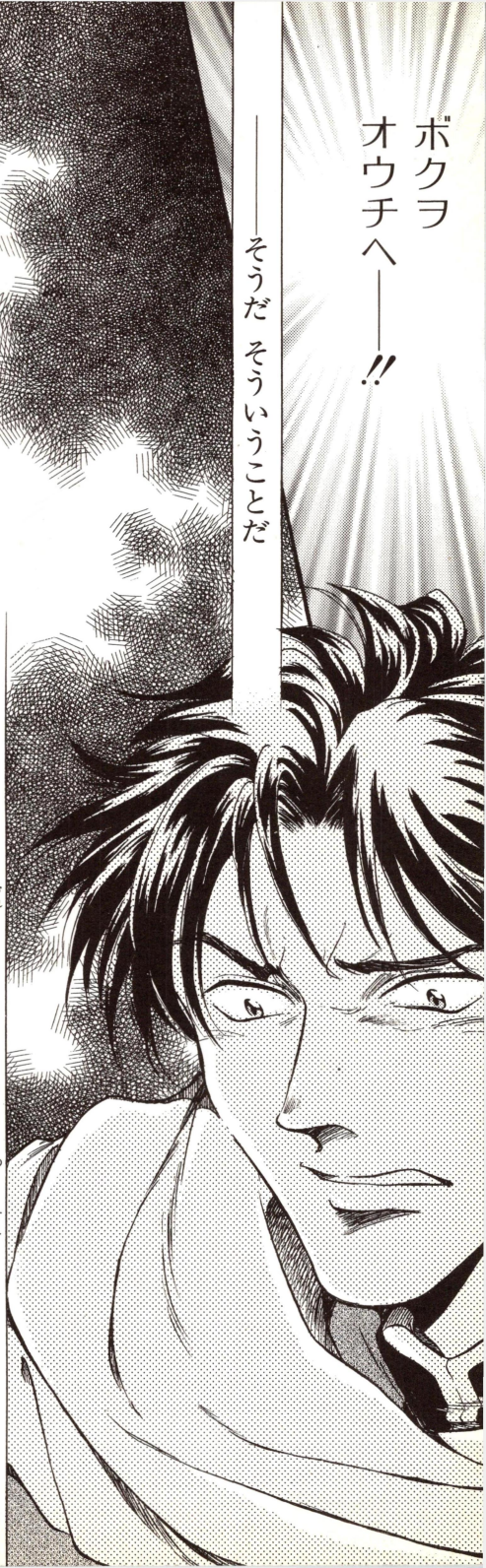


ボクヲ  
オウチヘ——!!

——そうだ そういうことだ



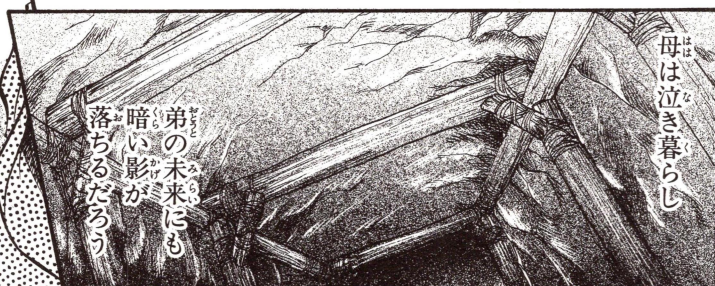
俺おれのしていることの行く末すえは——





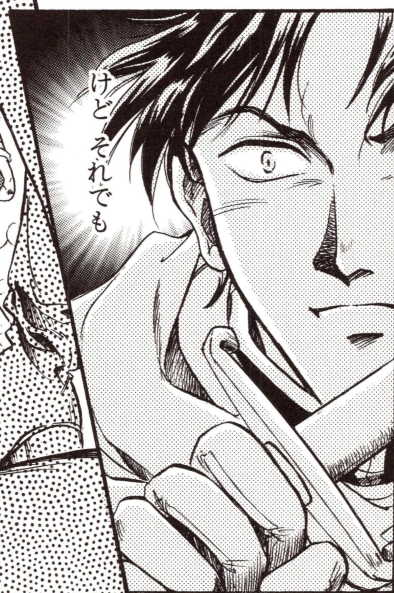
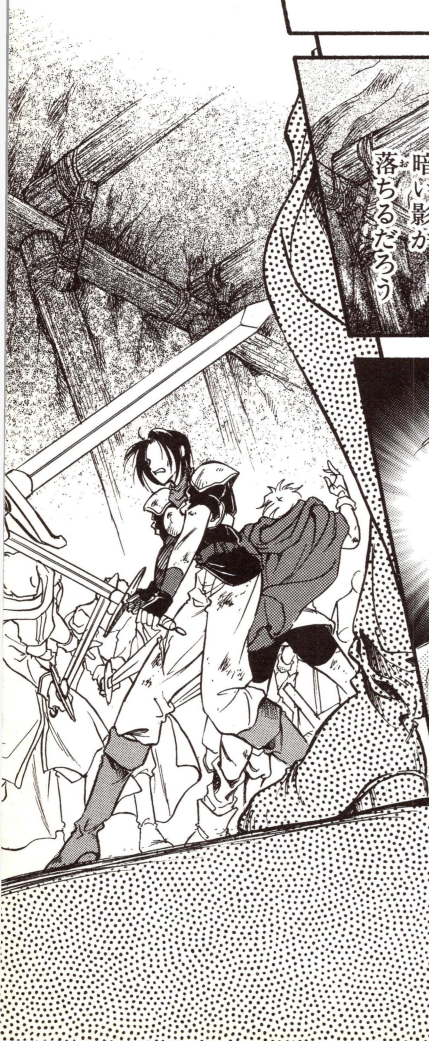


きつと父親は  
失脚するだろう

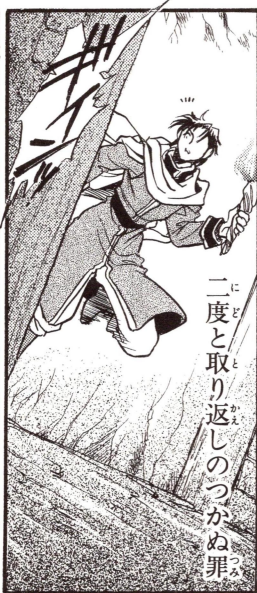


母は泣き暮らし

弟の未来にも  
暗い影が  
落ちるだろう



けどそれでも



二度と取り返しのがね罪

それでも俺はもう



呪いの風...  
 呪いの風...  
 呪いの風...

平気だなんて

連々流が少いから

続外に流るて川の水はうごきの道

[illegible]

水路？  
...

$\frac{6}{2} = \frac{3}{1}$





…なあに



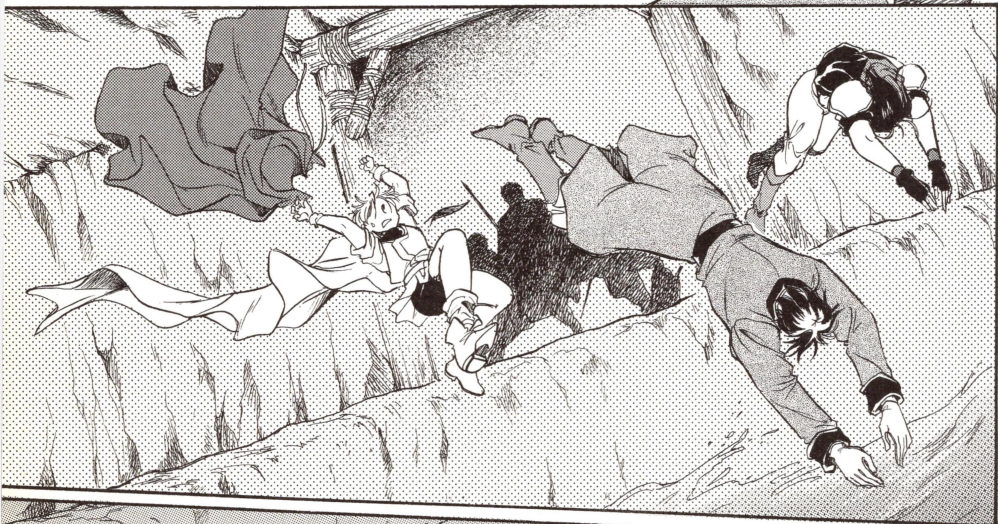
今まで

中途半端に  
ツギがなかった  
自分の人生を

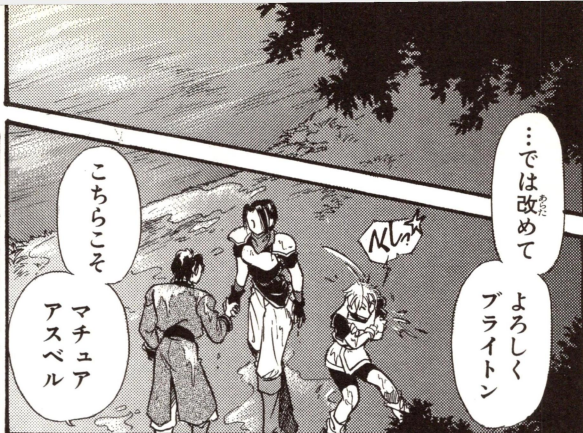


どうせなら  
とことん

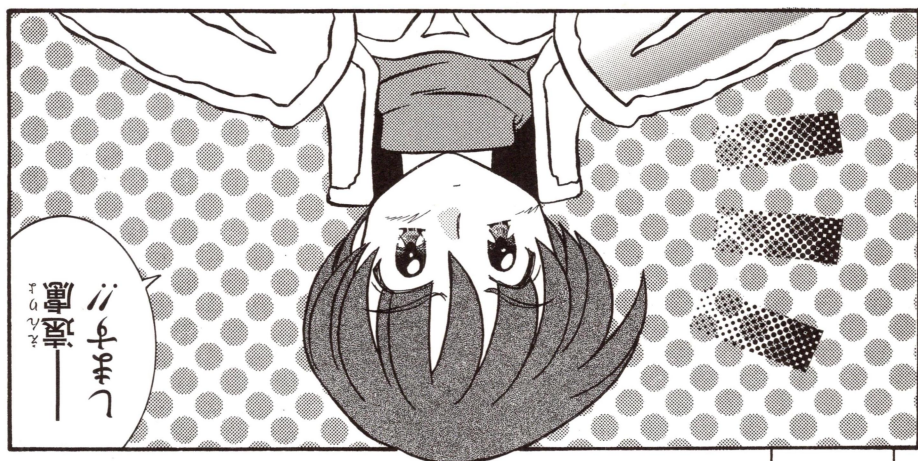
ドン底まで  
極めてやろうと  
腹をすえた  
までさ――





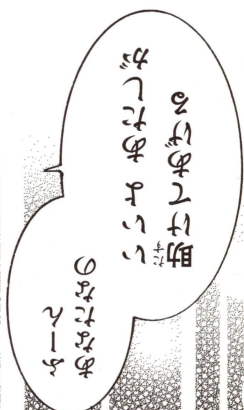




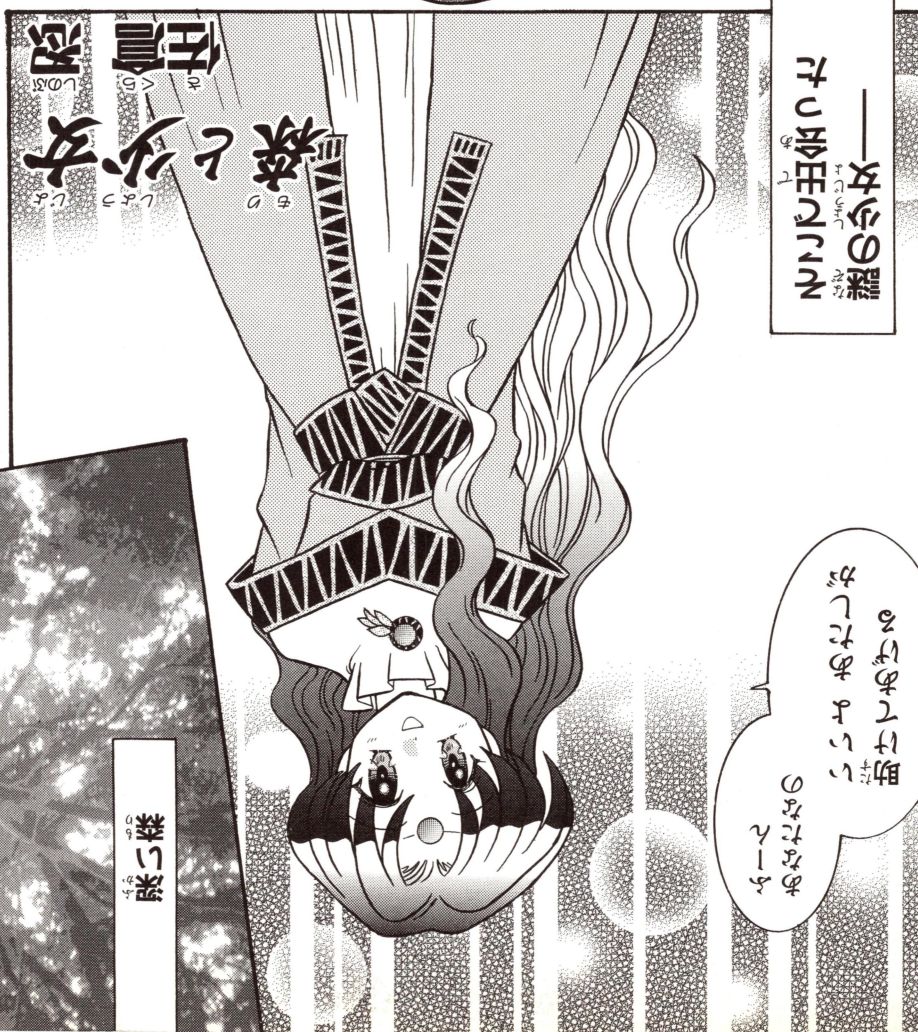


バサッ  
——遠慮

——女少の  
——お嬢様  
——たう



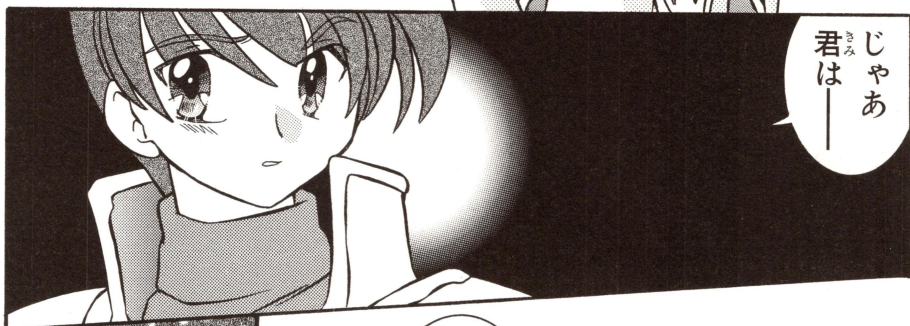
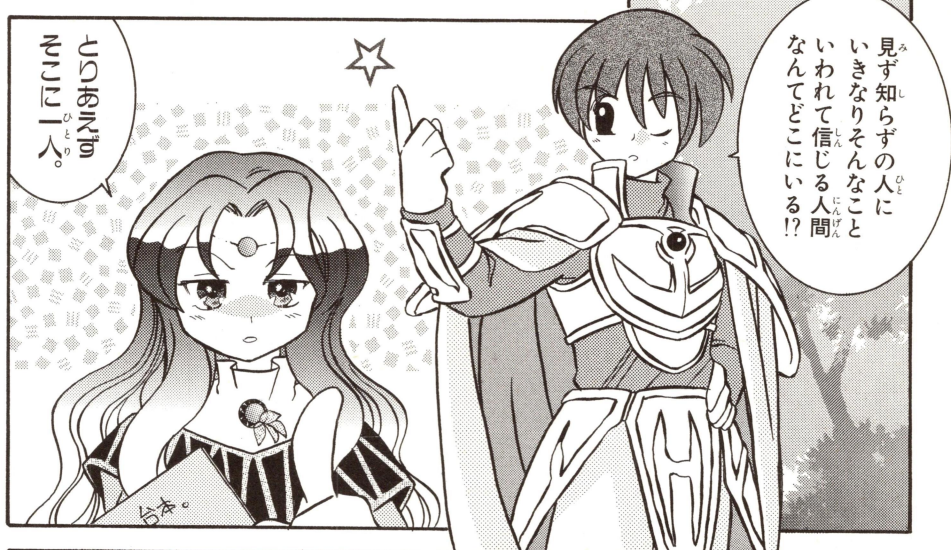
助けよう  
——あんな  
——か



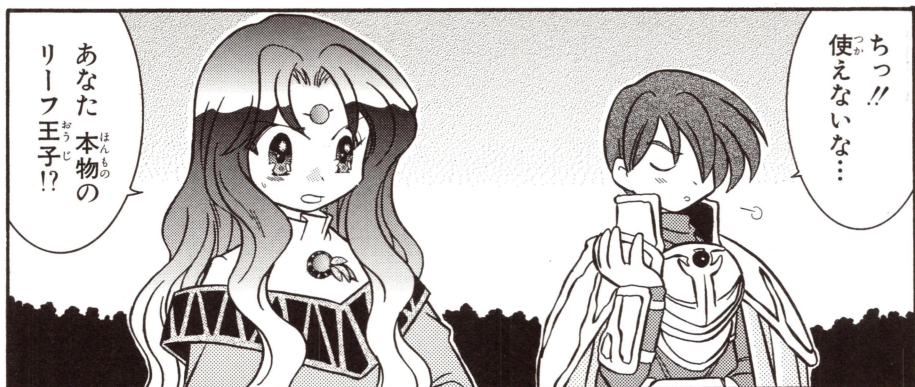
佐倉  
——お嬢  
——さん

お嬢  
——さん

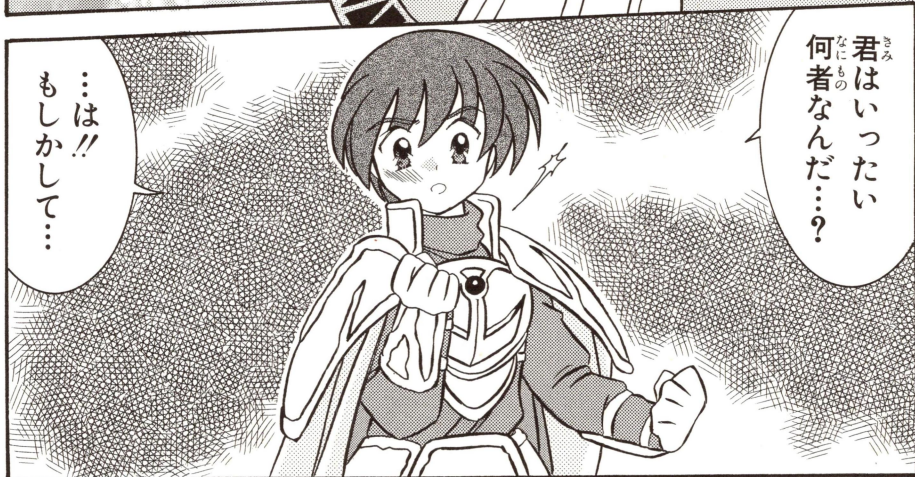
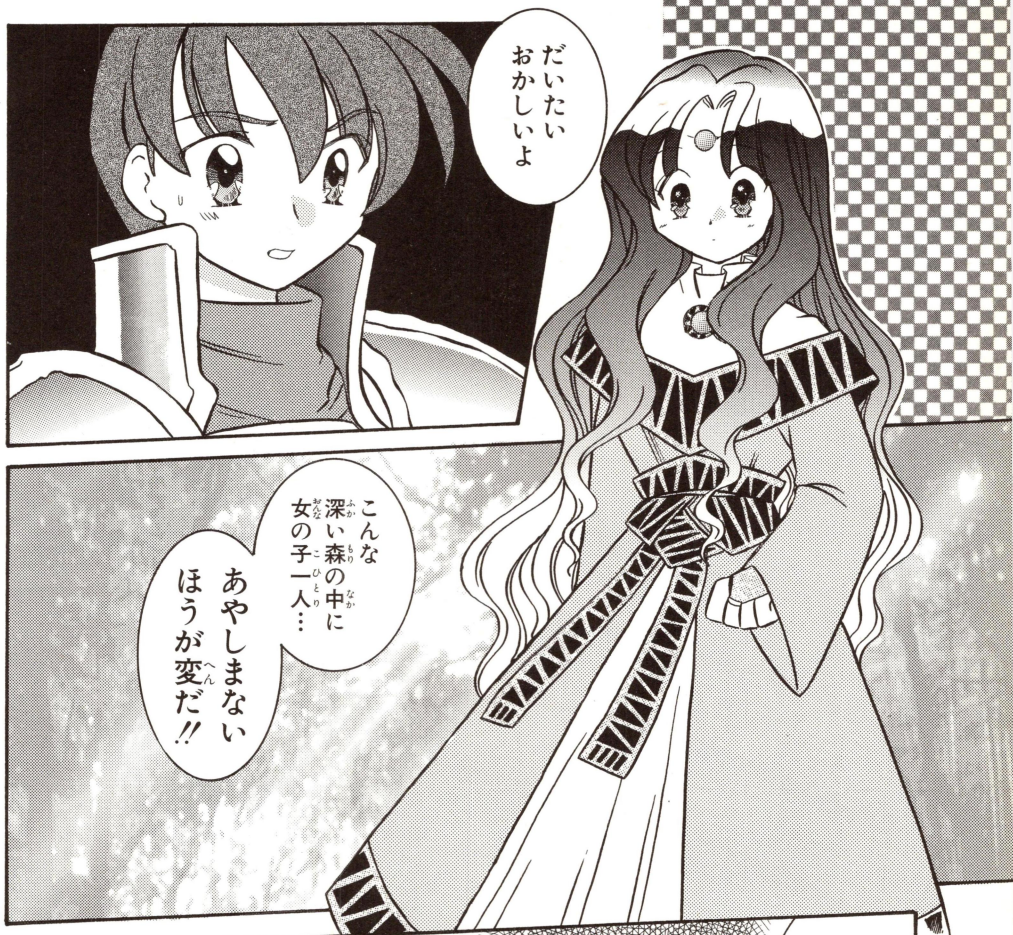




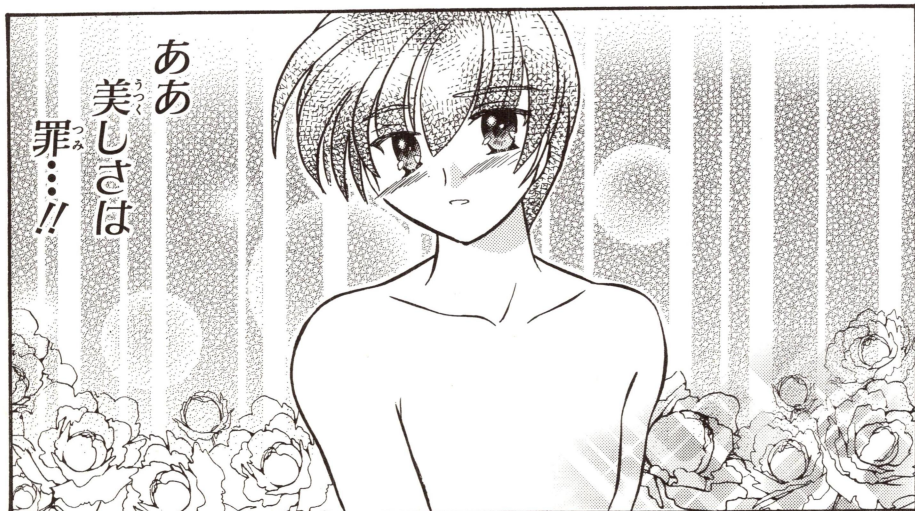
















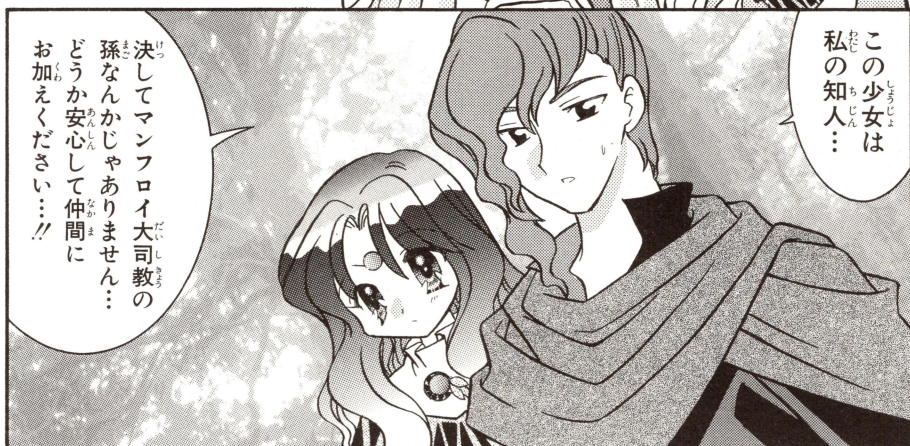
大丈夫よ！  
たとえ天地が  
逆になっても  
そんなことは  
ありえないし

にゃにゃにゃ

そんな冷静に  
かつきつぱり  
否定されても  
困るんだけど

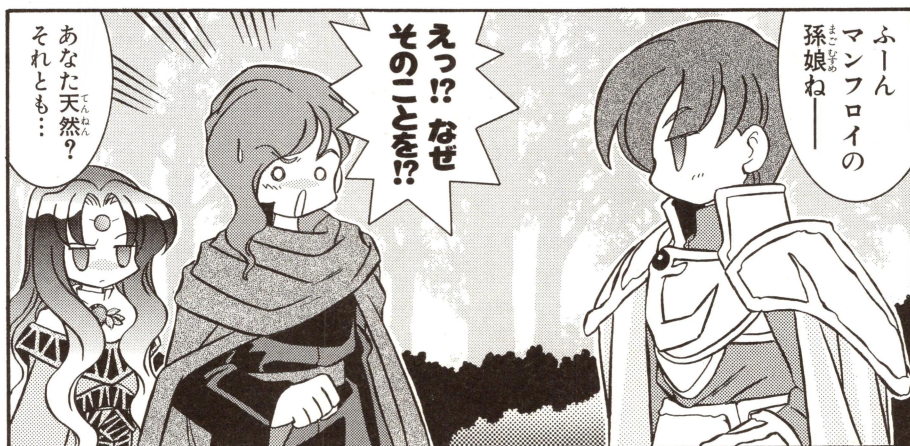
リーフ様!!

セイラム!!



この少女は  
私の知人…

決してマンフロイ大司教の  
孫なんかじゃありません…  
どうか安心して仲間に  
お加えください…!!

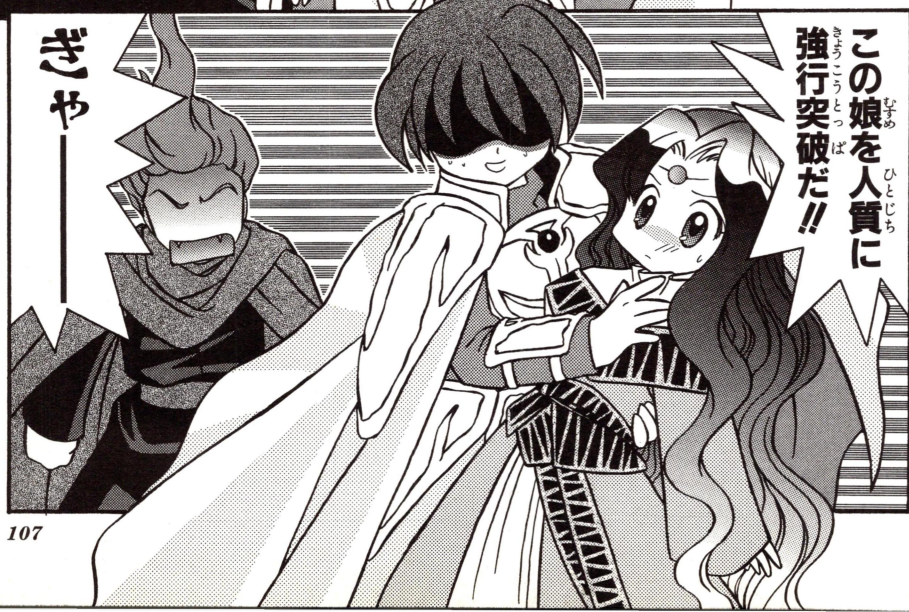


ふーん  
マンフロイの  
孫娘ねー

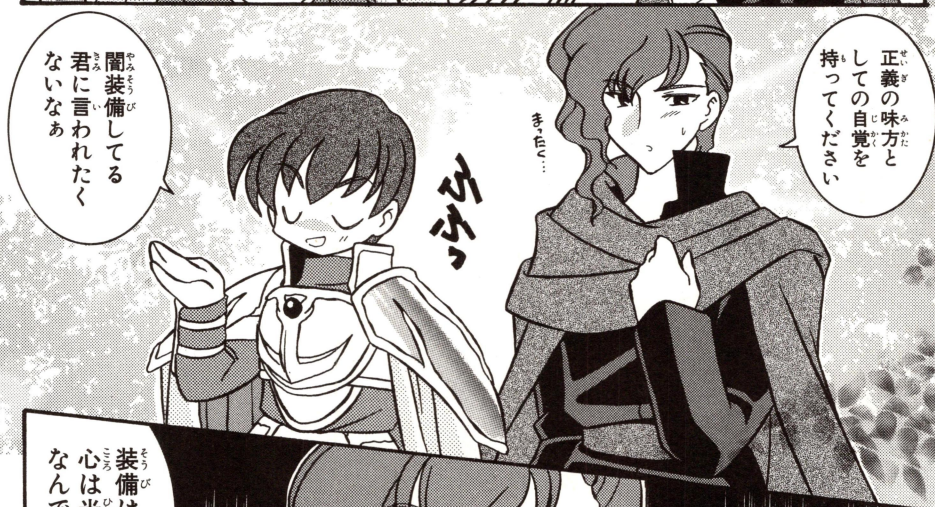
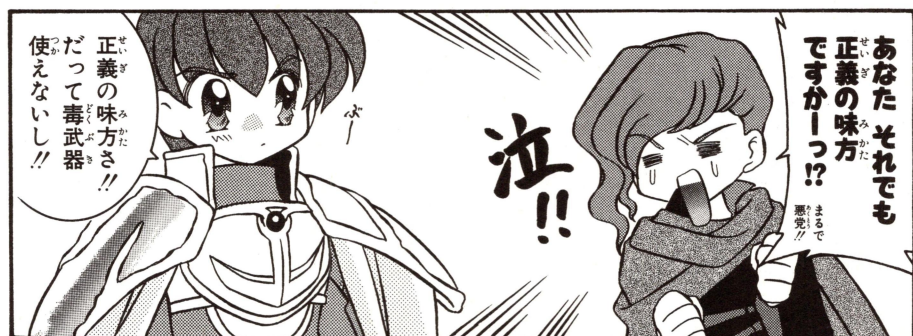
えっ!? なぜ  
そのことを!!

あなた天然?  
それとも…





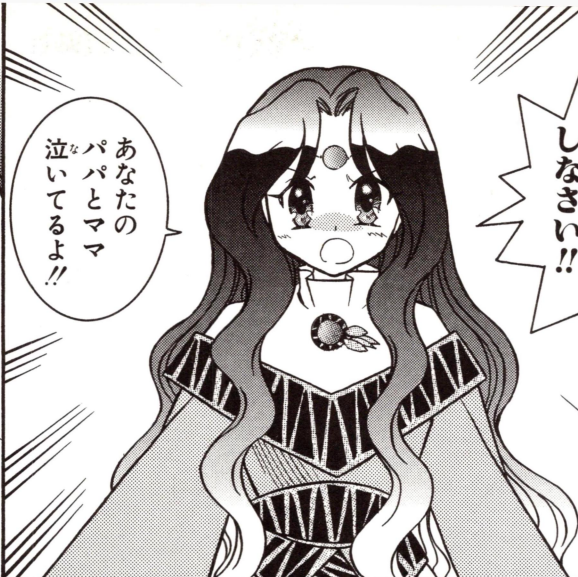






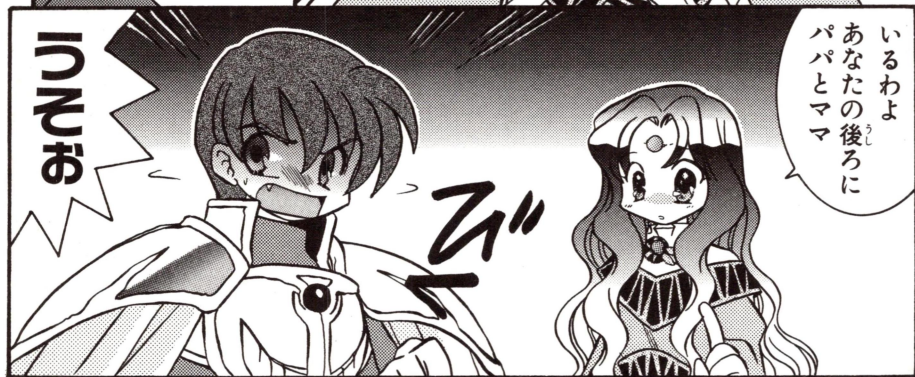


あいにく  
僕の両親  
は……



あなたの  
パパとママ  
泣いてるよ!!

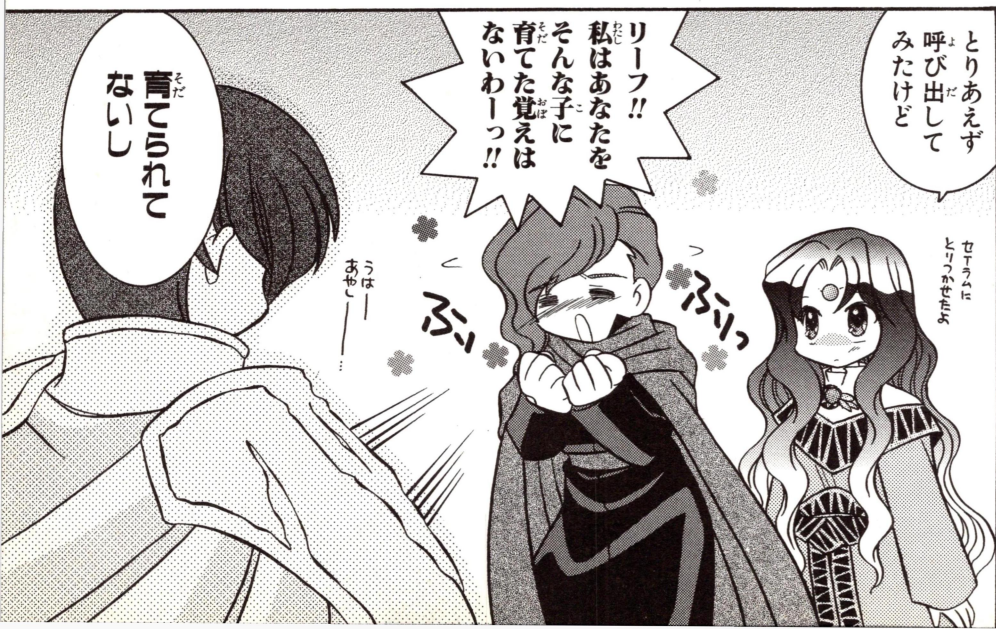
いいかげんに  
しなさい!!



しゅぽ

ズ

いるわよ  
あなたの後ろに  
パパとママ



言え  
ないし

うは  
あせし  
……

リーフ!!  
私はあなたを  
そんな子に  
育てた覚えは  
ないわーっ!!

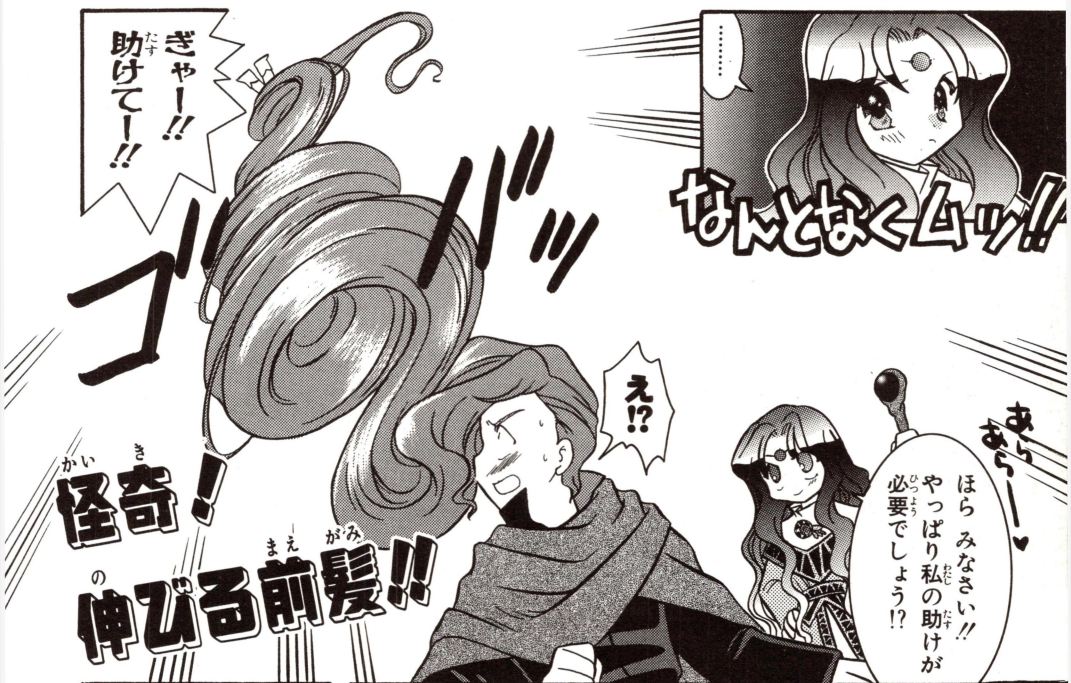
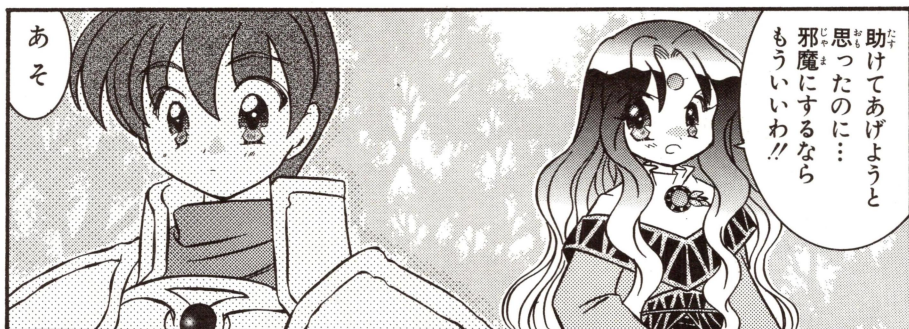
ふい

ふいっ

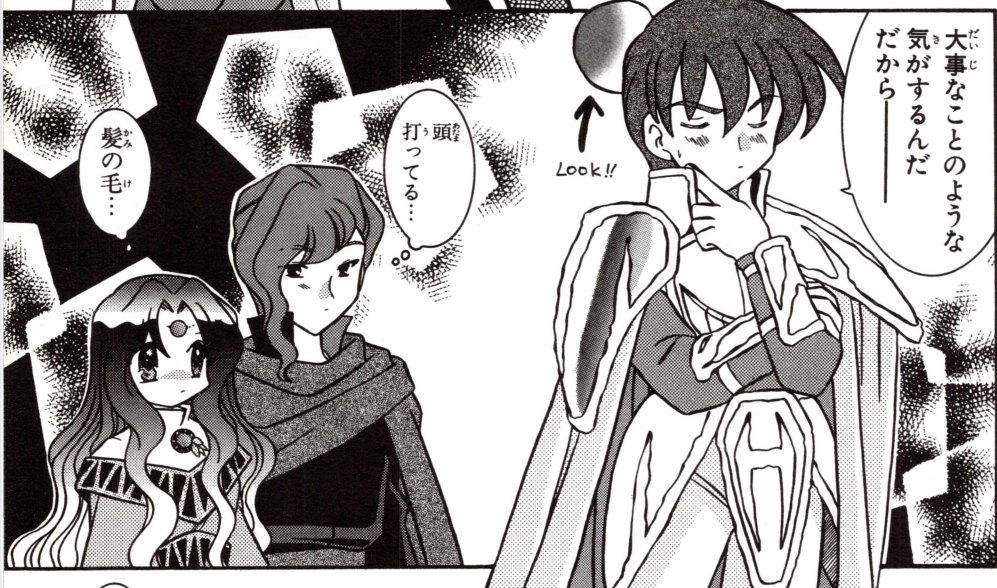
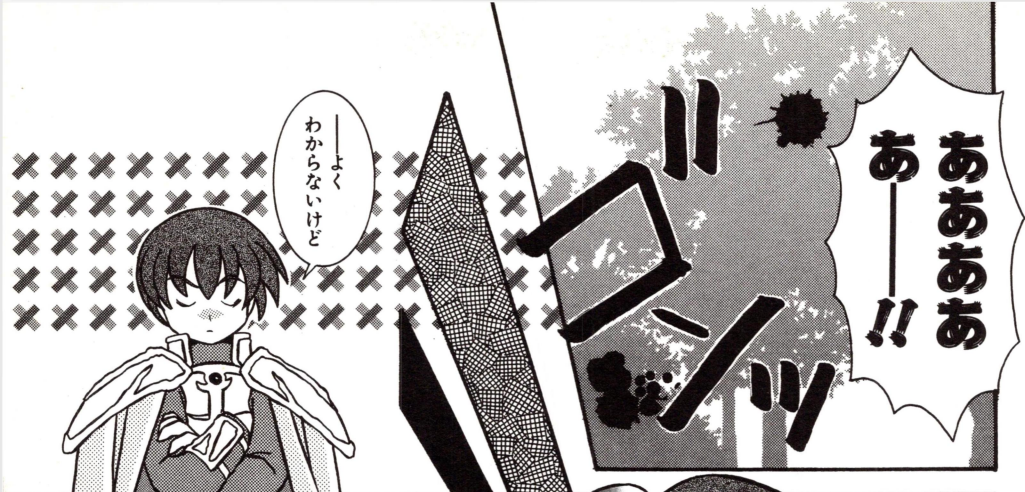
とりあえず  
呼び出して  
みたけど

セラムに  
とりかかろう

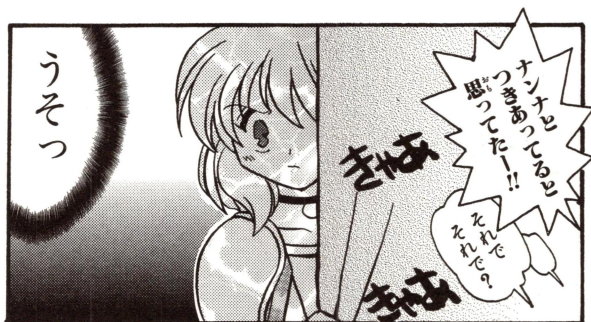




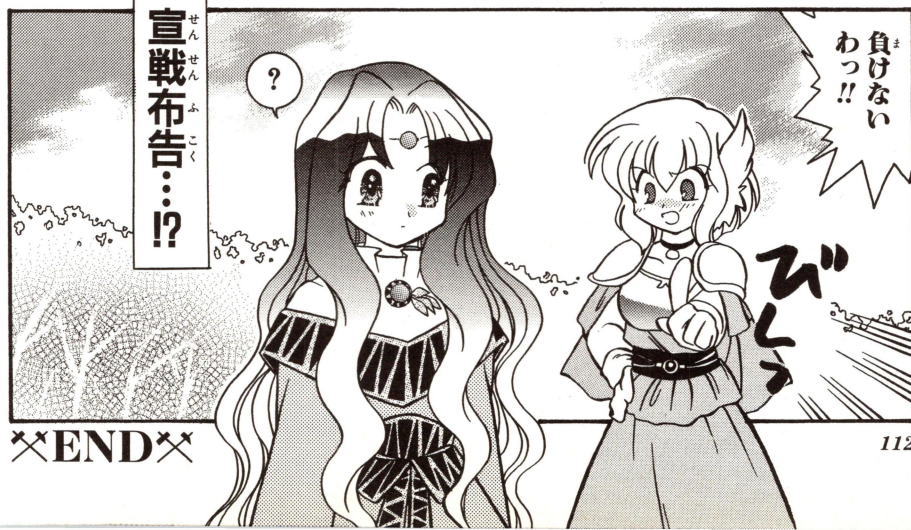
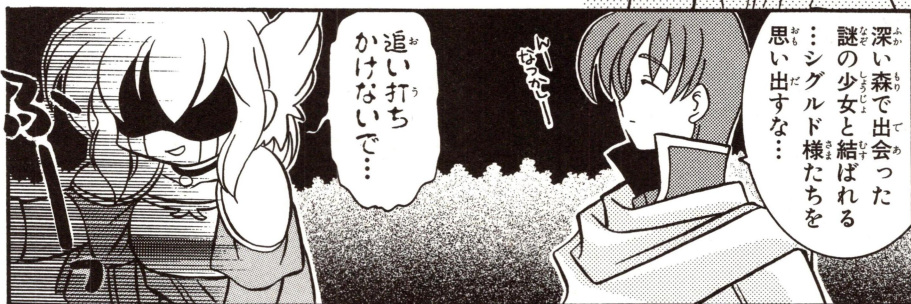
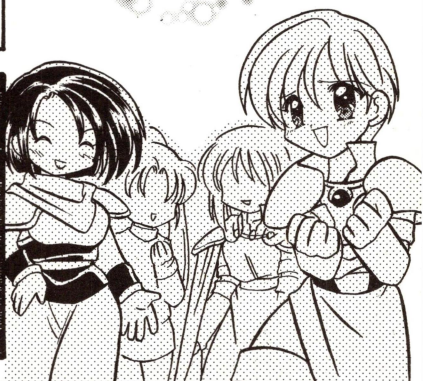
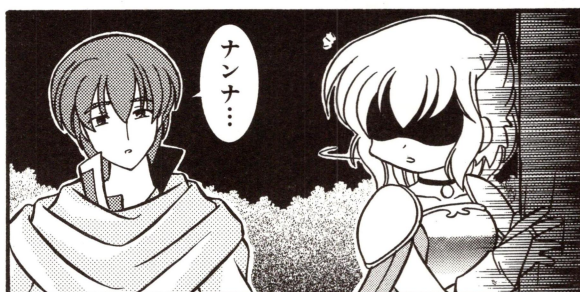








それって  
やつぱり  
プロポーズ!!  
きやーっ



×END×



# マイライバル

My Rival

子供たちが  
北西の森へ  
連れ去られて  
いったんです

どうか  
救出を  
……!!

やはり6人では  
少なかつたかも  
しれないな……

いや次に  
大きな戦いも  
控えているし

みんなの疲労を  
ためるのも  
よくないし

なにより  
大人数だと  
目立つ

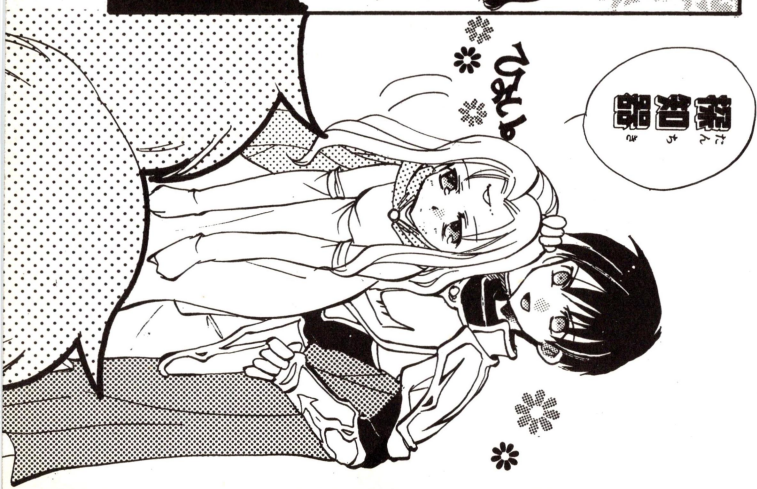
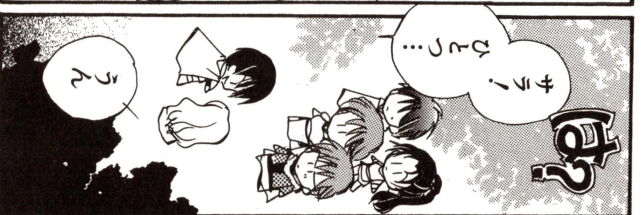
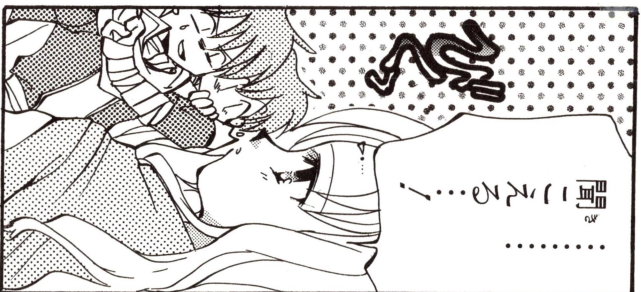
勇者セテイ……

——ですね

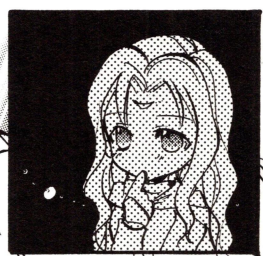
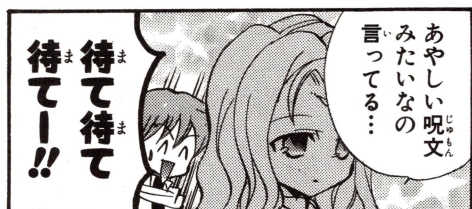
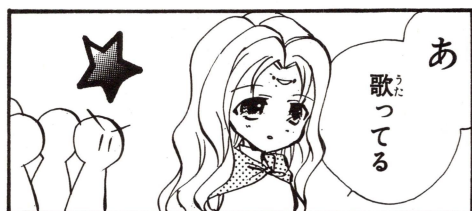
——で  
来たケド

須田さきり

















ツライ  
よね

はあ

私も長いこと  
マギ団で子供を  
助けてきたが

失敗しても  
表ザタには  
したことないぞ

さあ

マジ!?

さあ  
マジ!

汚点のない  
「風の勇者」の  
経歴!!

要領も  
いい!?

ここか

ねえ

リーフ様

数は...

開いたわ

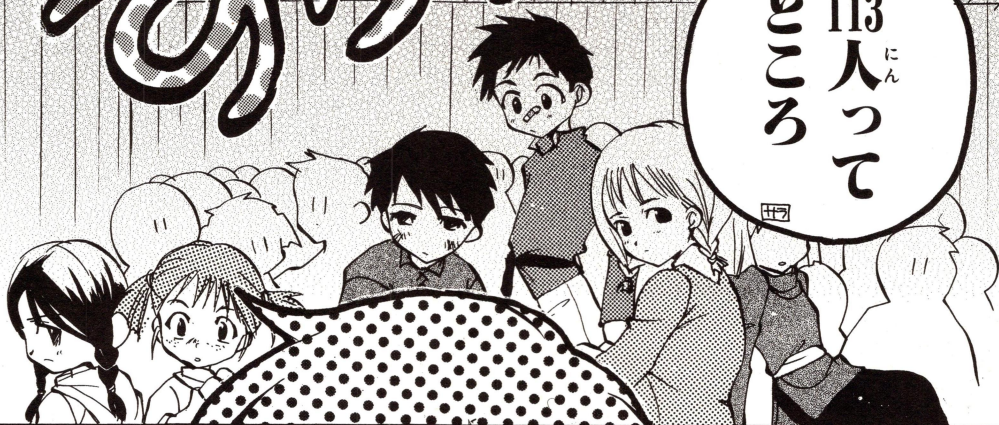
「ウィズ」  
って

軍の呼び名  
「リーフ軍 with」  
風の勇者セティ」  
にしてこれからは  
連帯責任に...



あーっ

113<sup>にん</sup>人って  
ところ



バタン...

約<sup>およ</sup>19よ  
 $113 \div 6$ は

なんだ  
あの<sup>かす</sup>数は  
!!!

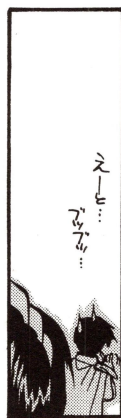
えーと  
一人あたり...

我々<sup>われわれ</sup>は  
6人<sup>にん</sup>だぞ!

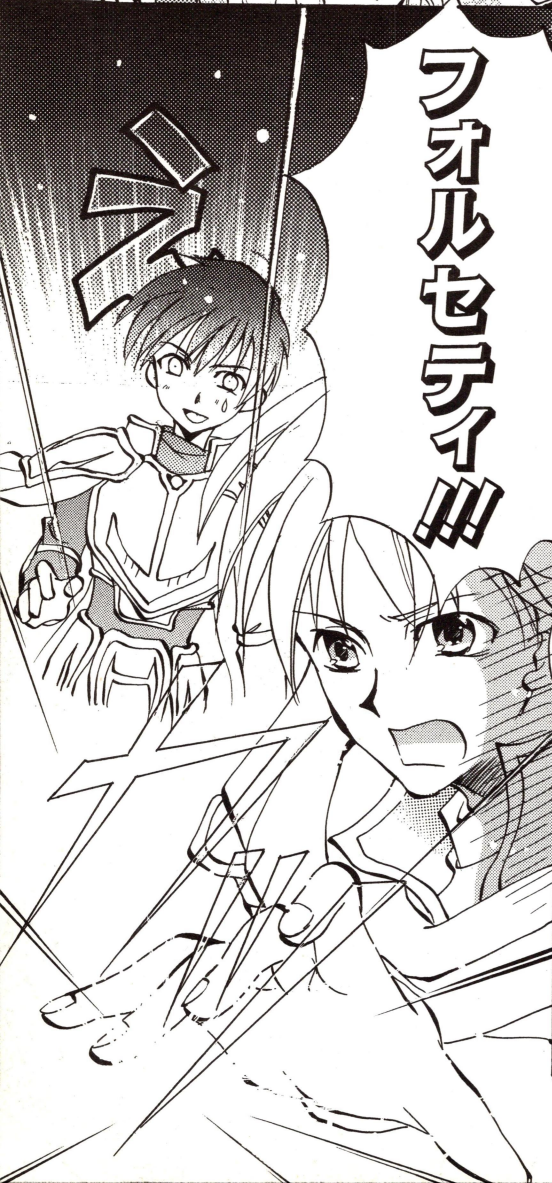
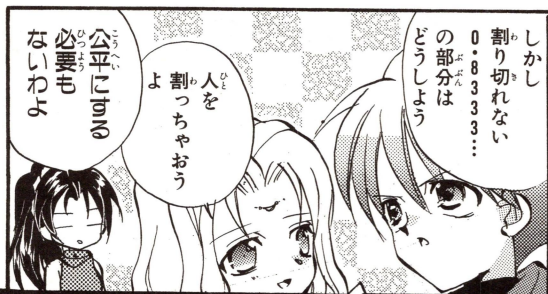
15人<sup>にん</sup>も  
かつけるか  
—っ!!!

えーと...  
あーっ...

おこし  
声。













「風の勇者」と  
呼ばれる  
ゆえん!!

これなの!?  
ねえ  
これなの!?

ダメだ!!

やはりセーイ様  
にはかなわない!!

私には何ひとつ  
勝てない...!!

よし!

第2弾  
いくぞ!!

答えて  
勇者様  
!!



神の武器は  
使えないし

光の王子  
なのに  
光れないし

要領悪くて  
アウグストに  
怒られて  
ばっかりだし!!

それに…

リーフ様の声  
好きだよ

子供10人  
助けることも  
できない!!

とっても  
キレイな声

なにか  
体系的に  
スレーヴ  
!!

ねえ  
私



元気が取り柄  
じゃなかったの  
？

私は  
風の勇者だ  
……

しかし君には君の  
君しかないものが  
ある

光の剣は  
リーフ様にしか  
使えません

見せてくれ

「光の王子」  
を

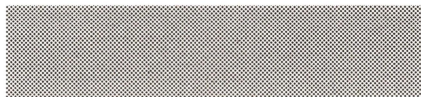
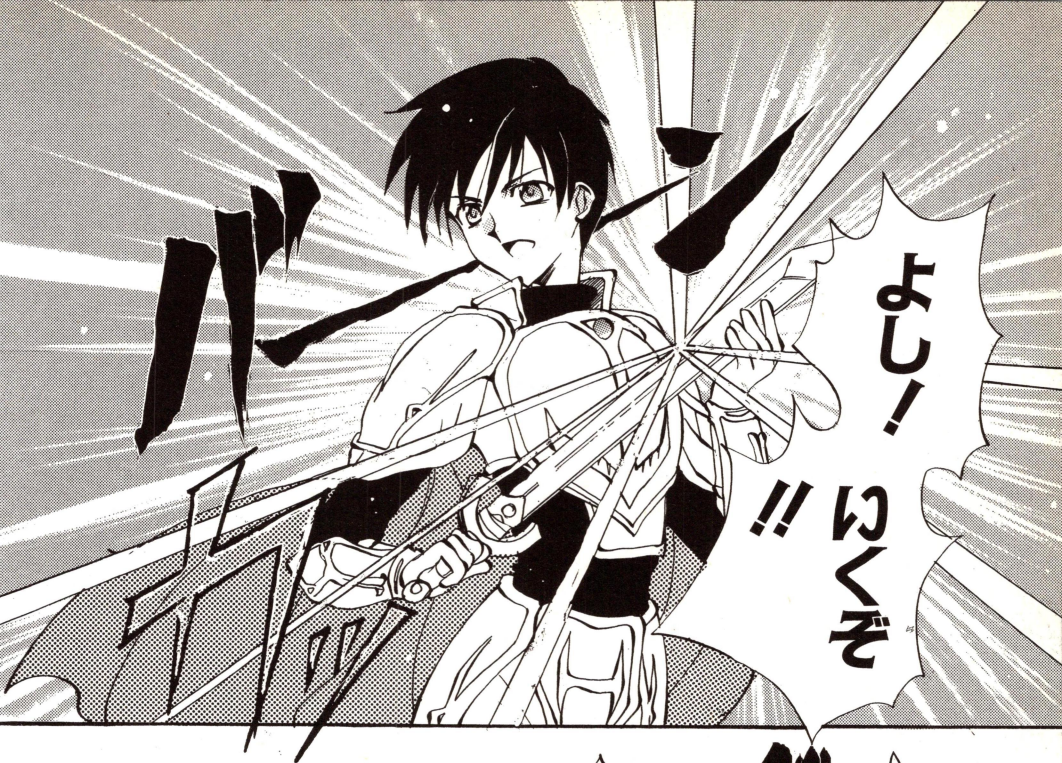
……あ

!! 光の剣

美声!!

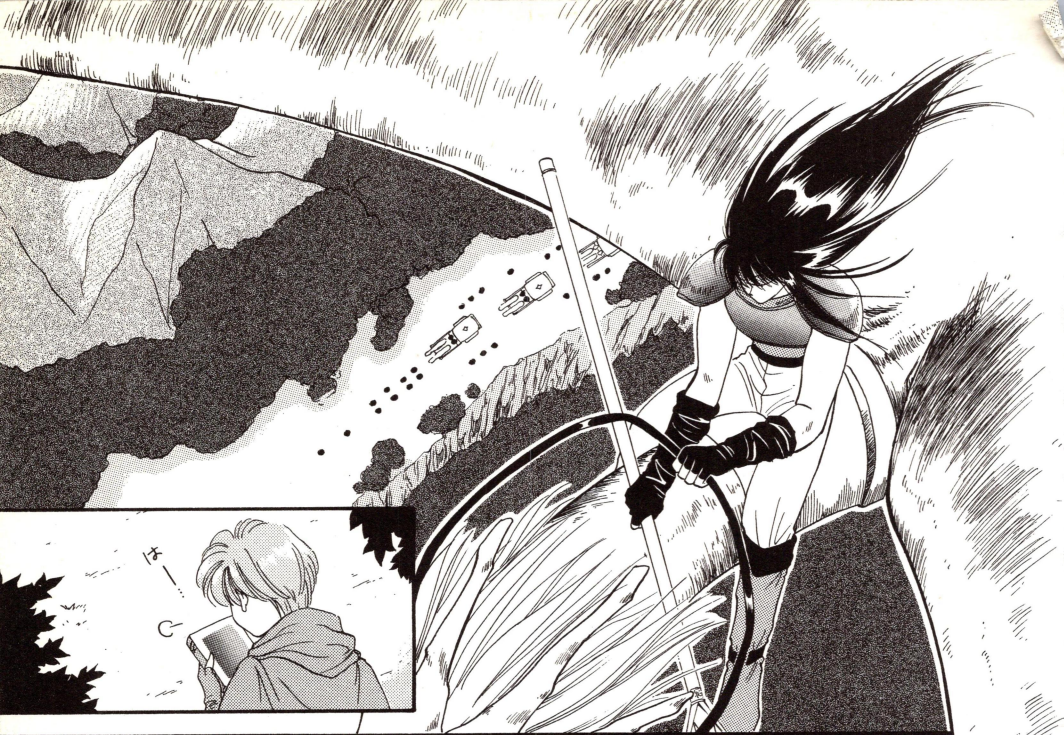
元気さ!!





(((おしまい)))





# 風が止まるとき

きょう じ ひろ な  
京侍 洋那

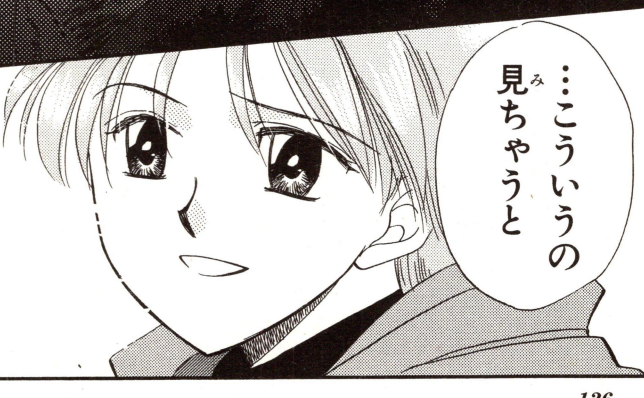






うわー!!

ちへいせん  
地平線が  
まるい!!



…こういうの  
見ちゃうと

にんげん  
人間って  
小さいですね



悩みでも  
あるのか？

悩みっていうか  
いつも  
思ってること  
なんです

僕ってリーフ様の  
お役に立ててるの  
かなって…

もつとほかに  
できることは  
ないのかと  
考えてしまう

結局：

セティ様のような  
風使いになれぬまま

ここまで  
来てしまった

聖戦士の血を  
引かない僕は  
ただの魔導師でしか  
ないのか!!

…お前、今  
やりたいことは  
あるか？

は？



急に  
言われても…

ああ…

そうだ僕は

考えるまでもない

リーフ様を  
お守りしたい

そして

また昔のように  
みんなと笑って  
過ごしたい

それが

お前の  
できることだ



え…

できることを  
探<sup>さが</sup>すんじや  
ない

やる気<sup>き</sup>さえ  
あれば

まず  
やり<sup>さ</sup>たいことを  
探<sup>さが</sup>すんだ

なんだって  
できる！

ディーン  
さん

僕<sup>ぼく</sup>の話<sup>はなし</sup>を  
聞いてくれるために  
わざわざ竜<sup>りゅう</sup>に  
乗<sup>の</sup>せてくれたんだ

——まあ 人間<sup>じんげん</sup>  
力量<sup>りきりょう</sup>って  
ものがある

高望<sup>たかのぞ</sup>みは  
しないほうが  
いいと思<sup>おも</sup>うがな







ボウナイト!?



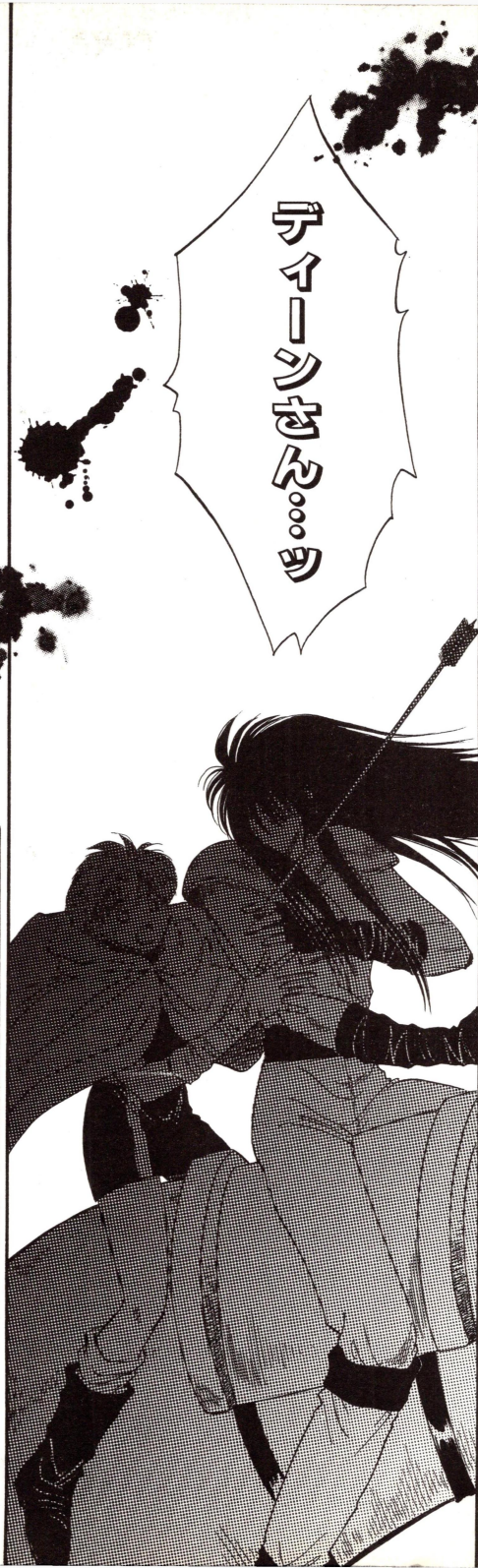
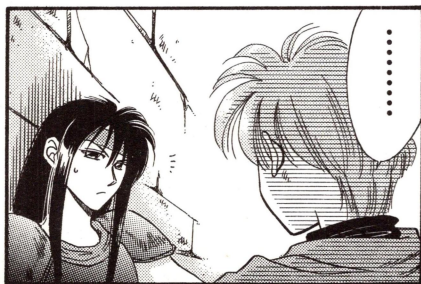
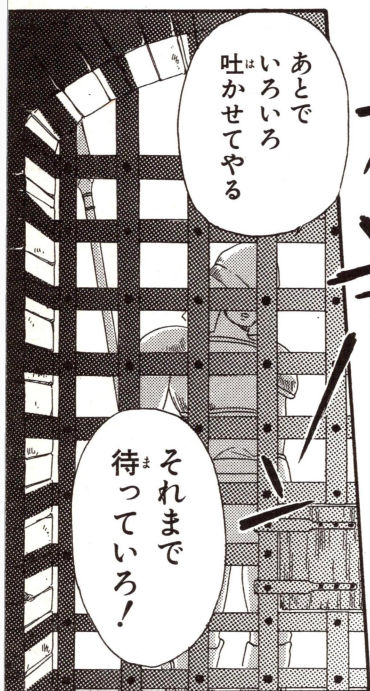
マンスター  
城だ

アスベル  
ポイズンアーチの  
数を数えてくれ

はっはい!









ディーンさんが  
外させたんで  
しょう

本当なら  
あの矢は

僕の心臓を  
貫いてた

武器はもちろん  
持ち物すべて  
取り上げられて

傷を治して  
あげること  
も  
できない

僕は今何を  
すればいいんだ？

こんな状況じゃ  
何もできない

ディーンさん…

やる気があっても  
やりたいことが  
見つからないときは

やっぱり僕は  
無力だ!!

どうすれば  
いいんですか!?

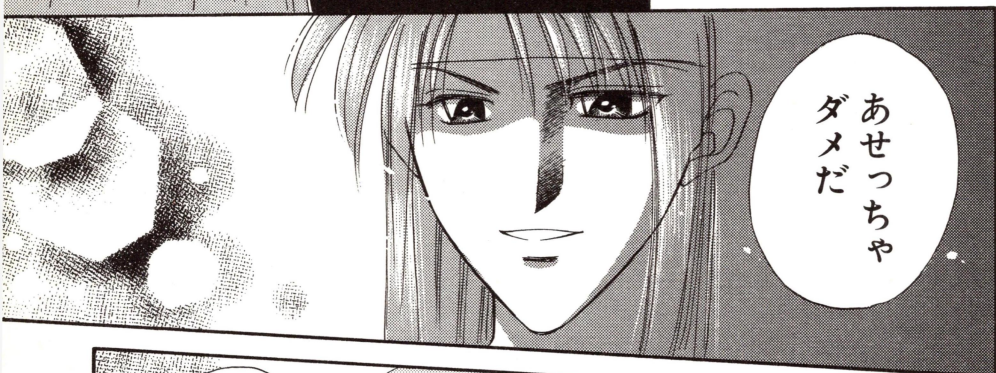




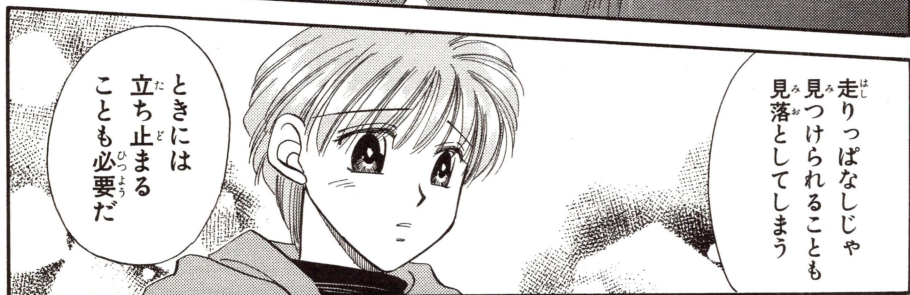
やりたいことが  
見つからない  
理由は2つ

本気でやる気を  
出さない自分を  
認めたくない者の  
言いわけと

もう1つは



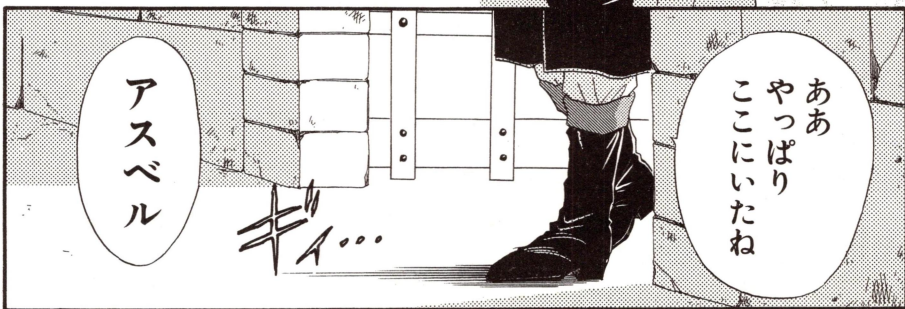
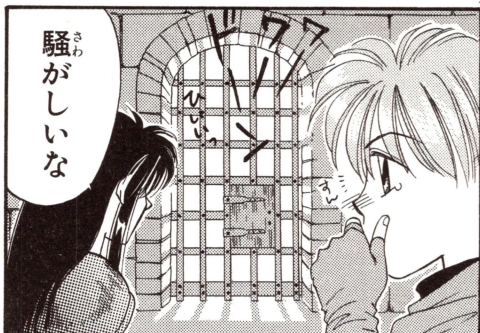
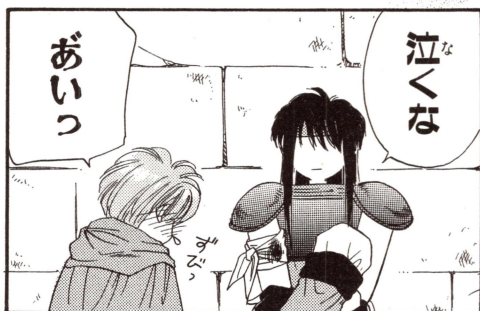
あせつちや  
ダメだ



走りつばなしじゃ  
見つけられることも  
見落としてしまう

ときには  
立ち止まる  
ことも必要だ





あせらず  
ゆっくり  
進<sup>すす</sup>めばいい







セティ様!?

なんで  
ここに!?

それはこっちが  
聞きたい

私はリーフ王子が  
攻め上がってくるのを  
確認したから攻撃を  
仕掛けてるんだ

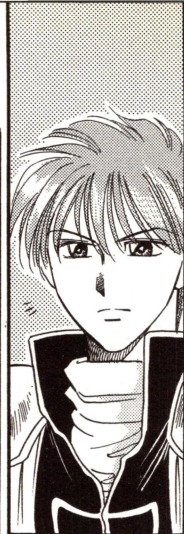
そしたら  
城の中でこれを見つけてね

あっ  
クラフカリバー!

この槍は  
あなたのもの  
ですか?

あ:はい!  
すみません





城は私一人で  
十分だから  
彼と脱出して  
軍と合流するんだ

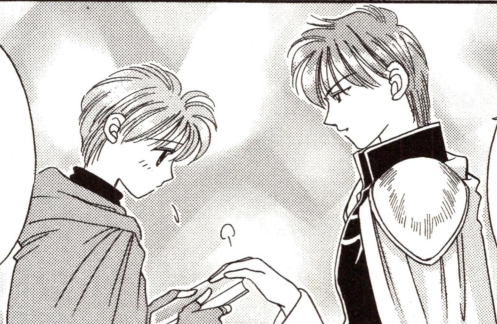
でっでも…



どうした  
アスベル

ほとんど使っ  
てないじゃないか

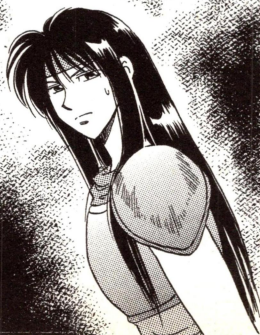
もつと  
自信を持て！



君はもう立派な  
風使いだよ

シレジアの  
セティ王子…

アリオン様も  
そうだが





やはり  
聖戦士の末裔は  
気魄が違う

ディーンさん  
さっき教えて  
くれましたよね

やりたいことが  
見つからない理由は  
2つあるって

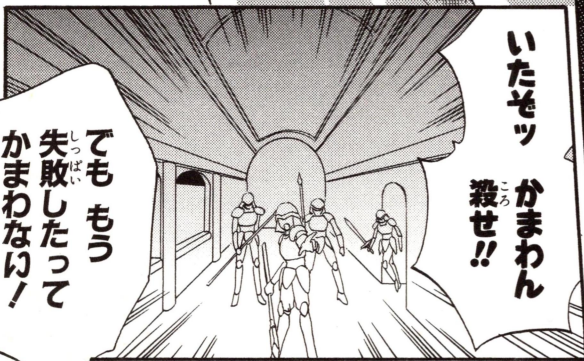
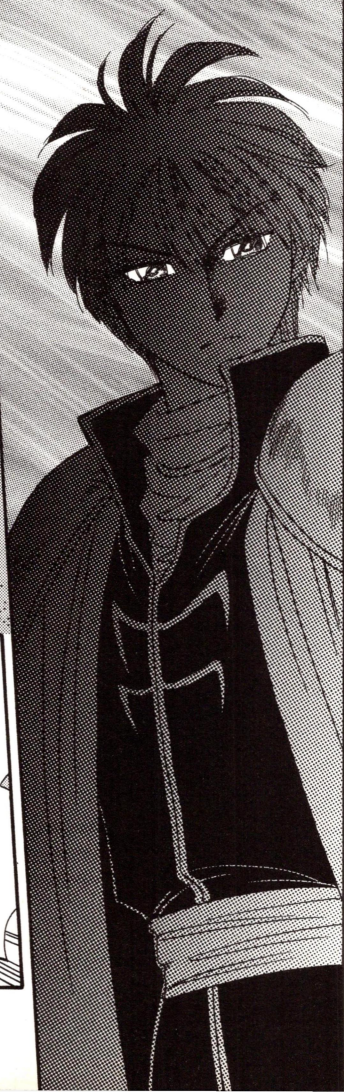
僕は  
前者です

これを使いこなす  
自信がなくて  
逃げてました

本気でやる気  
出してないのに  
それを認めたく  
なかったんです

いたぞツ かまわん  
殺せ!!

でも もう  
失敗したって  
かまわなひ!



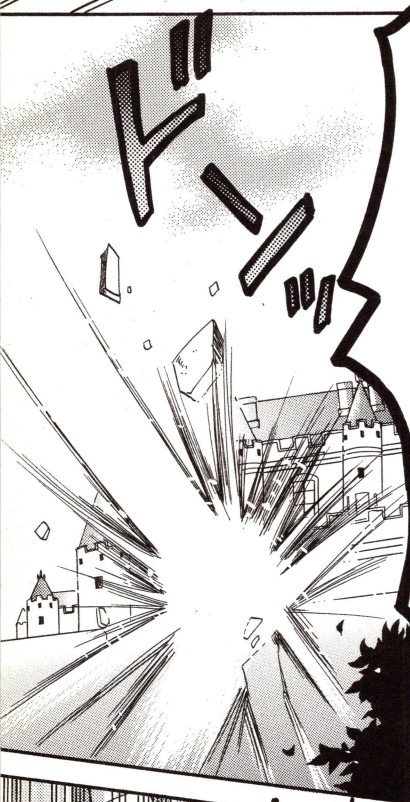


これが僕の  
やりたいことだッ

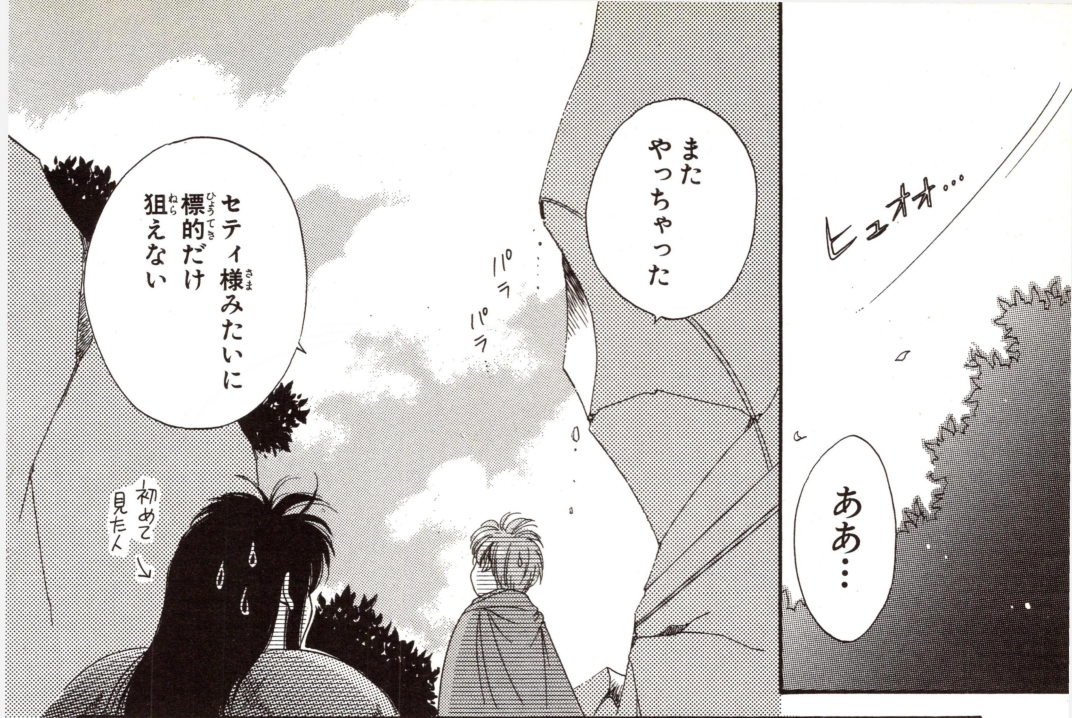




グラフカリバー!!!







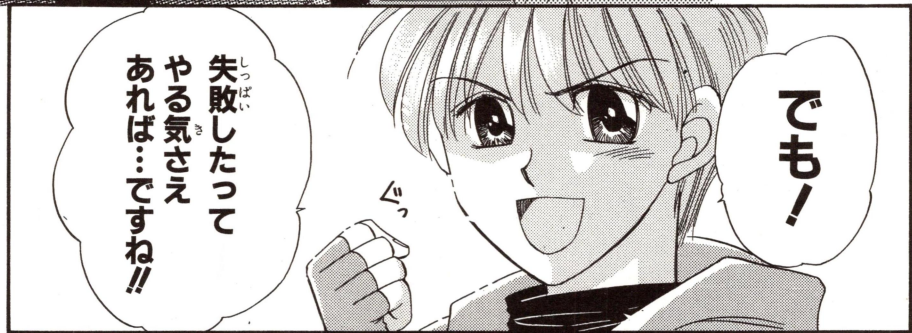
セティ様<sup>さま</sup>みたいに  
標的<sup>ひょうてき</sup>だけ  
狙<sup>ねら</sup>えない

また  
やっちゃった

ヒュオオ...

ああ...

初めて  
見たん



でも!

失敗<sup>しっぱい</sup>したって  
やる気<sup>き</sup>さえ  
あれば...ですね!!



その意気<sup>いき</sup>だ!

お前は  
我が軍<sup>わがぐん</sup>が誇る  
最強<sup>さいきやう</sup>の風<sup>かぜ</sup>だよ

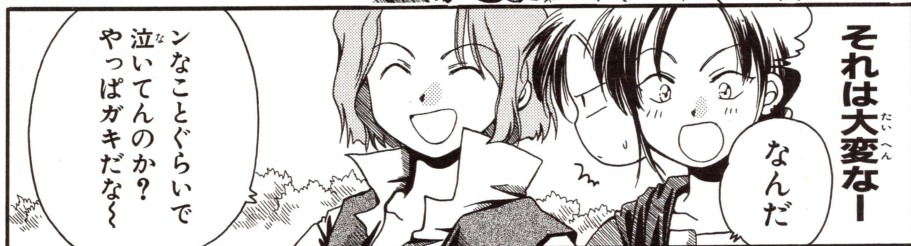
そーいっの  
宝<sup>たから</sup>の持<sup>も</sup>ち腐<sup>くさ</sup>れ  
ていっんだ!

がしがし

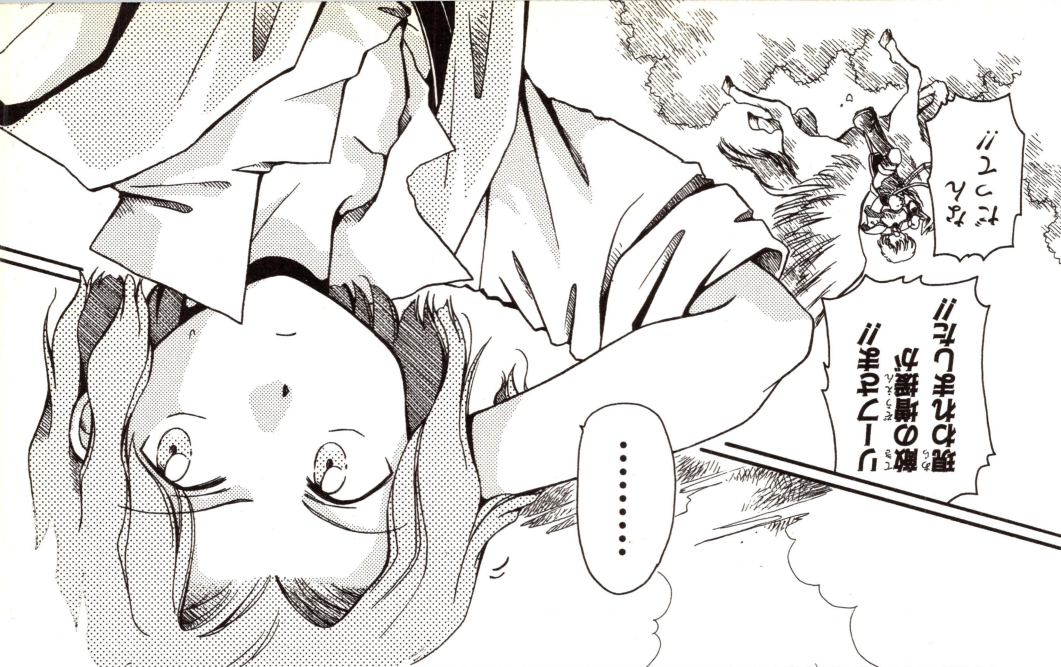


# TRIANGLE

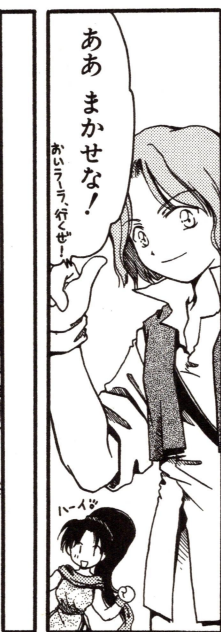
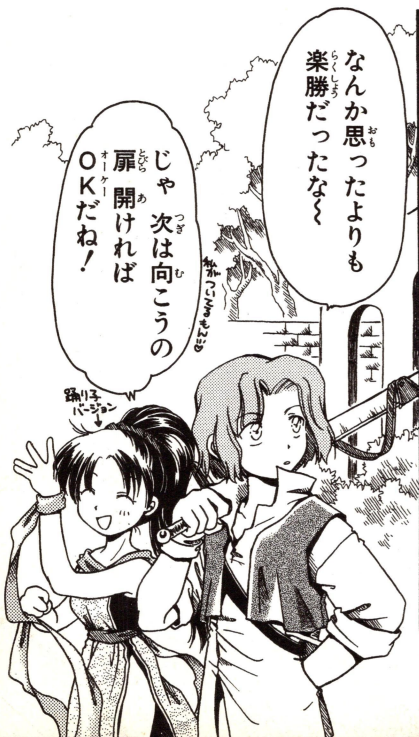
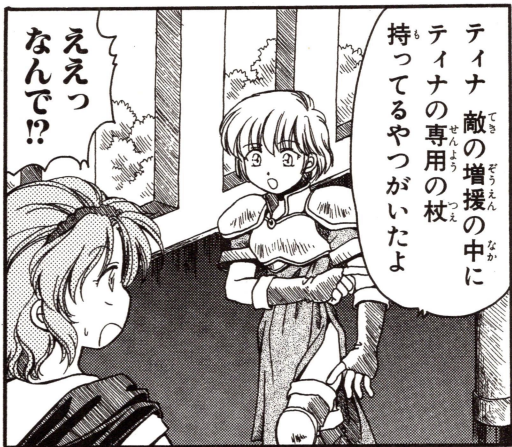
## トライアングル



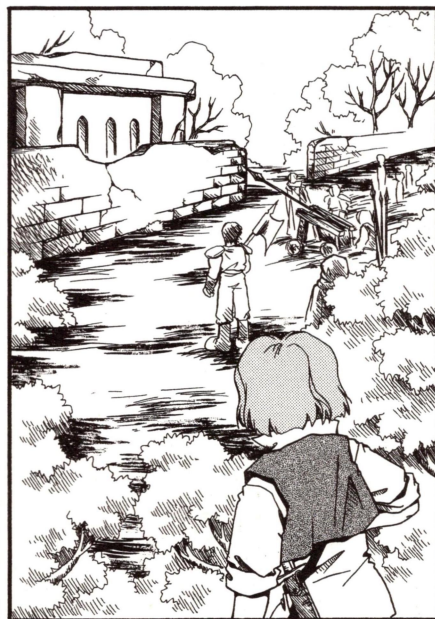
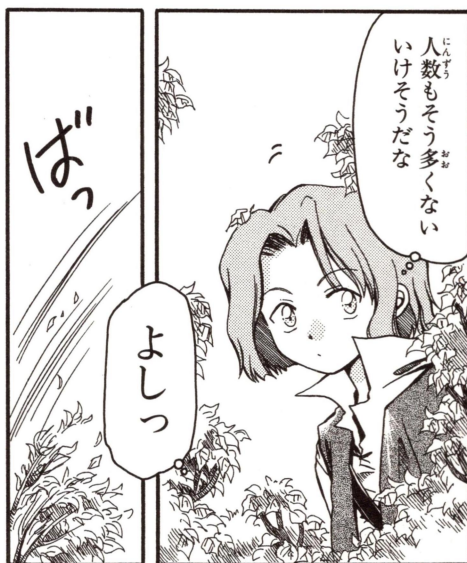
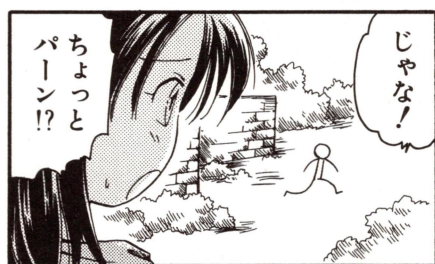
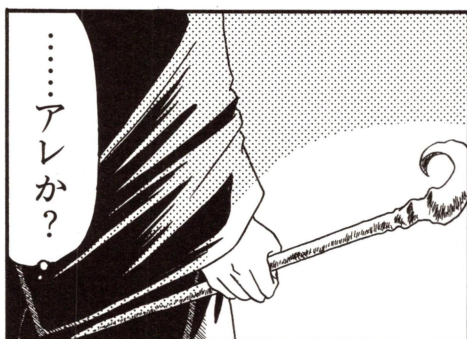
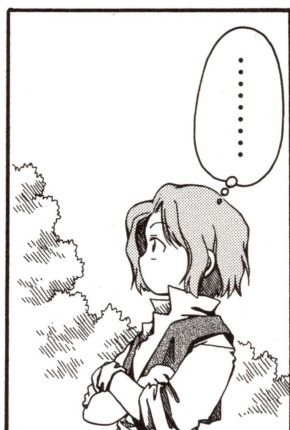
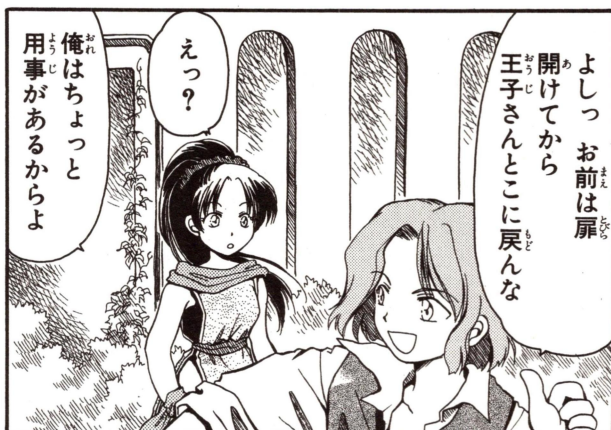






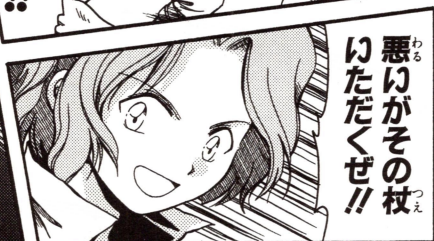
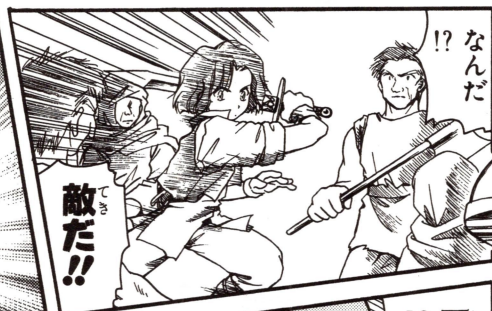




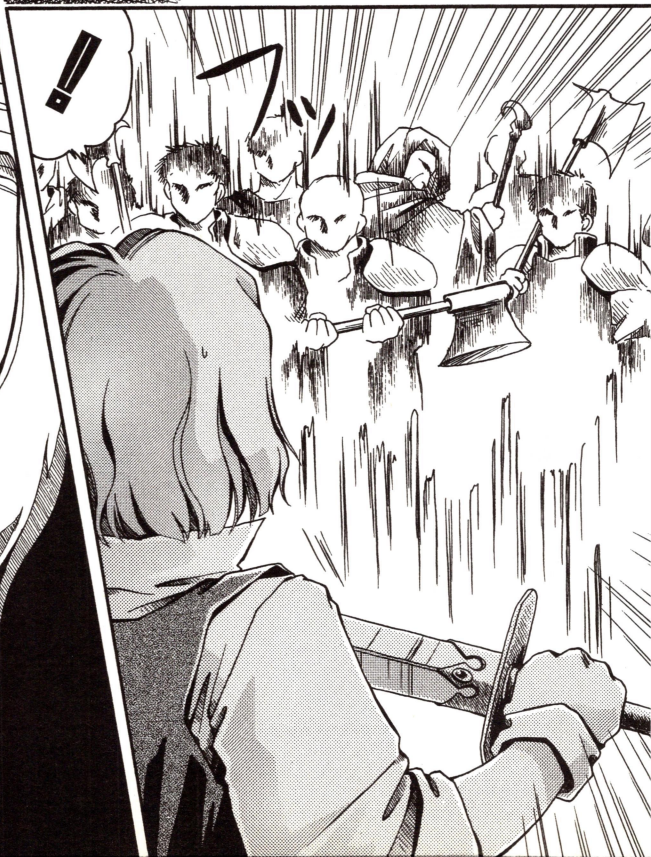




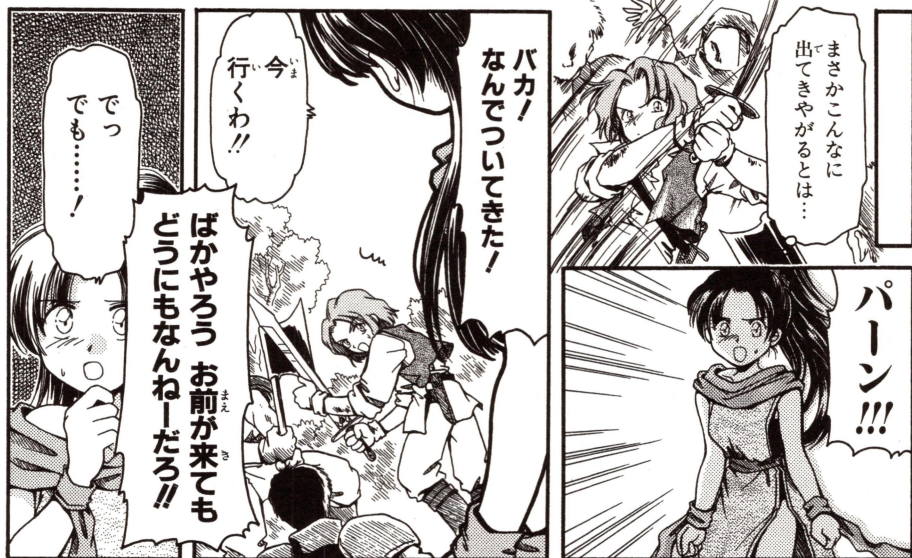
ぞうえん  
増援!!  
しまった……!!



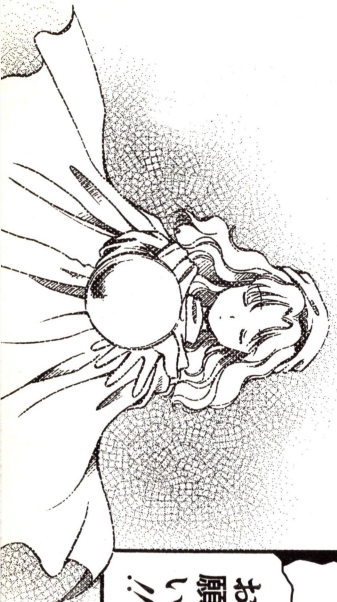
ザワ……



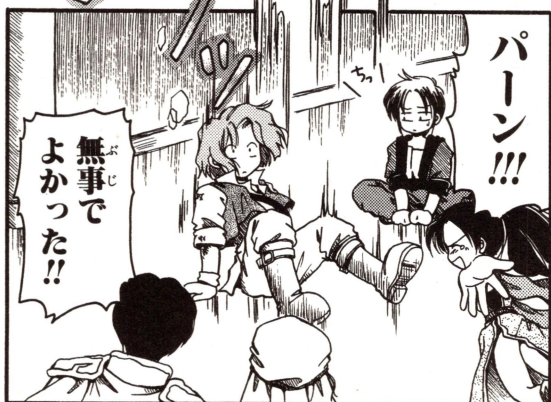
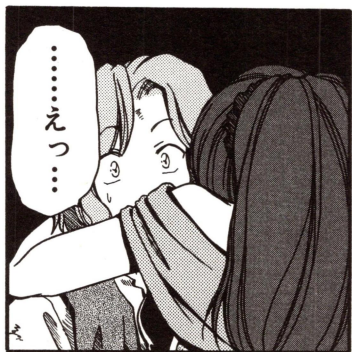
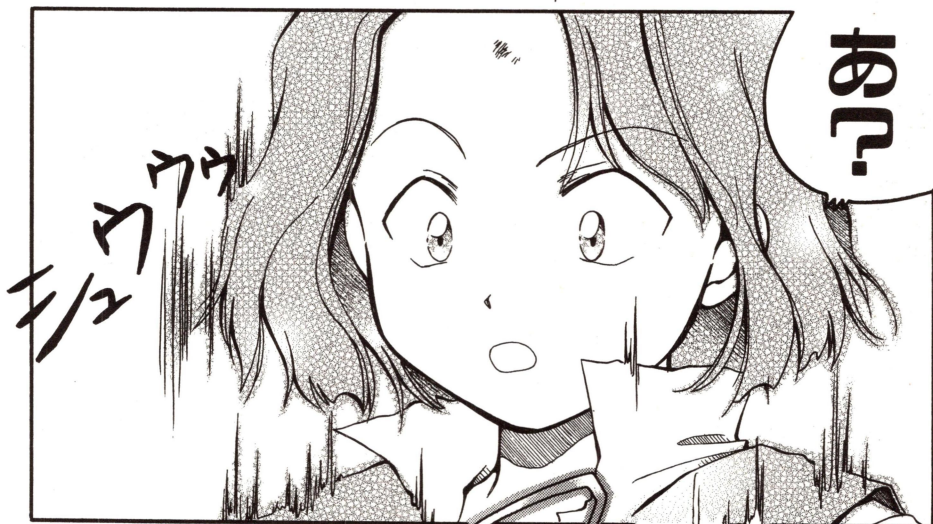
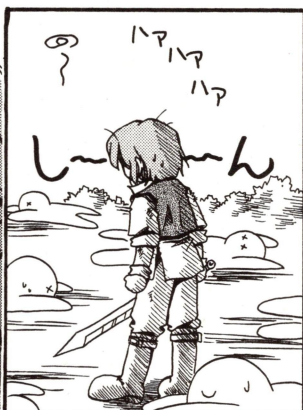
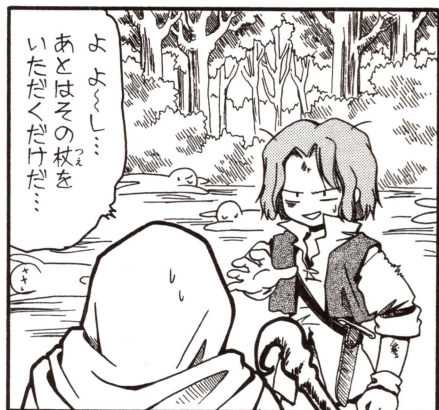




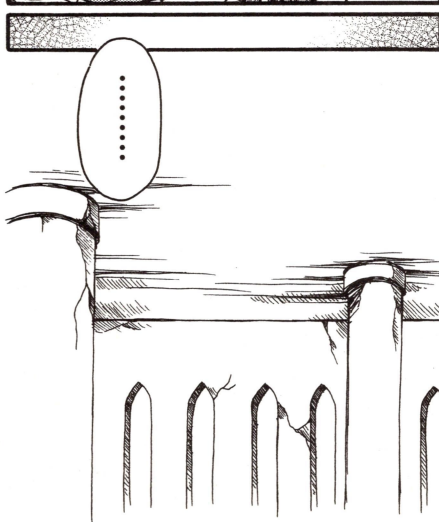
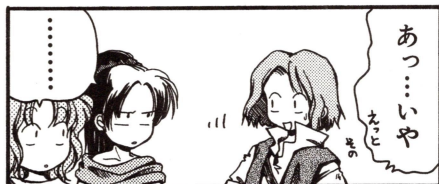
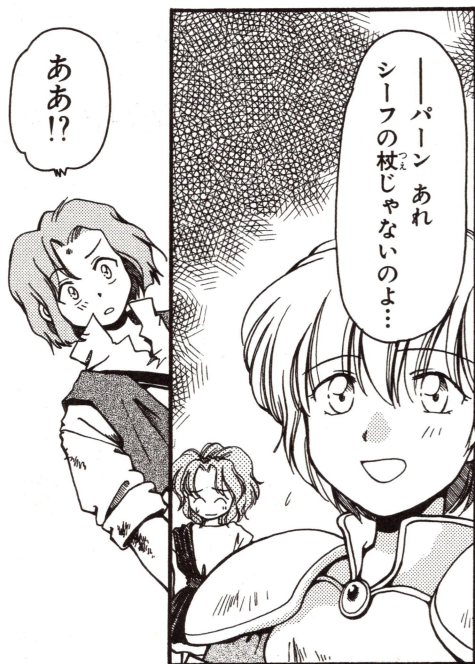
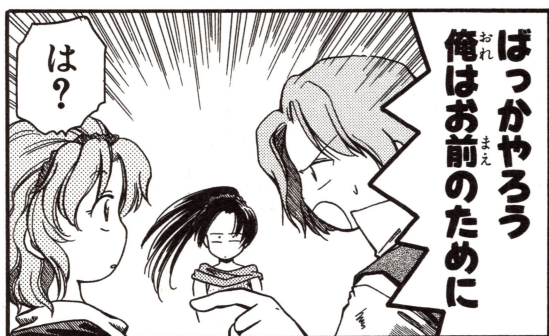
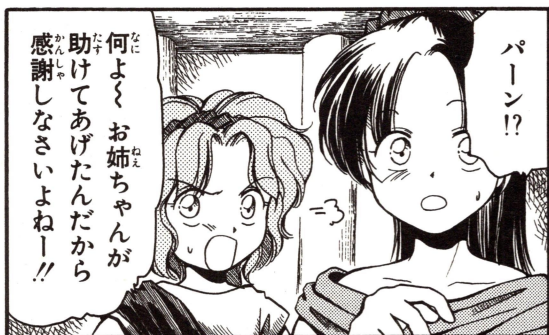




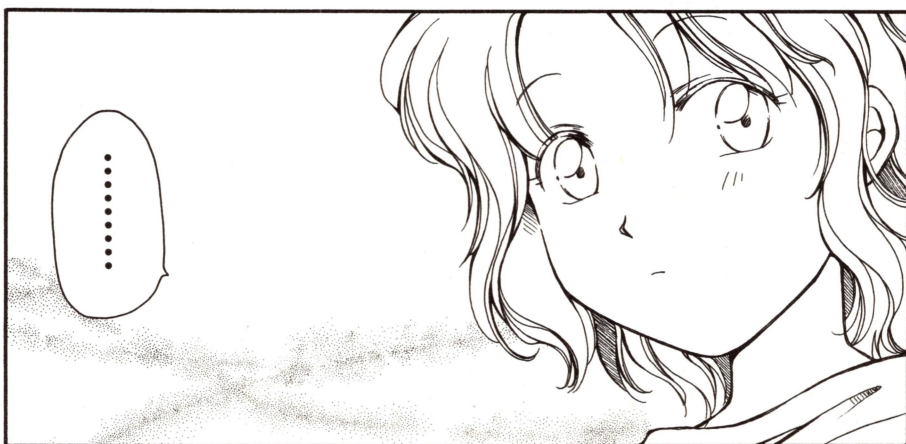
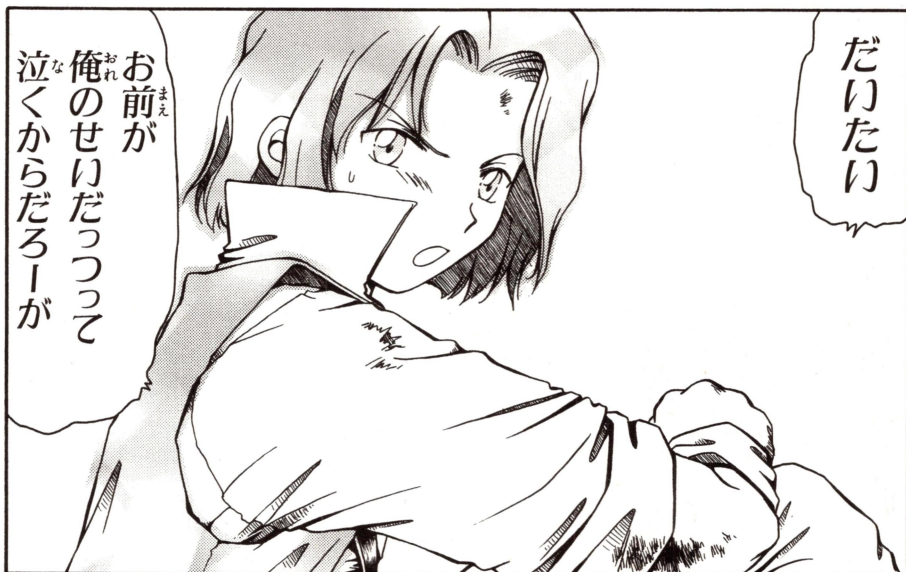
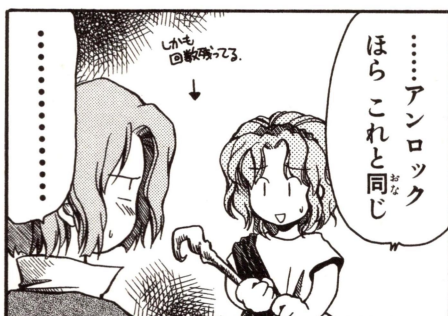
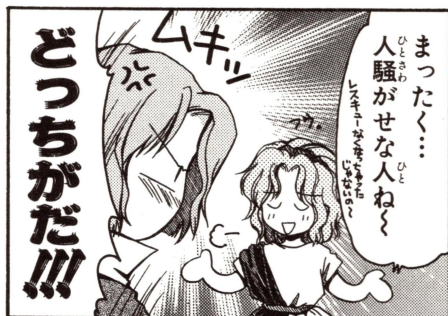




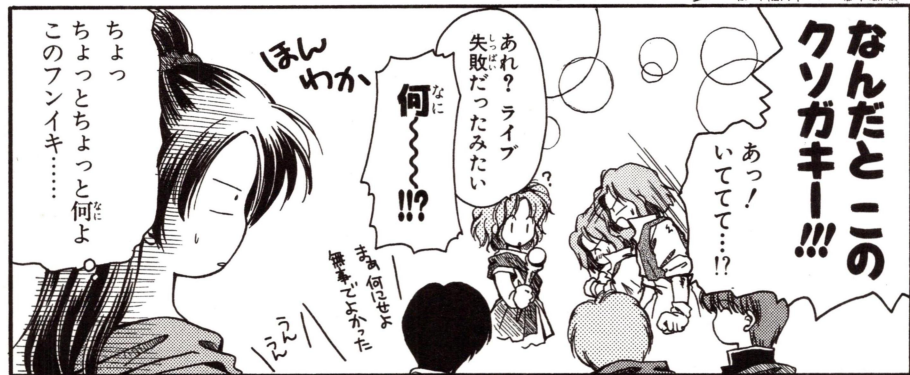
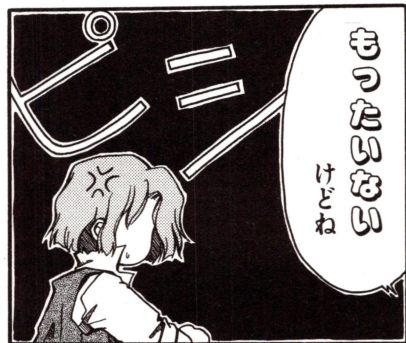




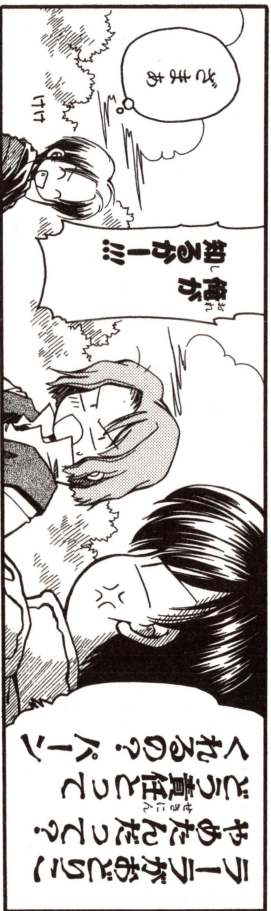
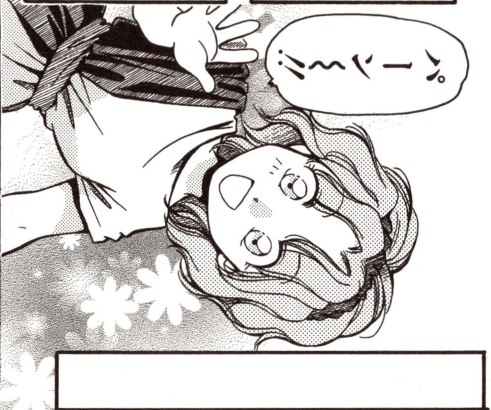








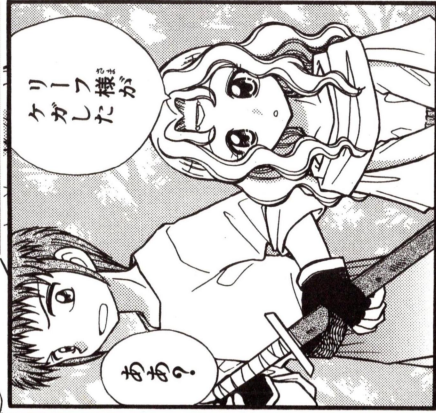




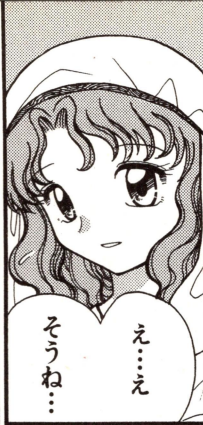




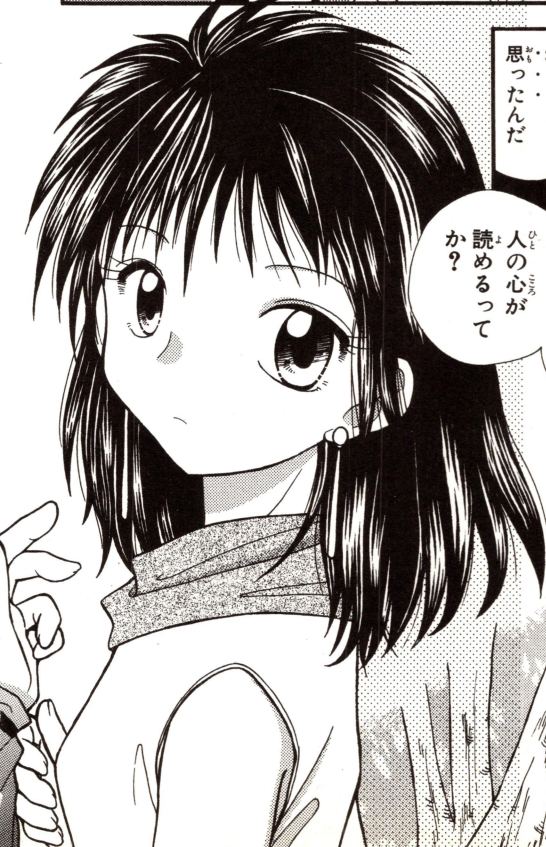
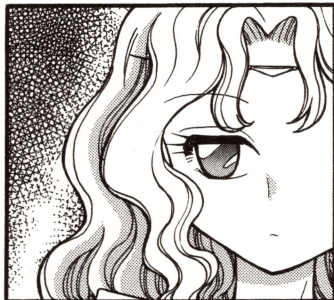
# 明け待ちの鳥





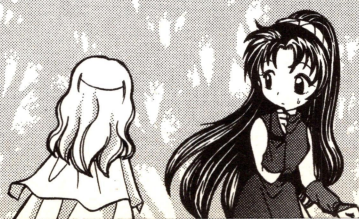


リウアの叔父(じんに持、ひたんびしう)

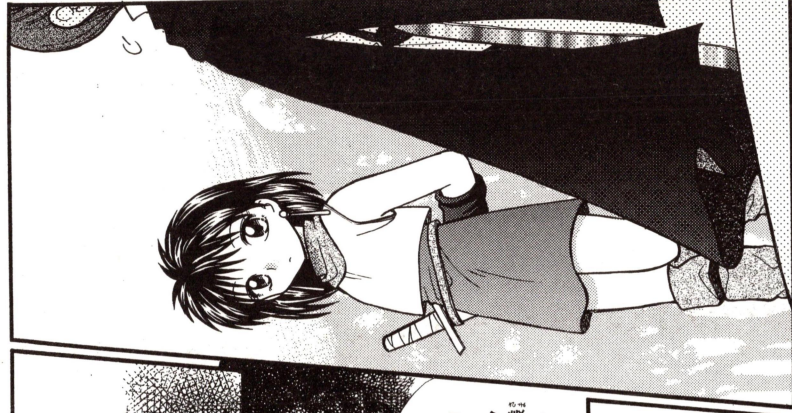


# あま 明け待ちの 鳥

ちくさひろこ  
千種裕子







不思議な子ね

でもこんな  
森の中に一人で  
いるような子  
怪しいと  
思うけど

リーフ様と  
あなたが  
見つけて  
きたのよね

気にしないで  
ただの迷子だ

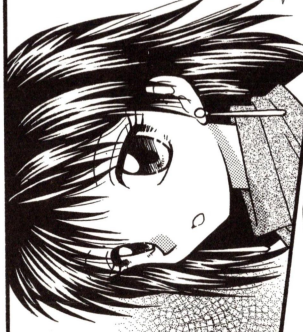
あなたの迷子に  
魔導書を  
持たせるの？

思えば  
きこえ

——リーフ王子の  
手助けをする  
言おうの

だからって  
あんな小さい  
何ができるの？

何か  
できるの？



何か隠して  
そうだわ  
セイラム

彼女が  
敵でないことは  
私が保証する

あの方にしか  
できないことが  
あるんだ

……  
詳しいことは  
話せないが





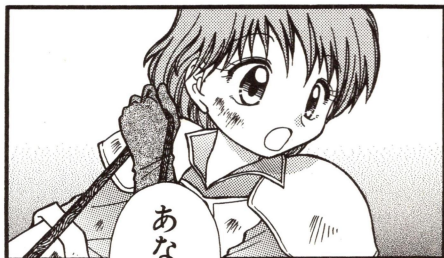
あめだ、ゆえ  
パーンじや  
ないけど  
うさんくさい…

あまり警戒  
しないで  
あげてほしい  
寂しい方なんだ

そうね  
友達とか  
できそうにない  
タイプ

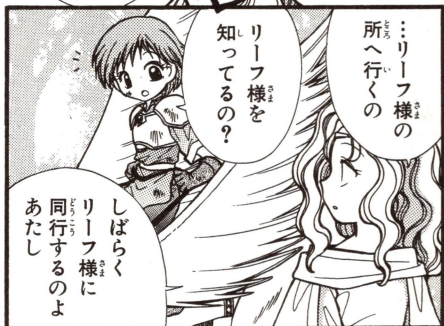


まあ  
リーフ様が  
信じて連れてきた  
以上は信用  
するけど



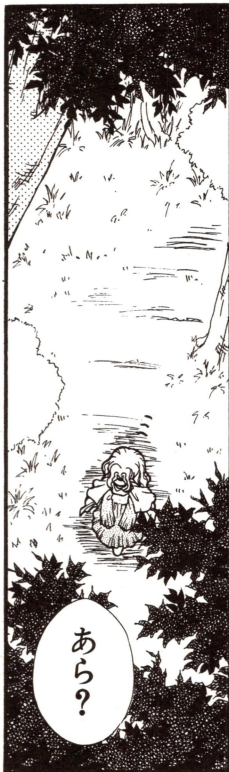
あなた

こんな所で  
何してるの!?

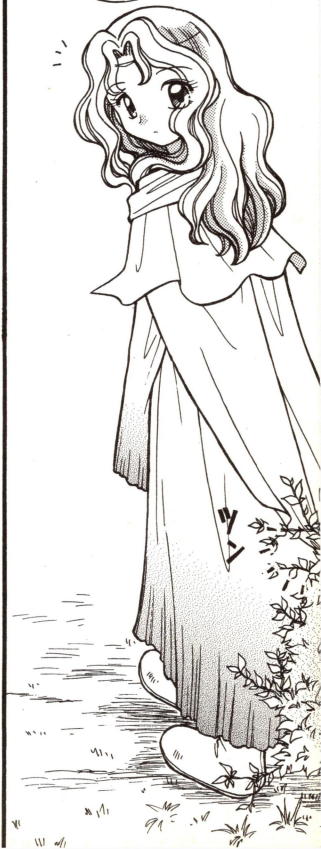


…リーフ様の  
所へ行くの  
知ってるの?

しばらく  
リーフ様に  
同行するのよ  
あたし



あら?





あら  
それじゃ  
同じ軍の  
仲間なのね

私  
カリンよ  
よろしくね

でもこんな所  
一人で  
歩いていたら  
危ないわよ  
ロプト兵が  
ウヨウヨいるの

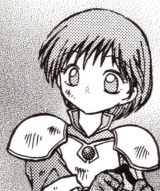
乗せてあげる  
から一緒に  
リーフ様の  
所へ行きますよ

一人で平気

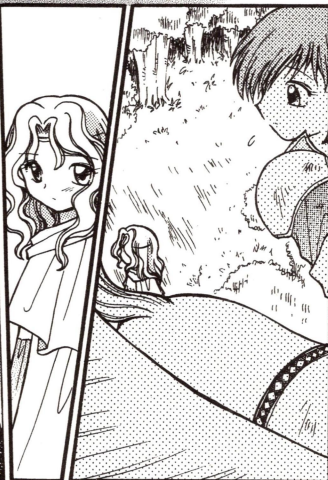
でも…

毒を  
受けたんでしょ  
カリン  
早く回復して  
もらったら？

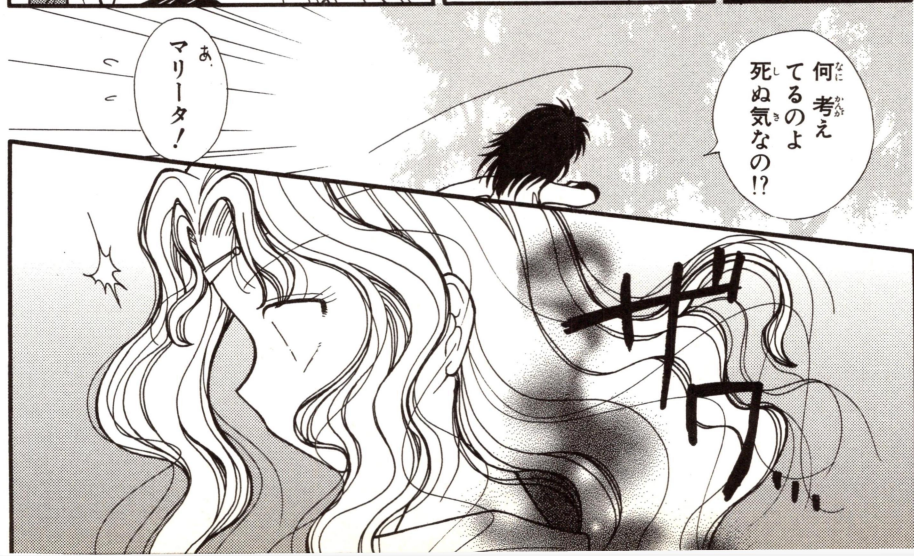
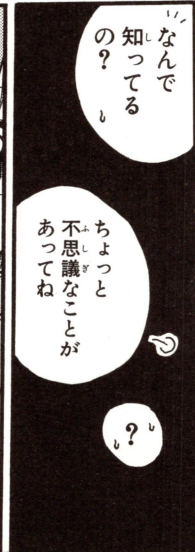
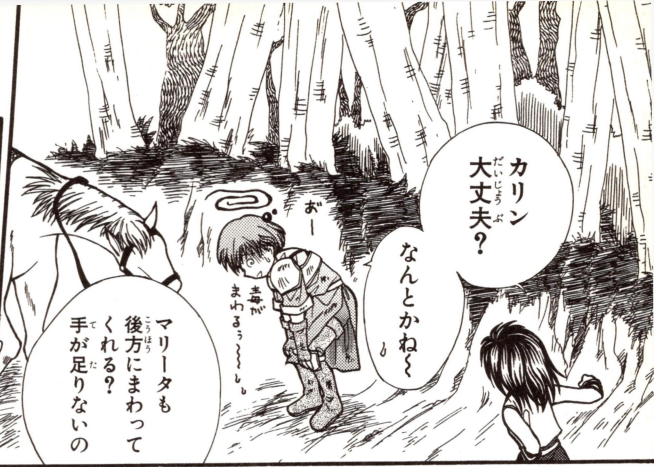
それに  
エルメスも  
疲れてる  
みたい



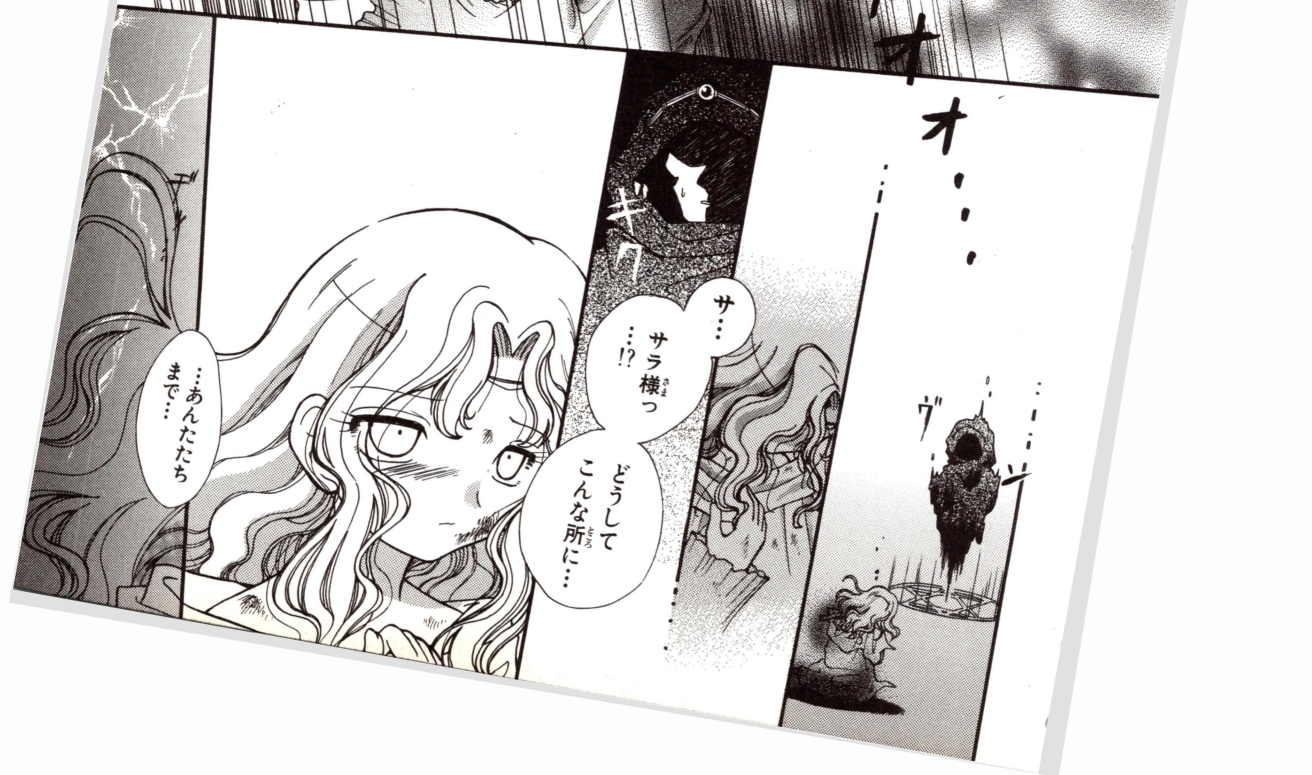
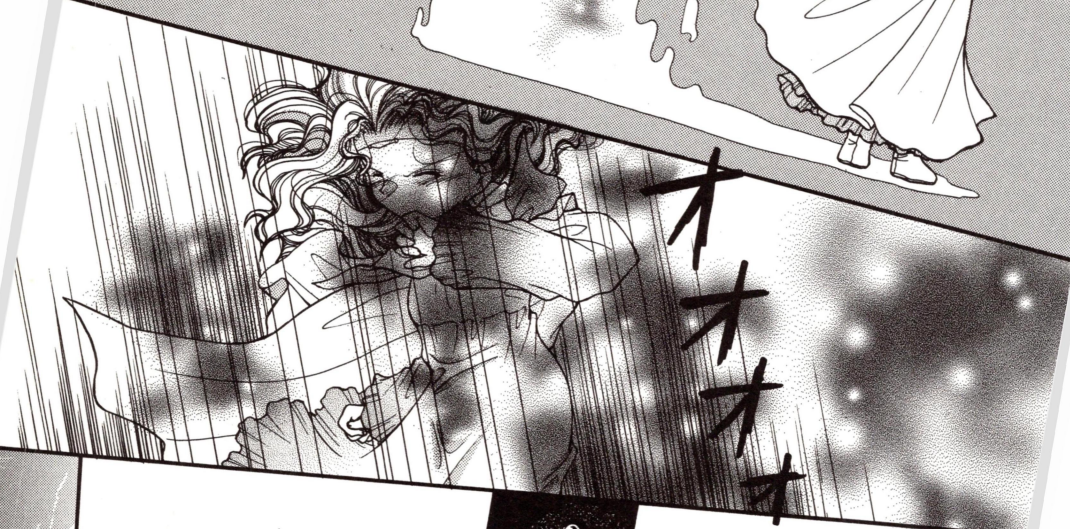
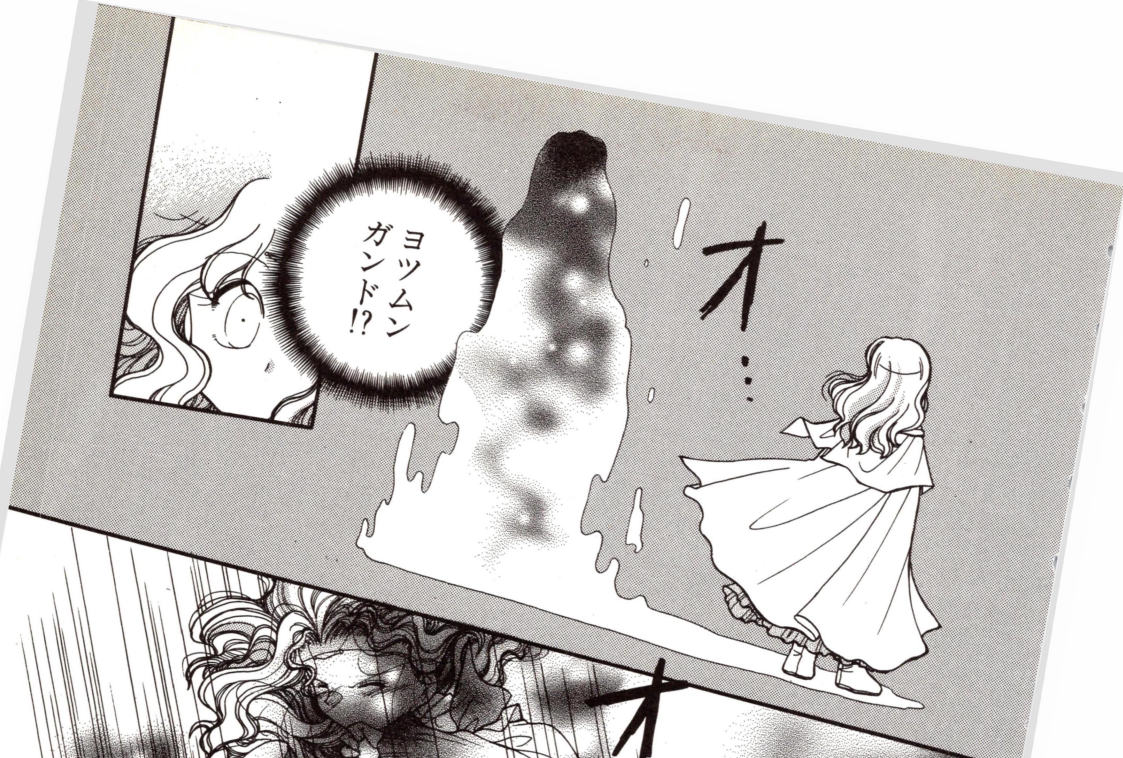
サファイ  
いるー？



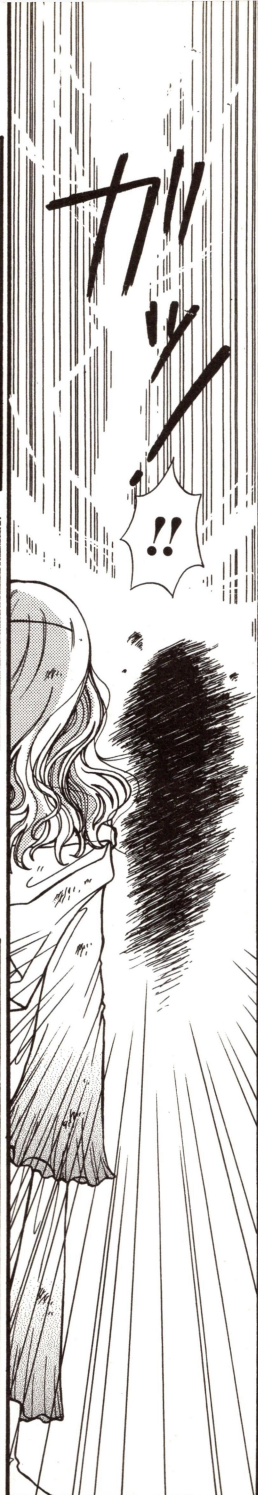
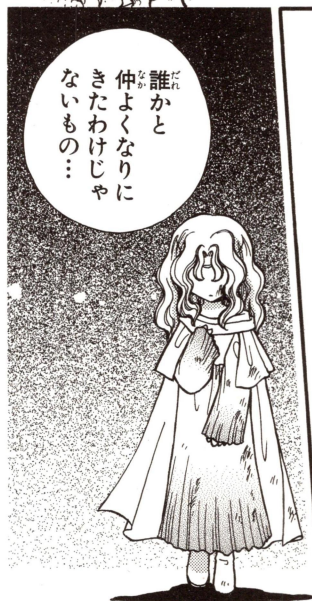
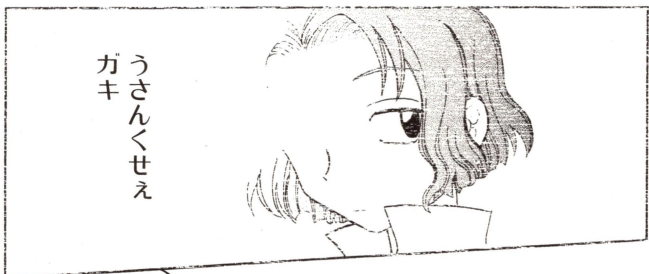
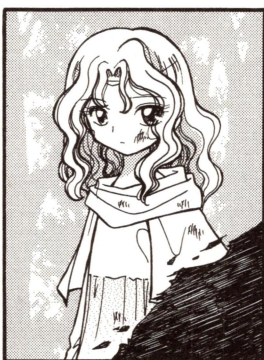






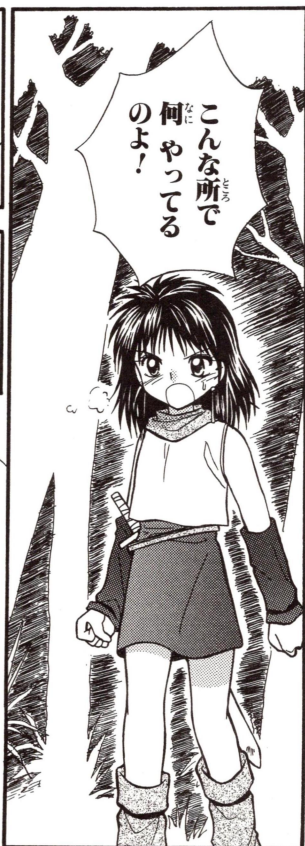
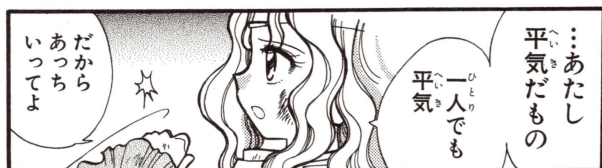
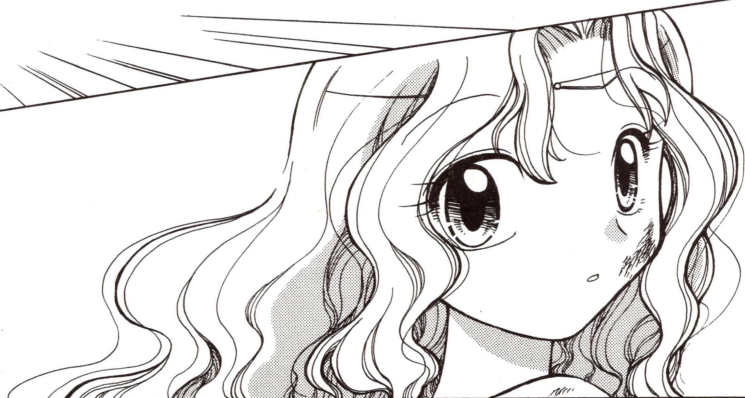








サラ!







でも  
信じてる人を  
裏切るのは  
許せない

一人であらうついて  
誰かに  
殺されるのも  
あなたの勝手

いい？  
私はあんたが  
どこの誰だろうが  
どんな能力があろうが  
そんなこと  
どうでもいいの



ごめんなさい

ごめんなさい 母様



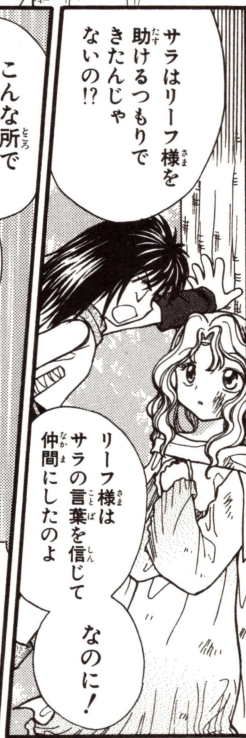
信じてくれた人の  
気持ち  
裏切ることは  
許さない!!



こんな所で  
死んだり  
したら

リーフ様は  
どうするの!?

得体的に知れない  
あなたのことを信じて  
くれた人なのに!



サラはリーフ様を  
助けるつもりで  
きたんじゃないの!?

リーフ様は  
サラの言葉を信じて  
仲間にしたのよ

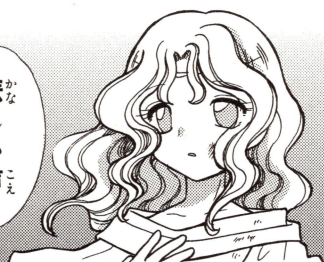
なのに!



キレイで

かな  
悲しい声

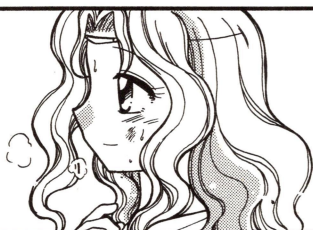
かな  
悲しいことが  
あったのね...



...なんで  
わかるの



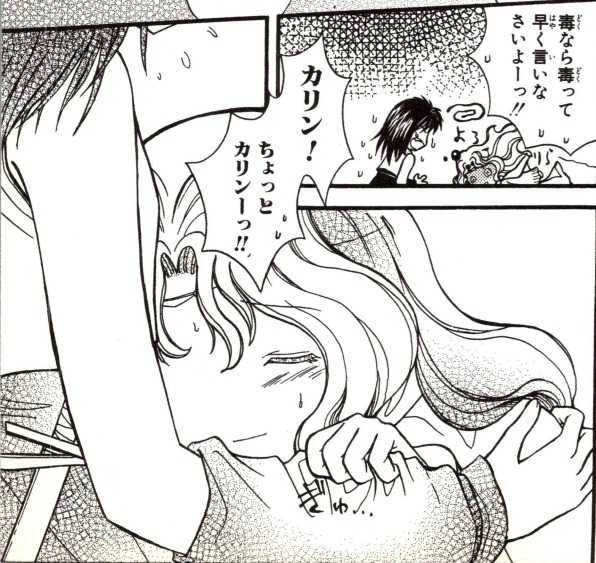
わかるん  
だもの...



マリータ

聞いて

あたしね  
.....

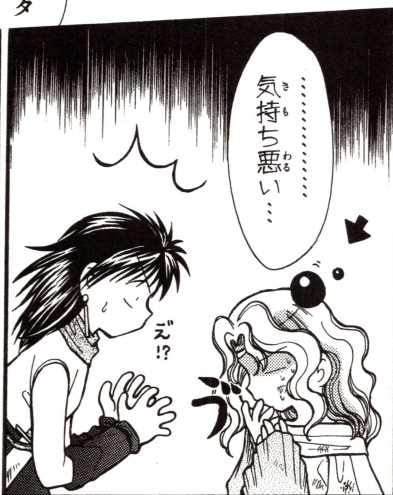


カリン！

ちよっぴ  
カリンっ!!

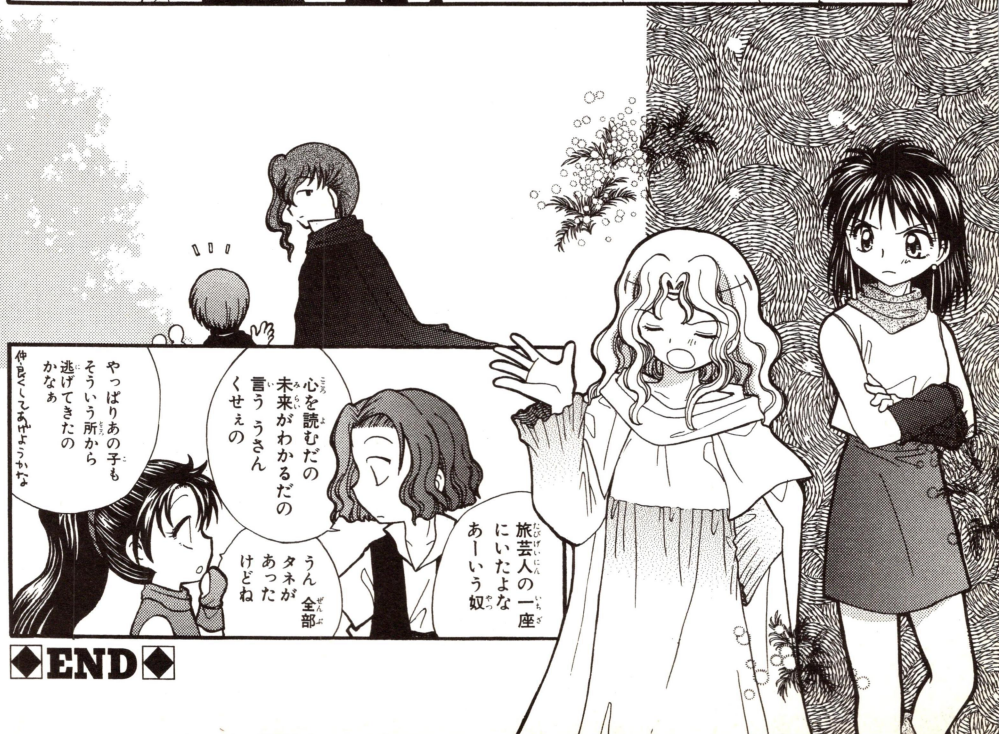
毒なら毒って  
早く言いな  
さいよーっ!!

.....  
気持ち悪い...



え!?







敵があんな  
ところ  
まで……

ベ イ シ ャ ン ス   オ ブ   ア   セ イ ン ト  
**PATIENCE OF A SAINT**

ひの鹿路

だまれ！  
お前はわしの  
言うことが  
聞けぬのか！

ゆけ！

待ってください  
私は……

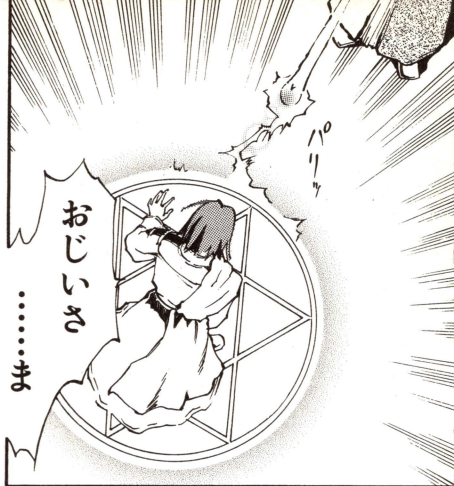
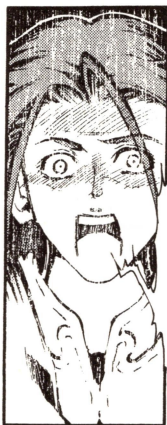
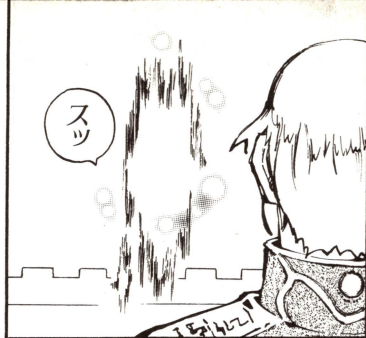
!!!

もうよい  
サイアス

お前は  
去れ！

いえやはり  
私は伯爵と……

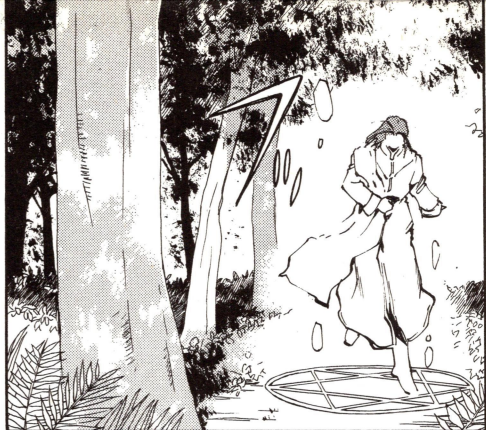








おじい様…  
おや



サイアス  
いのち  
命を  
なが  
永らえよ

おまえは  
ファラの戦士…  
せんし



一人だけ  
のうのと  
生きている  
ことなど…

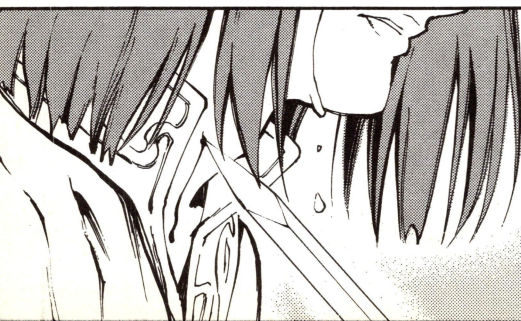
サイアス!!



カチ



岩が  
落ちた今  
いま



…う

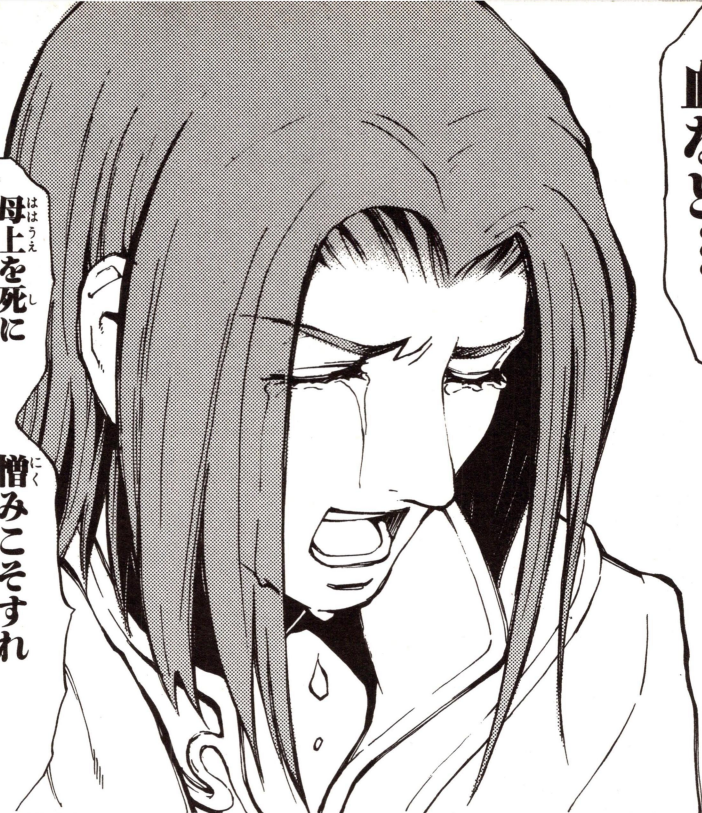
ヴェルトマーの  
血を  
残さねば  
ならぬ



ファラの  
血など…

母上を死に  
追いやった  
聖戦士の血など

憎みこそすれ  
うれしく思ったことは  
一度もないと  
いうのに!!!



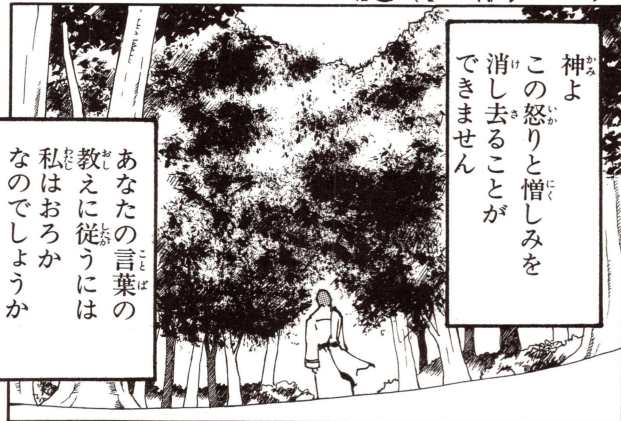
…私は  
おじい様と  
ともに

最後まで  
ありたかった  
のですよ



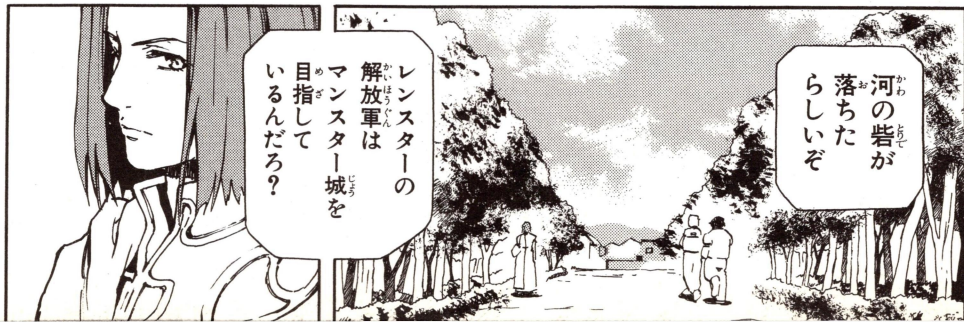
神よ  
この怒りと憎しみを  
消し去ることが  
できません

あなたの言葉の  
教えに従うには  
私はおろかな  
のでしょうか



河の砦が  
落ちたぞ  
らしいぞ

レンスターの  
解放軍は  
マンスター城を  
目指して  
いるんだろ？





ここいらも  
戦に巻き  
こまれる  
のかねえ

おい  
カモが  
来たぜ

若いな…  
金持ってんのか？

見ろよ  
えりの金細工  
だけでも  
けっこうすると  
思わねえか？

ほお

うむ

決まりだ  
行くぜ

ザザザザ

はっ!!

神の御手により…

パラララ



ライトニング  
光の裁きあれ!!



ぎゃっ

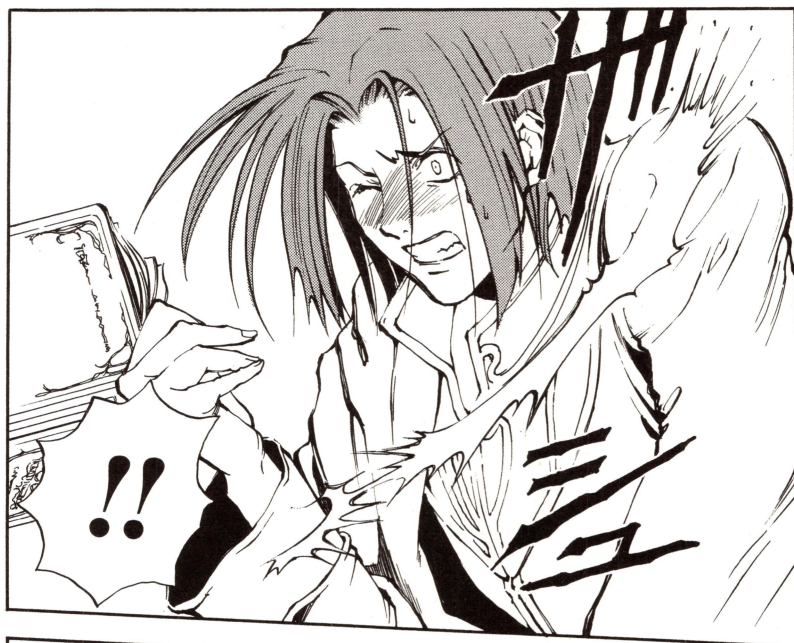
チイツ  
魔導書か!  
やっかいな



だが  
あれも売れば  
2・3千には  
なるぜ!!

山賊とは…  
噂で  
きいては  
いたが

光の魔導書  
だけで  
どこまで  
やりすご  
せるだろう



!!

スきだらけ  
だぜ!!

ハカヤロツ  
ローフを  
汚レやがつて  
値が下がるダロツ

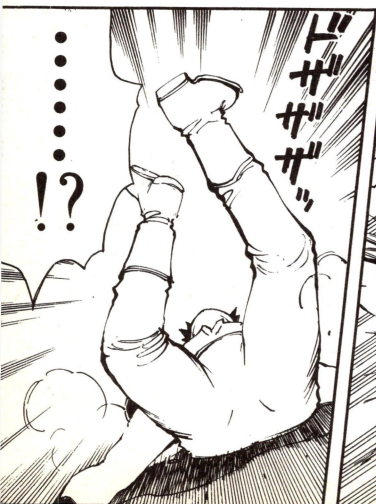
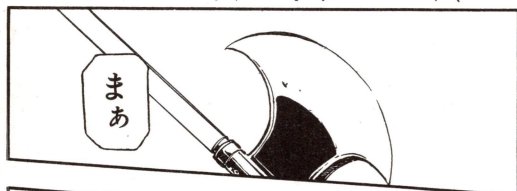
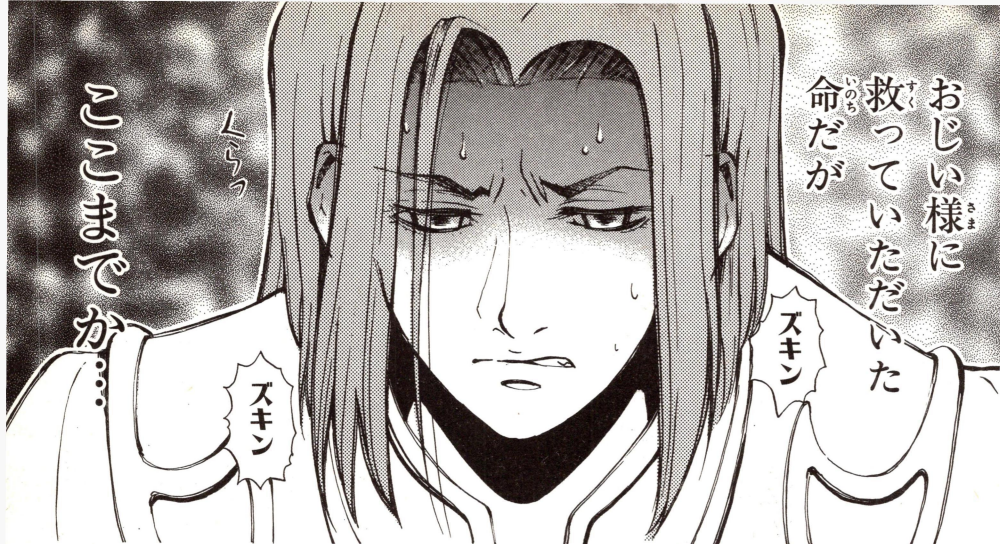
ハツ  
ドツ

カハツ

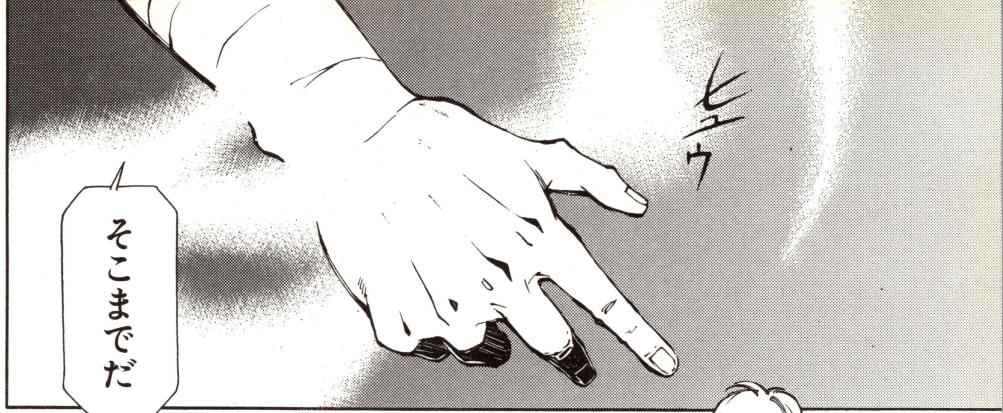
悪い  
ついで…



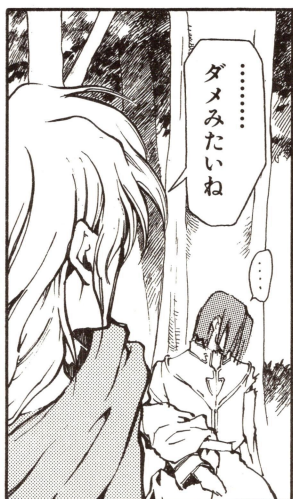








そこまでだ



ダメみたいね



おい君  
大丈夫か？



ブラギの  
司祭まで  
殺そうと  
するとは

よくよく  
バチあたりな  
奴らだな

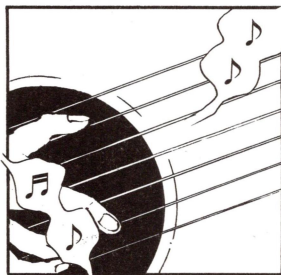
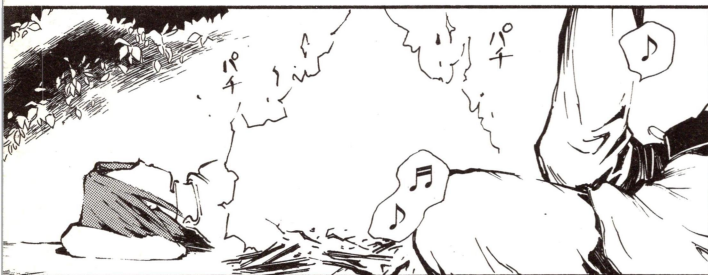
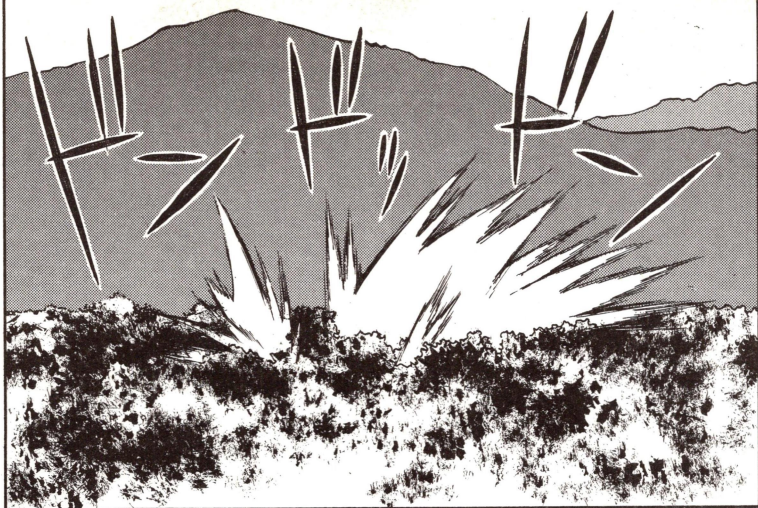
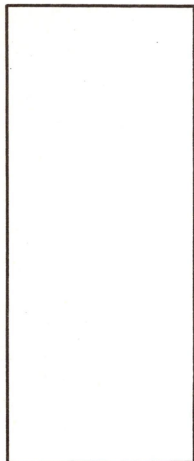


それとも

.....

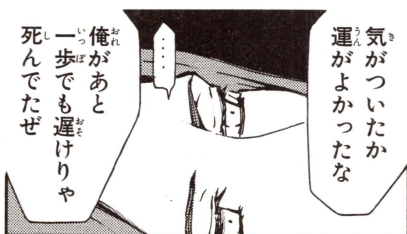
さて山賊ども  
ここからだまって  
消えるか





リユートの音がする…

ん…？



俺があと一歩でも遅けりや死んでたぜ

気がついたか運がよかったな

あなたは……？



あなたが  
助けて  
くださったの  
ですか

その髪の色  
シレジアの方  
ですね…

旅の  
吟遊詩人さ  
見てのとおり

助けていただいた  
うえに  
手当てまで…  
ありがとうございます

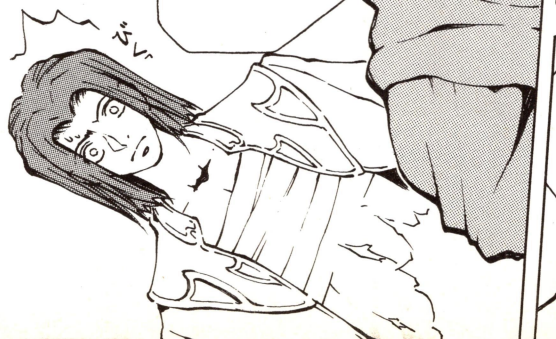
…シレジアは  
極寒の地に  
ありながら  
人々の心は豊かだと  
きいています

ふふ…  
祖国がよく  
言われるのは  
うれしいことだ

傷の具合を  
見たときに  
ファラの聖痕を  
見つけたのですね

君は  
ヴェルトマー  
出身かい

ええ  
そうです  
よくわかり  
ますね





おまえには  
ファラの聖痕が  
出ておるう

今はその真実をかくし  
力をたくわえるのだ

ああ……  
いえ

……  
ファラフレイム  
あれは  
いけません

見られた！

君が  
ファラフレイムの  
後継者に  
なるのか？

あの魔導書は  
シアルフィの  
シグルド公子の  
命を奪ったもの

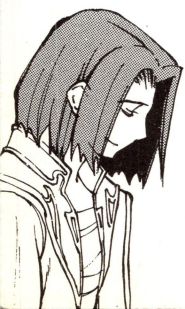
聖戦士の  
血の呪いを  
受けています

仮に  
継承したと  
してもとても  
使う気には  
なれません

……

おもしろい男だな  
フォルセティと並ぶ  
最強の魔導書が  
手に入るかも  
しれんのに……

それも  
ブラギ神の  
教えとやら  
なのかねえ





不思議な人だ  
妙な  
迫力があつて

何か人を  
安心させる  
温かさを感じる

まあ……  
それにしても  
ファラの血を  
継ぐ者がいたとは  
驚きだ

……いろいろ  
事情が  
あるの  
ですよ

私に聖痕が  
あることは  
陛下の知るところ  
ではありません

どうかこのことは  
あなたの胸の内に  
だけとどめて  
おいてください

わけあり  
なんだな

いいいぜ  
他言しない  
約束しよう

それで  
君はこれから  
どうするんだ  
ヴェルトマーへ  
帰るのか？

いずれは  
戻りますが

先に  
オーガヒルへ  
行くつもりです

オーガヒルか  
……

なつかしー

ずいぶん  
遠いな

ブラギの  
塔へ行き  
神託を得ねば  
なりません

これでも  
ブラギの司祭です  
苦では  
ありません

ほー



それに…  
やり残してる  
ことがあるので  
どうしても  
行かねば  
ならないのです

やり残した  
こと？

ふくしゅう  
**復讐**  
とでも  
いうんでしょうか

ヴェルトマーに  
戻り  
マンフロイを…  
いえ

ロプト教団を  
きょうだん  
つぶします

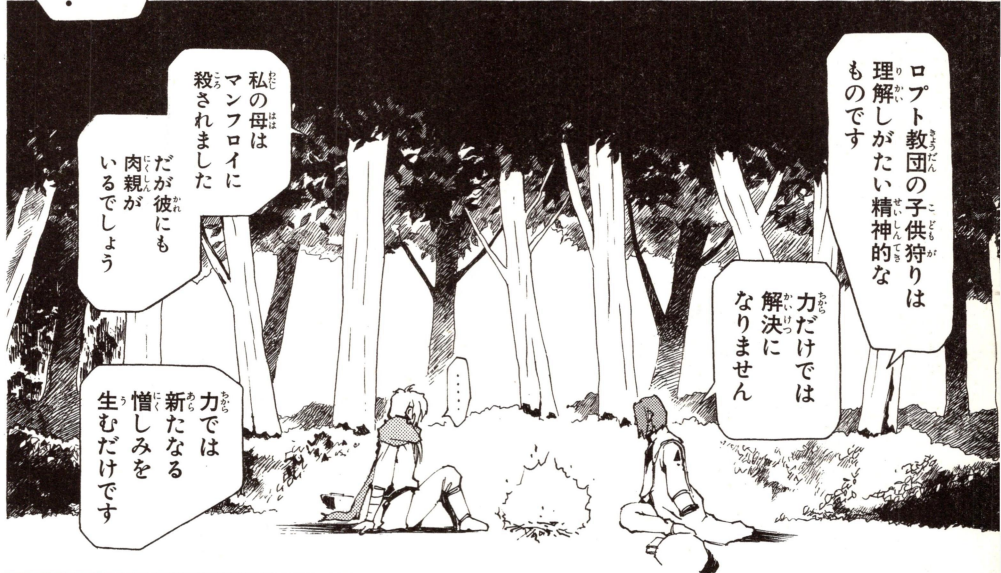




は!!  
本当に  
おもしろい  
男だな



ならなおさら  
ファラフレイムが  
必要じゃないのか?



ロプト教団の子供狩りは  
理解しがたい精神的な  
ものです

力だけでは  
解決に  
なりません

私の母は  
マンフロイに  
殺されました

だが彼にも  
肉親が  
いるでしょう

力では  
新たな  
憎しみを  
生むだけです



…本当は

国などどうでも  
よかったのです  
けど

母はヴェルトマーを  
愛していたし…



改心させる前に  
屈伏させるのも  
重要だと  
思うがな



…そうかも  
しれませんが  
私に  
は  
あります



何も恨んでいないと  
言っていたので

しょうがないじゃ  
ないですか

今思うと  
司祭になって力をつけたのは  
陛下に私という存在を

認めて欲しかった  
からかも  
しれません

どうして俺に  
そんな話を？  
敵かも  
しれないぜ

どうして  
でしょう  
自分のこと  
こんなに  
話したのは  
初めてです

あなたの  
ほうが  
ご存知では  
ないのですか

ふー  
さて  
そろそろ  
行かせてもらうぜ

俺も急ぎの旅の  
途中だ

息子を  
話してる  
みたいで

話ができて  
楽しかったよ

あっ……  
助けて  
いただいた  
お礼がまだ……

困っている  
シレジアの  
人間がいたら  
助けてやってくれ  
それでいい

必ず!!



では最後に…  
ヴェルトマーの  
若き宮廷司祭  
天才軍師の  
肩書きは

いずれ君を  
助けるだろう

ひいては  
シグルド公子への  
つぐないへと  
つながる

拾った命を  
大切に  
するといひ

シレジアの  
国王は  
リュートの名手  
ともきいている

私のことを  
知っていた  
のか…

憎みこそすれ  
うれしく思ったことのない  
聖戦士の血が

また会える  
だろうか…?

私の内で  
確かに息づいて  
いるのだ

シユル

◆END◆



# 火の玉コミックシリーズからの大告知

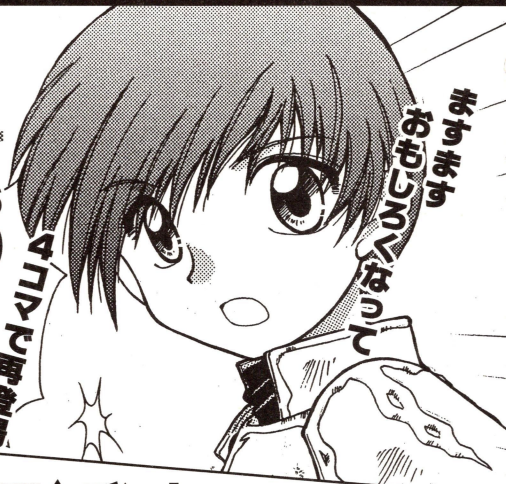
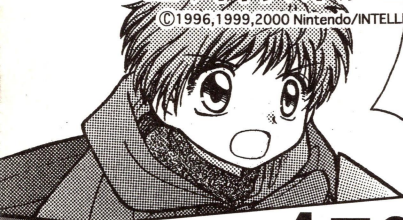
## Fire Emblem ファイアーエムブレム

トラキア776

4コマギャグバトル エリート編(仮)

©1996, 1999, 2000 Nintendo/INTELLIGENT SYSTEMS

定価690円  
(本体657円)



### 4月24日(月)発売



ヘルソナ&ヘルソナ2 罪で  
描かれた作品を一挙収録

一冊まるごと

雁えりか

大人気の  
外伝にシリー

火の玉ベストセレクション(仮)

## 雁えりか

女神異聞録

## ペルソナ2 罪

定価720円(本体686円)

©1996 ATLUS ALL RIGHTS RESERVED. ©ATLUS 1996, 1999

# 火の玉コミックシリーズ続々登場予定!

## 圧倒的なおもしろさ! 話題のタイトルが続々登場!



火の玉  
ゲームコミック  
シリーズ

# ファイアーエムブレム トラキア776

## コミックアンソロジー 聖戦の凱歌

©光文社

2000年4月10日 初版第1刷発行

発行者 森元順司

印刷所 共同印刷株式会社

製本所 株式会社国宝社

発行所 株式会社 光文社

〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6

電話 東京03(5395)8145 (コミック編集部)

東京03(5395)8114 (販売部)

東京03(5395)8128 (業務部)

振替 00160-3-115347

ISBNコード4-334-80494-2 Printed in Japan

本書は任天堂株式会社のゲームソフト『ファイアーエムブレム トラキア776』を基にしたパロディコミックです。

©1996, 1999, 2000 Nintendo/INTELLIGENT SYSTEMS

『火の玉ゲームコミックシリーズ』をお読みにあって、どのような感想をお持ちになりましたか。ご感想、ご意見、また先生方に励ましのお便りをお寄せください。

〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6

株式会社 光文社コミック編集部「○○先生」係

- ☐** 本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは著作権法上での例外を除き禁じられています。

本書からの複写を希望される場合は、

**日本複写権センター(03-3401-2382)**にご連絡ください。

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁本などの不良品がありましたら、「業務部」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。